

2019 コーポレート・ シチズンシップ・レポート



目次

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶	3	職場環境	28
TI の概要	4	多様性と包括性	29
TI のコミットメントと報告の概要	5	採用	31
持続可能性 (サステナビリティ)	6	定着	32
環境への影響	7	能力開発	32
気体排出物	7	報酬	34
温室効果ガス (GHG)	7	ワークライフ・バランスとワークライフ・リソース	34
生物多様性	9	従業員の安全と健康	35
エネルギー利用	10	寄付とボランティア活動	37
水と廃水の管理	11	STEM 教育への投資	38
環境、安全、および健康	13	寄付	39
責任ある製造と流通	14	ボランティア活動	40
半導体製品	14	グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス	43
教育用テクノロジー	14		
梱包と出荷	15		
材料管理	16		
責任ある事業慣行	18		
ガバナンス	18		
リスク管理と事業継続性	19		
サプライ・チェーンの責任	20		
紛争鉱物	23		
TI における労働と人権	24		
目標、価値観、エシックス	25		
情報保護	26		
パブリック・ポリシー	27		

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI (テキサス・インスツルメンツ) のエンジニアである私たちは、幸いにも魅力的なテクノロジーに関連する業務に取り組み、顧客のイノベーションを支援してより良い世界の実現に取り組んでいます。

TI は数十年にわたり、半導体によってエレクトロニクスをだれもが手に届く手ごろなものにし、より良い世界を作り上げる、という熱意をもって事業を運営してきました。当社は以前、真空管からトランジスタへ、またその後の集積回路 (IC) への移行を推進する先駆者として行動しました。各世代の革新は、それより前の世代を土台として、半導体の小型化、電力効率の向上、信頼性の向上、低コスト化に貢献しています。その結果、これまで以上に多数の市場とアプリケーションの開拓、および半導体の採用が実現しています。

継続的に進化する業界の中で、私たちの情熱だけでは十分ではありません。優れた企業を築き上げるには、長期的な成長に貢献する特別な文化が必要です。長年にわたって、TI は 3 つの大きな目標を念頭に置いて事業を運営し、従業員とコミュニティへの投資を続けてきました。第一に、私たちは、数十年にわたって会社を所有するオーナーと同様の立場で行動します。第二に、私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応し、成功を収めます。第三に、私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、顧客、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも勝者になることができます。

シチズンシップへの私たちのコミットメントに関して、2 つの重要な違いが存在しています。それらに該当するのは、環境、社会、ガバナンス (ESG) の優先順位、および持続可能性 (サステナビリティ) の優先順位です。

- 第一に、私たちの目標は、私たちが事業を運営する方法の指針を示すほか、シチズンシップにアプローチするための土台になります。これらの目標の中心にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、会社は長期間にわたってより強力になるように成長を続ける必要がある、という確信です。
- 第二に、シチズンシップに対する私たちのコミットメントは、半導体によってエレクトロニクスをだれもが手に届く手ごろなものにし、より良い世界を作り上げる、という熱意に直接関係しています。半導体は現在も今後も、エレクトロニクスを通じて環境への影響を低減するうえで重要な役割を継続的に果たします。電気モーターのスマート化を推進してエネルギー消費量を低減、よりクリーンな環境に貢献するクルマの電動化を推進、水とガスや気体の漏洩をセンシングして天然資源を節減および温存、という手法です。半導体がより良い世界を作り出すのに役立つ方法を列挙するリストは、現在も拡大中です。

ESG と持続可能性 (サステナビリティ) を含めたシチズンシップの重要性は、私たちにとって目新しいものではありません。数十年にわたって成功を遂げるための TI の公式の一部でした。私たちの目標は、長期間にわたる私たちの意思決定の指針であり、TI の製品はより良い世界を作り出すのに役立っています。このことを踏まえ、私たちの努力の結集は影響力を及ぼし、長期的に持続すると確信しています。私たちの目標を継続的に真実にする、という私たちのコミットメントは揺るぐことがなく、TI の 2019 年シチズンシップ・レポートの中で公開している進捗状況は、このコミットメントに関する証です。



リッチ テンプルトン,
会長、社長兼最高経営責任者 (CEO)

ここでは、より良い世界を作り出し、より強力な会社を築き上げるために、私たちが 2019 年に実践したいくつかの例を挙げます。

- これまでの 5 年間にわたる温室効果ガス (greenhouse gas, GHG) 削減目標を 2020 年末に達成する過程が進行中です。
- オンサイトで水の 1/4 以上を再利用してきました。
- Human Rights Campaign (HRC、ヒューマン・ライツ・キャンペーン) の Corporate Equality Index (会社別機会均等インデックス) で 100% の評価を 4 年連続で獲得しました。
- National Association of Female Executives (全米女性企業家協会) から、女性を昇進させるための努力が 15 年連続で認められました。
- TI Foundation (TI 財団) や従業員との協力を通じて、教育支援に 2,310 万ドルを寄付しました。

目次

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポート
グ・イニシアティブ・イン
デックス

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポート
ング・イニシアティブ・イン
デックス

TI の概要

- 1930 年創立。
- 本社: 米国テキサス州ダラス。
- 株式公開済み (Nasdaq: TXN) 。
- 会長、社長兼最高経営責任者 (CEO): Richard K. Templeton。
- 約 30,000 人の従業員
 - 南北アメリカ: 12,000 人
 - アジア: 16,000 人
 - 欧州: 2,000 人
- 世界各地に合計 14 の製造拠点を置き、毎年数百億個のチップを製造。
- 約 100,000 社のお客様向けの約 80,000 種類の製品。
- TI 製品に最善の機会を提供する市場は産業用と車載であり、TI の 2019 年の売上の 57% を占めています。

分野別売上高 (2019 年)



● アナログ 102.2 億ドル
● 組込み: 29.4 億ドル
● その他: 12.2 億ドル
資本的支出: 8 億 7,400 万ドル
研究開発: 15.4 億ドル

市場別の売上高 (2019 年)



● 産業用: 36%
● パーソナル・エレクトロニクス: 23%
● 車載向け: 21%
● 通信機器: 11%
● エンタープライズ・システム: 6%
● その他: 3%

2019 年の世界の主要拠点¹

★ TI 本社

テキサス州ダラス

● 設計拠点

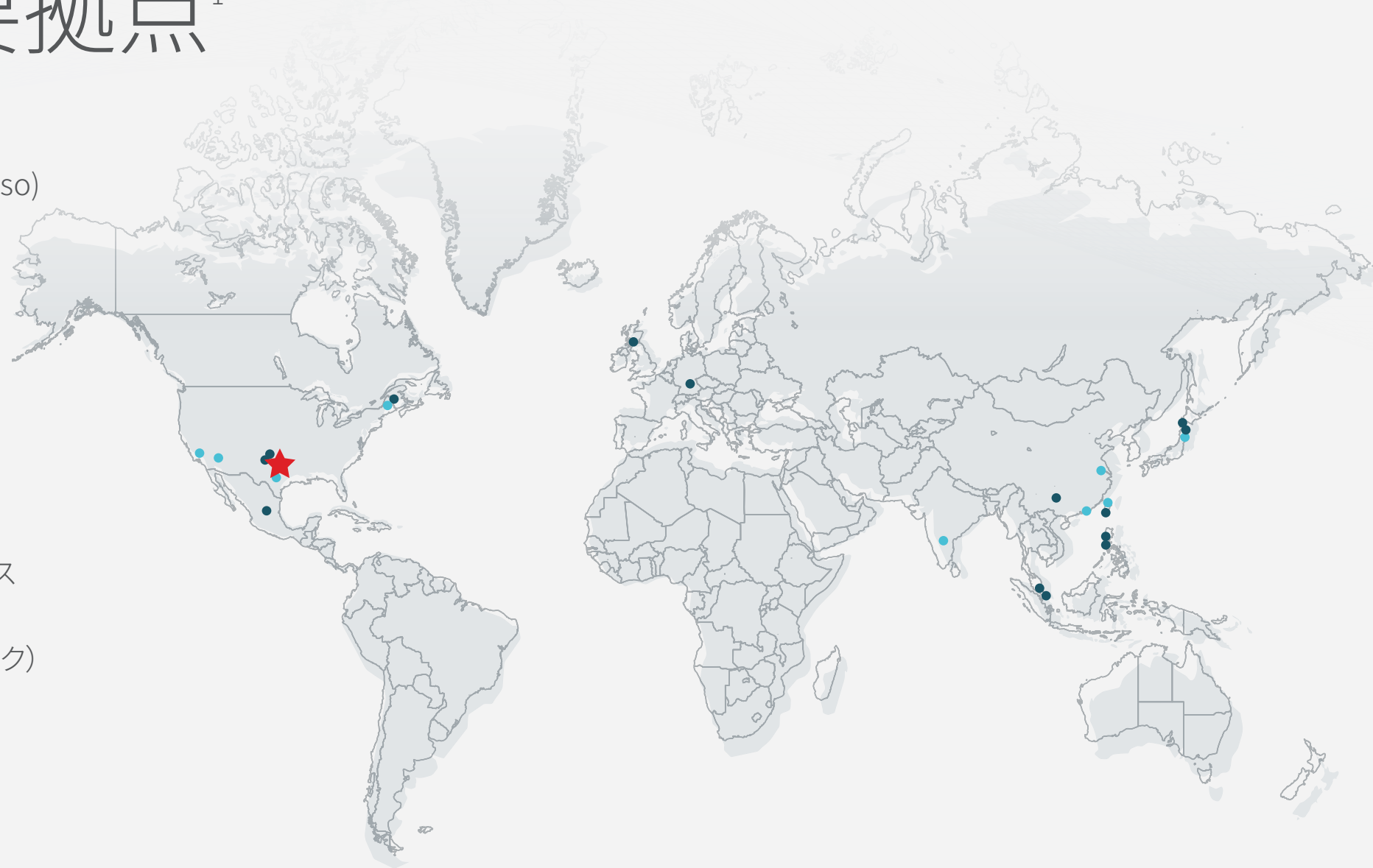
(For “Manufacturing sites” also)

テキサス州ダラス
アリゾナ州ツーソン
カリフォルニア州サンタクララ
中国、上海
中国、深圳
インド、バンガロール
日本、東京
ニューハンプシャー州マンチェスター
台湾、台北
テキサス州シュガーランド

● 製造拠点

(For “Manufacturing sites” also)

テキサス州ダラス
中国、成都
ドイツ、フライジング
日本、福島県会津若松
日本、茨城県美浦
メイン州サウスポートランド
マレーシア、ムラカ (マラッカ)
マレーシア、クアラルンプール
メキシコ、アグアスカリエンテス
フィリピン、バギオ
フィリピン、パンパンガ (クラーク)
台湾、新北市 (新北市)
テキサス州リチャードソン
テキサス州シャーマン
英国、グリーノック



¹ TI が定義する主要運営拠点 (重要拠点) とは、面積が 50,000 平方フィート (4,621 平方 m) 以上である、または 2019 年 12 月 31 日時点で従業員数が 100 人を超えるすべての製造施設、すべての設計拠点、およびすべての販売拠点のことです。TI は英国のグリーノック拠点を 2019 年に売却しましたが、同拠点から 2019 年第 1 四半期に取得したデータは、このレポートに含めました。

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

TI のコミットメントと報告の概要



TIはシチズンシップにおいて長期的なコミットメントを示しており、これまで同様、この「2019 コーポレート・シチズンシップ・レポート」では、TIの事業に関連する環境、社会、ガバナンス (ESG) や持続可能性 (サステナビリティ) といったさまざまな分野で TI がどのように考え、また実際に行動しているかを明らかにしています。

シティズンシップに対する TI のアプローチの基礎にあるのは、すべてのステークホルダーに有益な結果をもたらすために、会社は長期間にわたってより強力になるように成長を続ける必要がある、という確信です。この理由で、TI の意思決定を左右する目標は非常に強力なものに設定してあります。それらは、以下のことを明示しています。

- 私たちは、数十年にわたって会社を所有するオーナーと同様の立場で行動します。
- 私たちは、絶えず変化を続ける世界に適応し、成功を収めます。
- 私たちは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることを目指します。

私たちがこれらの目標の達成に成功すれば、TI の従業員、顧客、コミュニティ、ステークホルダーはいずれも有益な結果を得ることができます。TI の 2019 年レポートで、昨年から情報を構成し直し、グローバル・レポーティング・インデックス (GRI) のフレームワークに従うと同時に、主なトピックの分野のストーリー、目標、結果をまとめて報告しています。

TI は 2 年ごとに社内と社外のステークホルダーから意見を募り、第三者からの持続可能性 (サステナビリティ) 評価や同業他社のベンチマーク (基準、達成状況) も検討して、このレポートでどのトピックを取り扱うかを決定します。TI のプログラムや進捗状況を開示するために、2006 年以来、GRI レポーティング・フレームワークを継続的に使用しています。開示に関する当社ステークホルダーのニーズをよりの確に満たせるように、TI は Sustainability Accounting Standards Board (サステナビリティ会計基準委員会) と Task Force on Climate-Related Financial Disclosures (気候関連財務情報開示作業部会) の基準に該当する開示を将来のレポートに掲載するかどうかを評価しているところです。

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポート
ング・イニシアティブ・イン
デックス

持続可能性 (サステナビリティ)



持続可能な方法で事業を運営するために、TI は複数のプログラムに投資し、業績改善目標として、効率的な事業運営、天然資源と原材料の節減や温存、コストの削減を設定しています。このセクションで、各種管理システム、ポリシー、主な戦略、プログラムについて説明します。これらを活用して、TI は上記の目標を満たすためのさまざまな方法を特定し、評価することができます。また TI は、人々の健康や環境を保護するために、さまざまな努力もしています。世界各地の法令と規制に準拠した状態を維持し、TI の目標、価値観、行動規範、ポリシーに付き従うためです。

持続可能な業務慣行に関する外部からの認知

- ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス、北米部門 (13 年目)
- 3BL Media の「100 ベスト・コーポレート・シティズンズ」(17 年目)
- フォーチュン誌の「世界で最も賞賛される企業」
- バロنز紙の「The 100 Most Sustainable U.S. Companies」(最も持続可能性の高い米国企業 100 社)
- 「Euronext Vigeo U.S. 50」(企業責任に関して最も先進的な米国の企業 50 社)(6 年目)



目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

環境への影響

TI は、事業の運営が環境に及ぼす影響を低減する点で責任を果たせるように取り組んでいます。TI は毎年、合計数百億個の IC の設計、製造、組み立て、テストを実施しています。世界各地で、TI の事業は原材料、化学物質、エネルギー、水の使用を必要とします。責任ある方法で天然資源を節減および温存し、環境を保護するために、TI は自発的な削減目標を設定し、新しい排出物低減技術に投資するほか、実行可能な場合は水の再利用とリサイクル (再生) を実施しています。また、TI は事業を運営する各拠点で、該当する法令や規制に適合しています。

排気

TI はさまざまなプロジェクトを積極的に実現しているほか、拠点固有の化学物質削減目標を自発的に設定し、気体排出物を許容可能な限度以下に維持しています。具体的な規制によっても低減方法は異なりますが、一般的には以下の方法が該当します。

- 製造支援機器におけるオゾン減少物質の段階的な廃止
- 排出物の放出前に各種排出物低減装置 (熱酸化装置、触媒、フィルタ、湿式洗浄塔、清浄機など) を使用することによる排出物の低減または除去

- ビルと機器の効率向上、製造ツールの効率の最適化
- ディーゼル発電機などの固定的な燃焼エンジン (原動機) の使用制限

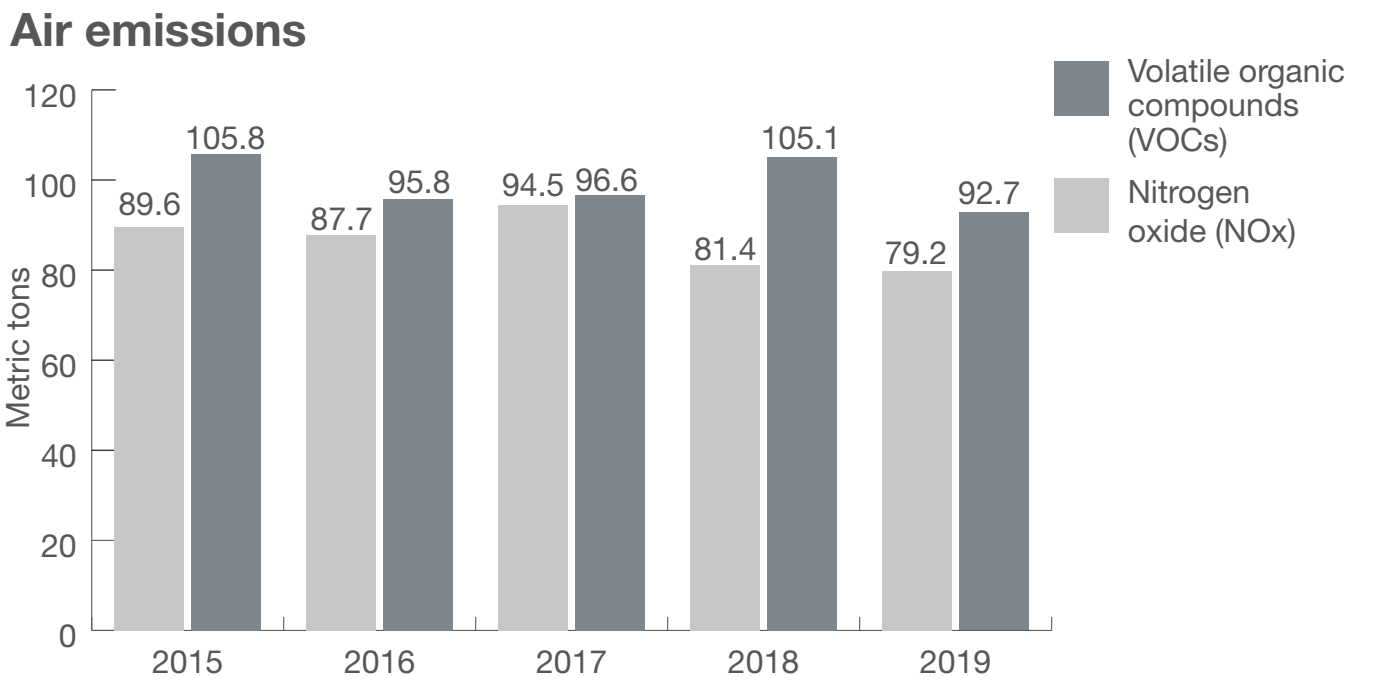
既に TI では、製造過程で以下の Class I と Class II のオゾン減少物質を使用していません。

- Class I 化合物 (完全ハロゲン化クロロフルオロカーボン、ハロン、およびオゾン層に有害な影響を及ぼす各種物質)
- Class II 物質 (成層圏のオゾン層に有害な影響を及ぼすことが既知である、または予期されるもの)

規制と報告

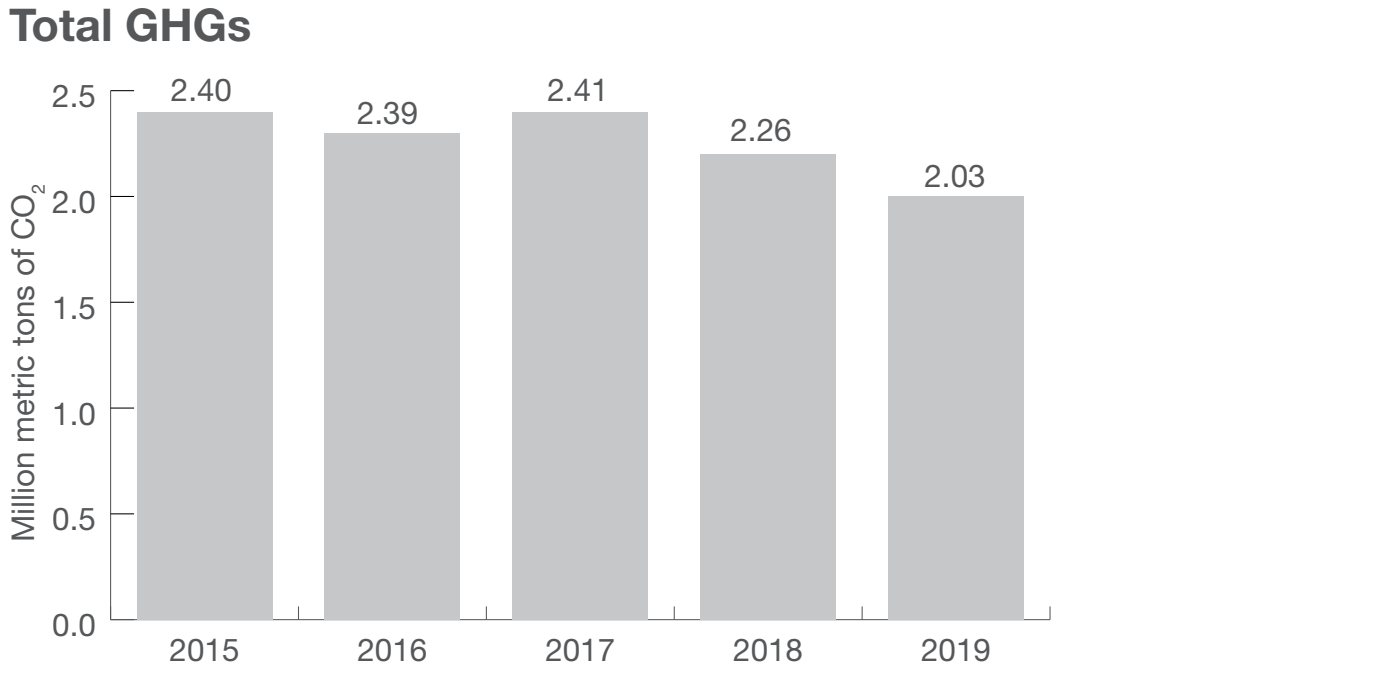
TI の事業は、量に変動のある気体排出物を生成します²。その一部は規制による上限が課されているか、TI の事業を営む国や地域、州立、地方政府または地方自治体によっては、算出と報告が求められています。

米国内で TI が生成する規制対象の気体排出物の量は比較的少なく、それらに該当するのは、揮発性有機化合物、窒素酸化物、一酸化炭素、オゾン、鉛、二酸化硫黄、粒状物質です。TI は気体排出物のデータを、米国環境保護庁 (EPA) と州の規制機関に報告しています。化学物質の放出と汚染の防止にかかわる活動も、EPA の Toxic Release Inventory (放出毒物報告システム) に報告しています。



温室効果ガス (GHG)

TI は、気候変動に取り組み対処することの重要性を理解しています。GHG (温室効果ガス) 排出物とエネルギーの削減に関する現実的な目標を設定すること、また長期的に会社に影響を及ぼす可能性がある、気候変動に関連する潜在的なリスクを定期的に評価することで、TI は効率と競争力を高めています。



² TI は、自社の気体排出物の計算に亜酸化窒素 (N₂O) を含めていません。当社は N₂O を GHG 排出データに含めているためです。

目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

目標

TI は、Scope 1 と 2 の GHG (適用範囲 1 と 2 の温室効果ガス) の総排出量 (総量) を 2020 年末までに 15% 低減するという、5 年間にわたる目標を 2015 年に設定しました。2019 年末までに、総排出量は 15.6% 減少しました。要因は、効率の改善と、排出物を低減する複数のプロジェクトに投資する TI の取り組みにありました。TI は、2020 年上半期に製造量が増加したことを踏まえ、進捗状況について引き続き監視していきます。2020 年のシティズンシップ・レポートで結果を報告する予定です。

GHG の種類と低減の戦略

TI は、Scope 1 と 2 の GHG (適用範囲 1 と 2 の温室効果ガス) 排出量に GHG 排出低減の取り組みが及ぼした影響について焦点を当てています。TI では、Scope 3 (適用範囲 3) に関連するすべての排出物を詳細に評価していません。TI のサプライ・チェーン、従業員数、拠点の多様性、幅広い流通ネットワークに関連する複雑さが原因です。

• Scope 1 (適用範囲 1)

TI が自らの製造拠点、アセンブリ / テスト拠点、大規模な設計拠点と営業拠点で直接生成した GHG 排出物 TI はこれらの排出物を、以下の方法で低減しています。

- 効率的な製造テクノロジーの導入
- 代替のガスを使用し、ガスを再利用する方法による、必須ではないフッ化ガスの排除
- 半導体の製造に使用するガスの排気に対処する、使用時点熱排出物低減装置の導入

• Scope 2 (適用範囲 2)

TI が自らの製造または他の事業を目的として購入した電力、熱、蒸気により生成された間接的な GHG 排出物 TI はこれらの排出物を、以下の方法で低減しています。

- TI の製造システム、ビル、工具の効率の最適化
- 再生可能エネルギーの生成源の使用 (実行可能な場合)

種類別の Scope 1 GHG (適用範囲 1 の温室効果ガス) (トン単位の二酸化炭素 (CO ₂) 換算量)	2015	2016	2017	2018	2019
二酸化炭素 (CO ₂)	75,848	74,862	73,680	76,723	78,571
メタン (CH ₄)	1,203	1,192	1,192	1,244	1,251
二酸化窒素 (N ₂ O)	21,274	20,808	20,939	24,509	23,512
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	41,646	36,367	42,060	39,976	36,553
ペルフルオロカーボン (PFC)	810,687	819,753	870,984	855,646	697,120
六フッ化硫黄 (SF ₆)	45,147	52,464	59,802	65,911	54,645
三フッ化窒素 (NF ₃)	89,817	71,501	92,999	93,539	74,927

• Scope 3 (適用範囲 3)

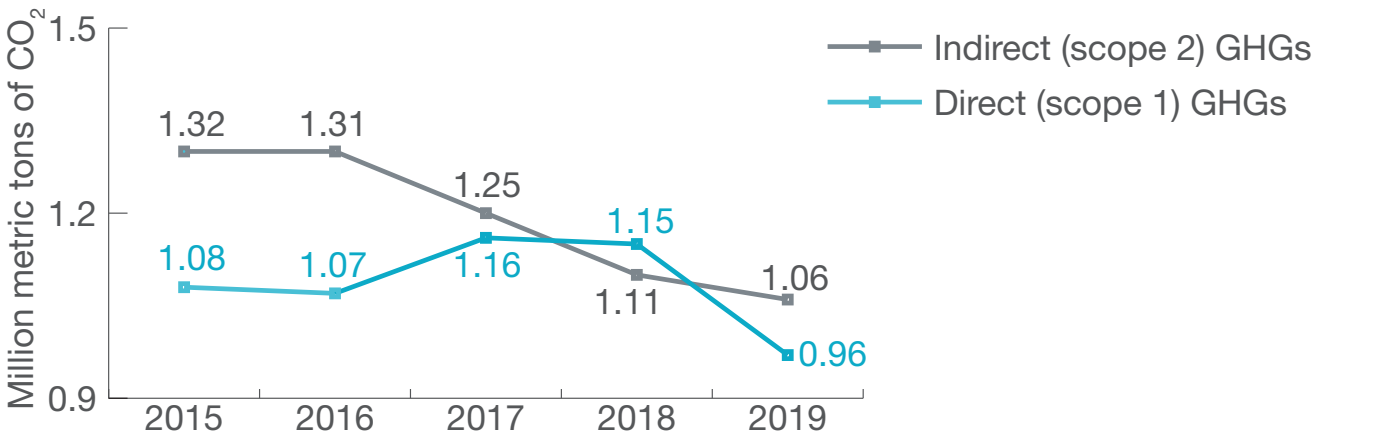
TI のサプライ・チェーン、従業員の出張や通勤、または TI の流通ネットワークで生成された間接的な GHG 排出物 TI はこれらの排出物を、以下の方法で低減しています。

- 電話会議を活用した、業務上の出張数の制限
- 電気自動車の充電ステーションの整備、施設内シャトルの導入、フレキシブルな勤務スケジュールの許可、選択した一部の拠点での公共交通機関の利用や自動車の相乗りに対する補助金支給
- 製品一括出荷と地域のセンターからの流通

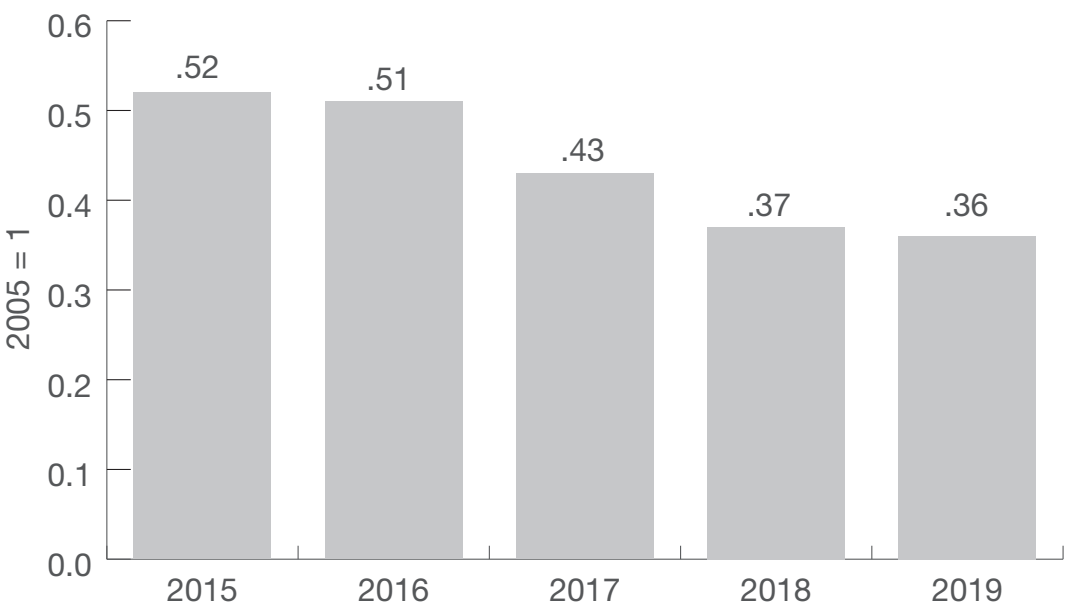
TI の二酸化炭素排出量

ウェハーのサイズの進歩 (この結果、1 枚のウェハーからより多くのチップを製造可能)、半導体製造機器の効率、化学物質の低減を通じて、TI は 2005 年以来、製造量が増加しているにもかかわらず、GHG の正規化³排出量を低減できています。チップあたりの GHG の正規化排出量が変化した原因は、チップ製造の変動や、製造機器のアップグレードに伴う改良、およびエネルギー排出の改良にあります。2019 年に、TI は GHG 排出物総量を 10% 以上低減しました。

Indirect (scope 2) and Direct (scope 1) GHGs



Normalized GHG emissions per chip



³ データの正規化とは、ベースライン (基準) を策定して年ごとの計量の変化を追跡する手法のことを指します。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

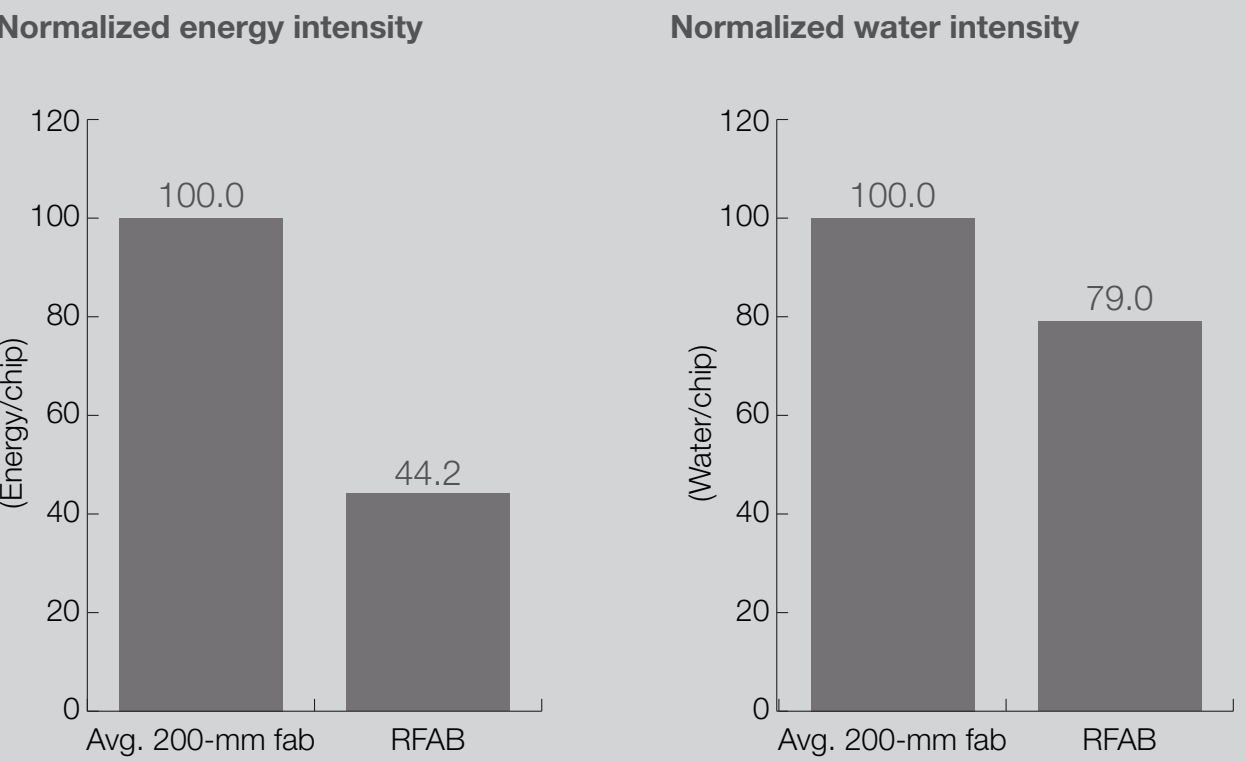
ウェハー製造の効率化

TI は継続的に、自社の製造プロセスの一層の効率化とコスト効果を向上させる方法を模索しています。より古い設備を最適化するために、照明の変更や機器のアップグレードによってエネルギー使用量と GHG (温室効果ガス) 排出物を低減しています。天然資源の使用量を減らし、当初から電力を活用するように、新しいビルを設計しています。この方法で環境に及ぼす影響を低減し、運営コストを削減できます。

TI が排出する GHG の大半は、シリコン・ウェハーの製造や機器の清浄状態の維持に必要なフッ化ガスです。TI のより古い 150mm / 200mm ウェハーの製造プラントは、新しい工場より多くの GHG を生成するフッ化ガスを使用しています。TI のより新しい 300mm ファブは、実効的な GHG がより少ないフッ化ガスを使用しています。加えて、より大きい 300mm ウェハーを使用すると、ウェハー 1 枚からより多くのチップを製造できるので、水とエネルギーの必要量が減り、製造コストも削減できます。

今後数年間のうちに、TI は米国テキサス州シャーマンと、米国テキサス州ダラスにある、より古い 2 つの製造施設を閉鎖することを計画しています。また、米国テキサス州リチャードソンで新しい

300mm の先進的なアナログ製造プラントの建設中です。これらの変更が、TI の環境および財務の業績を改善することを期待しています。製造を 200mm から、より効率的な 300mm に移行すると、チップあたりのエネルギー使用量を約 56%、水消費量を約 21% 低減できます。



規制、準拠、および報告

TI は、国や地域、州と地方政府や地方自治体によって違いがある GHG の規制に準拠しているほか、排出量を関係機関に報告しています。EPA が課す必須の報告要件に準拠するために、TI は米国における GHG 排出物を EPA に報告することを求められています。EPA は半導体業界 (および他の業界) に対して、年間のフッ化 GHG 排出物 (六フッ化硫黄、パーフルオロカーボン、ハイドロクロロフルオロカーボンなど)、および燃焼型排出源からの GHG 排出物を測定して報告するように要求しています。

この報告に加えて、TI は自らの GHG データを、World Semiconductor Council (世界半導体会議) (米国の業界レポートの一部として)、CDP (旧 Carbon Disclosure Project、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)、S&P Global Assessment (スタンダード・アンド・プアーズ・グローバル評価) に対して自発的に報告しています。

半導体を活用したより良い世界の創出

TI のテクノロジーが実現するスマート・グリッドは、コストの削減、エネルギーの節減、エネルギー需要の監視と管理の方法の改良を通じて、GHG 排出量を低減します。公益事業者はスマート電力メーターを使用して、サーモスタット、家電製品の使用方法、暖房、送風、エアコンの設定を家庭と会社で調整でき、その結果、電力の不足による輪番停電 (さまざまな地域に対する計画的な順次停電) を避けること、またはピーク時間帯の料金上乘せを実施することができます。TI の GHG 低減テクノロジーを使用する顧客に該当するのは、電力事業者、流通業者、白物家電のメーカー、交通業界です。

生物多様性

半導体の設計、製造、組み立て、テストを担当する TI の拠点は世界各地にあります。その位置は、産業地域、市街地、郊外地域、および農地に取り囲まれた地域にあります。TI は、気体排出物、水、排水に関する厳格な目標と要件に付き従い、TI 拠点付近の生物多様性に及ぼす影響を管理しています。TI は、拠点の位置する地域に固有の樹木の植樹、世界各地の拠点での地域清掃イベントへの参加を通じて、生物多様性に貢献しています。

たとえば、TI の North Texas (テキサス州北部) キャンパスが 2019 年に 2 つの大嵐に見舞われたとき、会社は新しい樹木を植樹するために迅速に行動しました。担当チームは、TI の Dallas 拠点に合計 600 本以上の vitex、crape myrtle、chinkapin oak、pond cypress、live oak (セイヨウニンジンボク、サルスベリ、チンカピンオーク、タキシジウムアセンデンス、ライブオーク) の樹木を植林し、TI が失った 250 本以上の成熟した樹木を置き換えました。これらの樹木は、今後の年月にわたる TI のキャンパス美化に加え、GHG (温室効果ガス) の低減、大気の質の改善、および暴風雨による自然災害が発生した地域の土壌侵食の抑制に役立ちます。

エネルギー利用

TI は、製造拠点と設計拠点の両方を含めた世界各地の拠点運営で、エネルギー消費の全体的な削減について重点的に取り組んでいます。TI の各拠点は、コスト削減と GHG 排出の低減を実現するために、年間のエネルギー低減の目標を設定する必要があります。

TI の製造事業は、TI 全体のエネルギー消費の約 90% を占めており、以下を含めた TI のグローバル・エネルギー戦略の焦点になっています。

- 信頼性が高く、手ごろな再生可能エネルギー供給元の確保
- ビルや工場の建造および改良による効率の最適化、より効率的な機器の使用
- エネルギー効率の良いエレクトロニクスを実現できる半導体製品の設計および製造、エネルギー消費をいっそう削減するための R&D (研究開発) への投資。また、製品のパッケージング内で複数のチップを垂直に集積させることによる、顧客の最終製品のマザーボード面積の削減、合計エネルギーの低減、冷却コストの削減の実現

目次

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

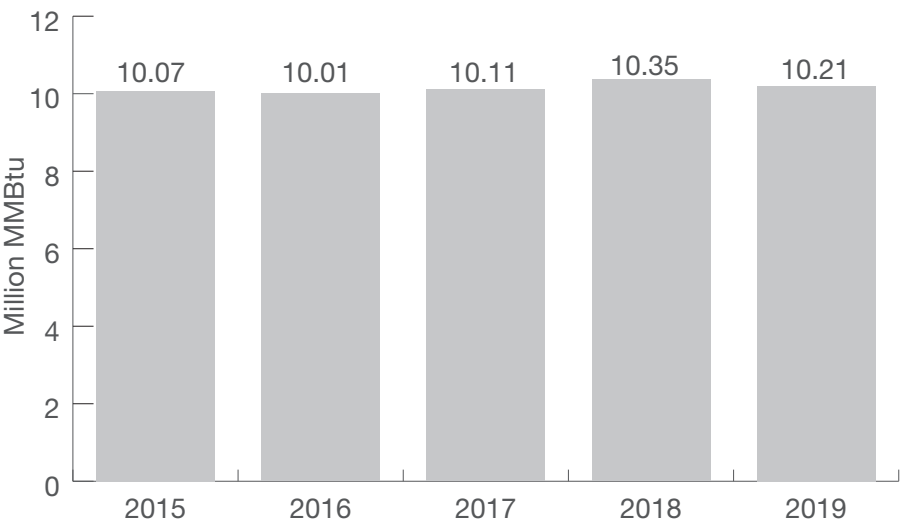
責任ある事業慣行

職場環境

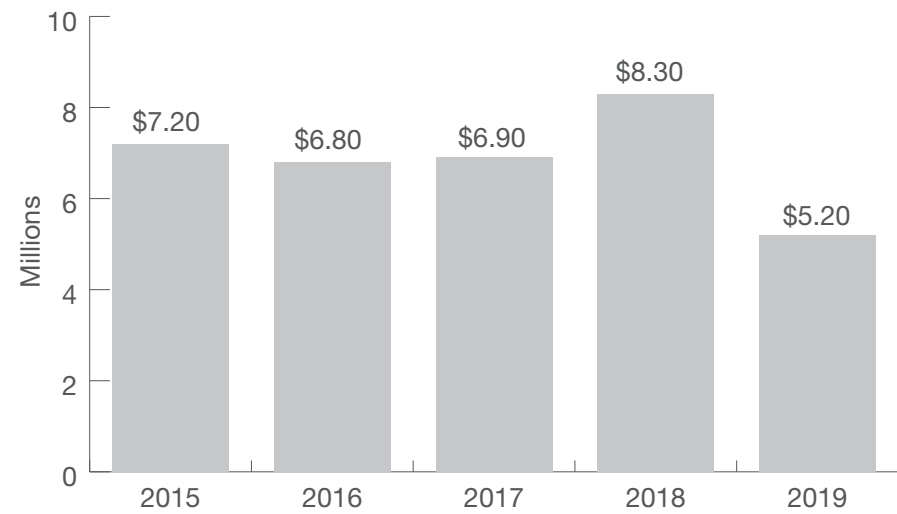
寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

Total energy use



Energy utility cost savings

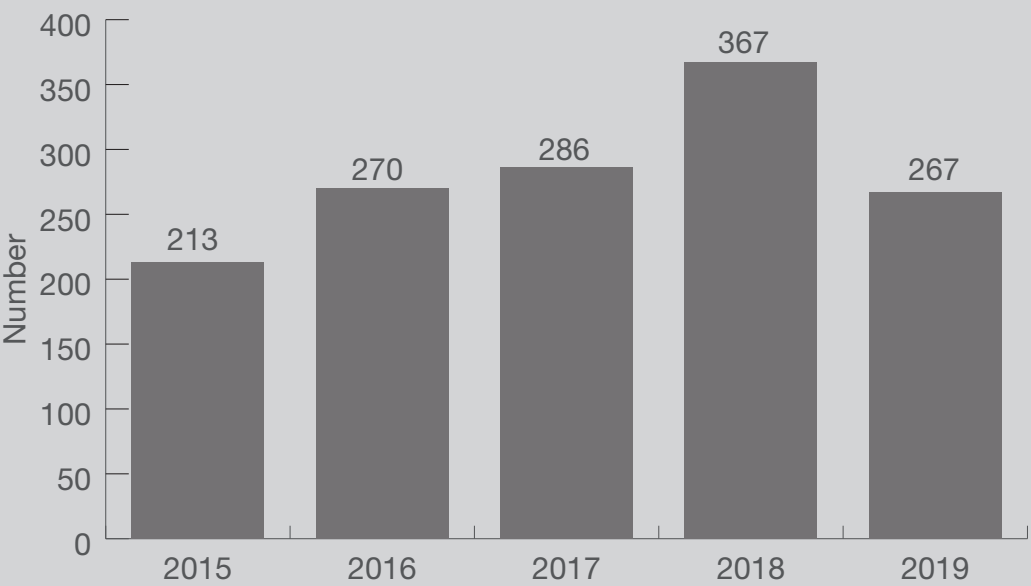


種類別のエネルギー使用量 (million million British thermal units) (百万英熱量)	2015	2016	2017	2018	2019
節約 (MMBTU)	283,234	321,177	285,556	254,121	251,198
エネルギー使用量 (合計 MMBtu)	10,070,708	10,017,419	10,116,022	10,357,182	10,216,767
間接エネルギー使用量 (合計)	8,620,386	8,588,300	8,691,304	8,875,461	8,749,565
電力	8,567,814	8,534,080	8,635,917	8,823,520	8,701,606
地域による暖房	52,572	54,220	55,387	51,941	47,959
直接エネルギー使用量 (合計)	1,450,322	1,429,119	1,424,718	1,481,721	1,467,202
天然ガス	1,259,187	1,245,657	1,244,765	1,298,268	1,285,129
燃料油 (No.6)	73,179	72,243	192,216	12,795	12,435
ディーゼル	50,201	46,842	40,000	44,655	33,158
プロパン	65,166	61,790	1,180,646	123,407	133,858
ガソリン	2,589	2,586	2,667	2,596	2,622

2015 年以來の公共料金コスト削減額は 3,440 万ドル

TI は毎年、GHG 排出の低減に貢献する 200 種類以上の効率化プロジェクトを実現しています。それらの総合により、エネルギー・コストを平均 650 万ドル以上削減できています。2015 年以來、TI は 1,395,286 MMBtu (million British thermal units、百万英熱量) のエネルギーを削減してきました。これは、37,000 世帯以上の家庭に 1 年間電力を供給するのに等しい量です。同じ期間中、TI は 1,400 種類以上の効率化プロジェクトを実現し、3,440 万ドルの公共料金コストを削減しました。

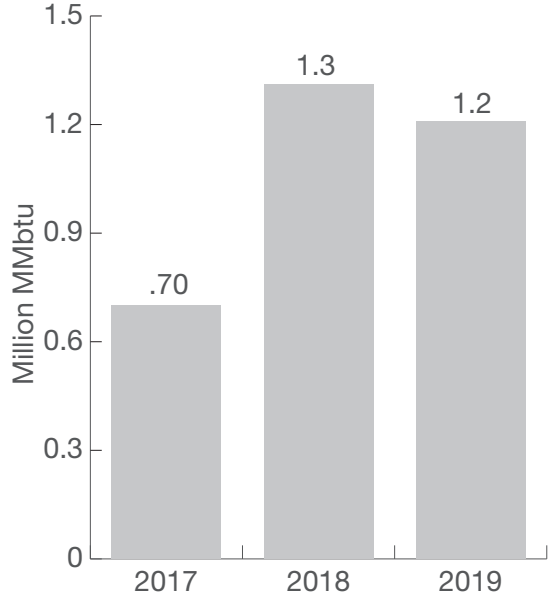
Energy conservation projects



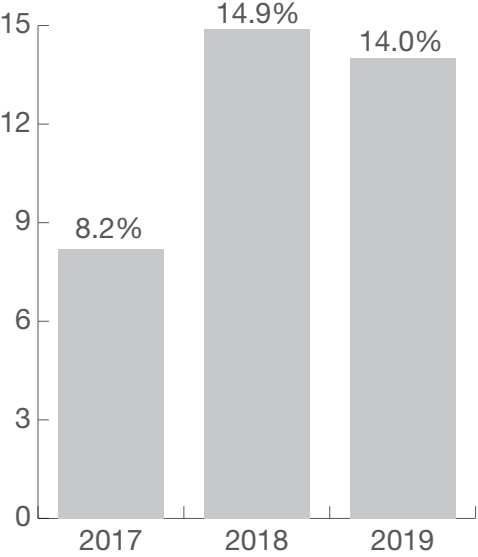
再生可能エネルギー

TI は、信頼性が高く手ごろなエネルギー供給源を確保しています。その中には、入手可能でコスト効率が優れている場合の再生可能⁴リソースが含まれています。TI は、いくつかの拠点でのエネルギー消費を低減するという役割を演じる複数の再生エネルギー事業者との間で、直接的な契約上の取り決めを使用しているほか、自社の事業にとって有意義な場合はより多くの再生可能事業者に投資する機械を積極的に探し求めています。2019 年に、TI の再生可能エネルギー使用量はわずかに低下しました。TI の 2 箇所の拠点への供給を実施しているオフサイト再生可能電力会社が、深刻な気候災害に見舞われたためです。再生可能電力がオンライン状態に復帰するまでの間、従来のグリッド・エネルギーがそれらの拠点に電力を供給しました。

Renewable energy use



Percent of renewable electrical energy used



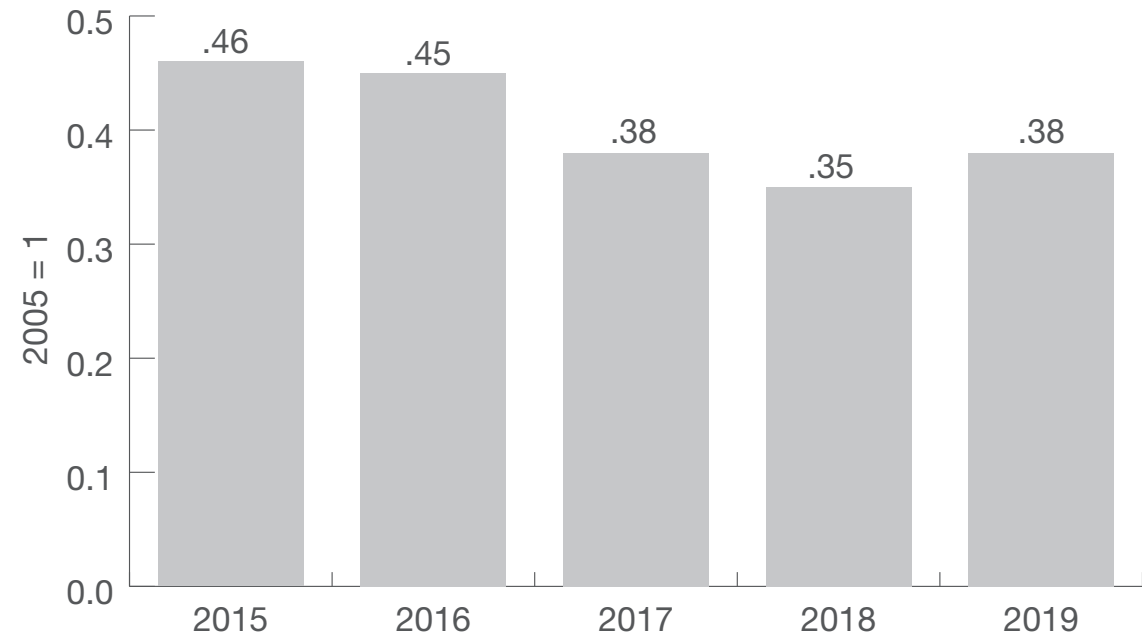
⁴ 複数の発電方式を混在させている発電事業者から購入した電力、または TI が事業を営む地理的領域でグリッドから購入した電力に占める再生可能エネルギーの比率を計算するための国際的な標準は確立されていません。2014 年以降、TI は複数の発電方式を混在させている事業者から購入した電力に占める再生可能エネルギーの推定を取りやめています。また、一貫性のある標準が存在するようになるか、発電事業者からより精度の高い情報が入手できるまでは、このような偶発的な再生可能エネルギーの使用量を報告しない予定です。2017 年、2018 年、2019 年に報告したデータは、契約または政府が管理する追跡システムを通じて追跡することができる、供給済みエネルギーに対応する部分を対象にしています。

エネルギー原単位

TI は、自社の製造プロセスの全体的な効率を評価するために、エネルギー強度を測定しています。エネルギー使用量とは、使用したエネルギー総量を指しており、この値は製造状況によって異なります。エネルギー強度とは、単位出力あたりのエネルギーに注目し (TI のエネルギー使用総量を合計生産数で割る)、使用量を正規化しようとする試みです。⁵

2005 年以来、TI はチップあたりのエネルギー強度⁶ をグローバル規模で 1.0 から 0.38 に低減しました。62% の低減です。TI は米国エネルギー省の「Better Buildings, Better Plants」(優れた建物、優れた工場) プログラムを通じて、米国の製造拠点で 2020 年までにエネルギー強度を 50% 低減するという目標を設定しました。それを達成するために、2010 年以来、36.5% のエネルギー強度を低減してきました。

Normalized energy per chip



準拠と報告

TI が事業を営む国や地域は、該当するエネルギー使用やビルの規範に TI が準拠することを要求しています。TI は自社のエネルギー消費データを自発的に英国の CDP に報告し、本レポートでも毎年公開しています。

水と廃水の管理

水は半導体製造の重要な部分です。この理由で、TI は責任ある方法で効率的に水を使用しています。水を節減かつ温存し、水質を保護すると、コスト削減、規制への準拠、またこの天然資源の長期的な入手と節減かつ温存を実現できるようになります。

管理方法

水の節減と保護に関する TI の戦略に該当するのは、低減への投資、リサイクルと再利用を推進するプロジェクト、水質に影響を及ぼす可能性

水源の合計と種類別 (百万ガロン)	2015	2016	2017	2018	2019
合計ガロン	6,837	6,724	6,657	6,812	6,356
自治体	4,493	4,275	4,207	4,360	4,294
再利用	1,986	2,092	2,032	2,016	1,690
井戸	320	356	395	401	372
雨水 ⁷	37	22	23	35	0

がある化学物質の制限、低減、監視です。TI の環境、健康、および安全 (ESH) 管理システムは、ISO 14001 の認証済みですが、このシステムの要件として、水に関するリスク、つまり入手状況、水質、地下水に及ぼす影響を毎年評価することを TI の各拠点に求めています。

グローバルに水を節減および温存するために TI が実施している具体的な行動には、以下が該当します。

- 熱処理機器に水循環装置を取り付けることによる、都市水道の使用量の低減
- 冷却塔内の水のアルカリ度 (pH) を制御することによるカルシウムの蓄積とスケールの防止、費用の節減、ミネラル濃縮水を押し流すために使用する浄水の使用量の低減
- 水の節減に貢献する、工具最適化プロジェクトと浄水プラント・プロジェクトの実施
- 冷却塔に送り込む、凝縮と精密ろ過を実施した水の量の最大化
- (TI の超純水システムの副産物として生成された) 塩分やミネラルの含有量が多い水をトイレの洗浄に再利用する
- TI の中心的な公益プラントの冷却塔で水を再利用し、湖水、地下水、またはその他の天然供給源から TI が取水する必要のある水の量を低減する

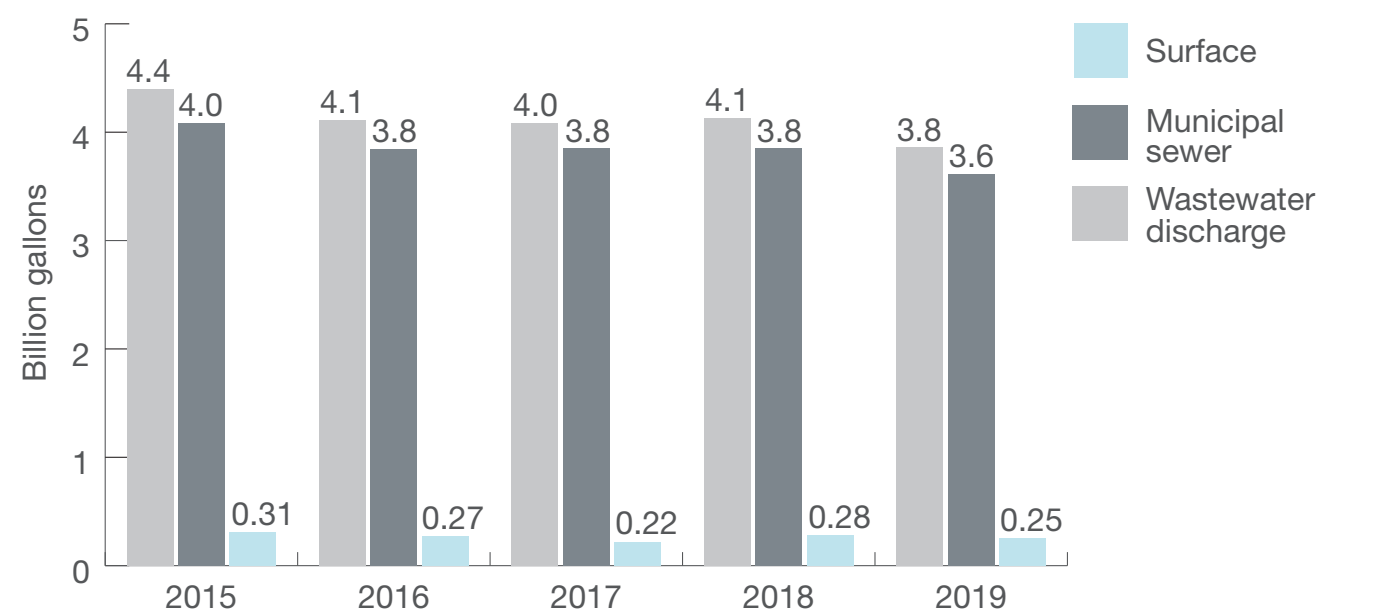
TI が生成した廃水の大半は、汚染物質を低減するためにオンサイトで処理されます。TI は、溶剤、濃縮された金属、酸性溶液を含有している廃水のあらゆるスラッジ (泥濘、ヘドロ) を収集し、規制要件に従ってそれらをオフサイトで処分しています。一部の状況で、TI はそれらの化合物を廃物再生利用施設に転送し、他の業界で再利用できるようにしています。

水源

TI の給水源に該当するのは、地元の公益事業体から供給される地表水、収集した雨水、および地下水です。TI の水使用量は、3 種類の水で構成されています。

- 製造以外 – トイレ、灌漑、噴水式水飲み器、カフェテリアで使用
- 製造 – 化学処理または他の製造処理実施後のウェハー洗浄に使用
- 製造の支援 – 排気低減システムと冷却システムで使用

Wastewater discharges total and by type



再利用とリサイクル

TI は可能な場合、冷却塔、スクラバ (洗浄)、灌漑など他のプロセスで水を再利用しています。たとえば、TI の多くの冷却塔は製造プロセスから取得した水を再利用し、動作に必要とする都市水道の量を低減またはゼロにしています。

2019 年、TI はオンサイトで水の 1/4 以上を再利用しました。

⁵ チップあたりの正規化したエネルギーが変化した原因は、チップ製造の変動や、製造機器のアップグレードに伴う改良、およびエネルギー排出の改良にあります。

⁶ TI の米国製造拠点において製造パターンごとに消費した 1 次エネルギーを、80% 負荷に合わせて正規化し、2010 年基準と比較したものの、1 次エネルギーとは、天然エネルギー源から取得されたうち、どの変換プロセスや変圧プロセスの対象にもならなかったエネルギーの内包量です。施設の開設と閉鎖に伴う調整を実施済み。

⁷ 2019 年、雨水の収集量を報告しない方針を選択しました。これは、その合計が直接測定したものではなかったためです。以前に報告した数値は、地域の降水量データと取水実施面積に基づく推定値でした。

目次

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

水質

TI の水管理基準は、水、廃水、雨水の水質と管理に関する最小限の期待を制定しています。TI のすべての廃水处理プラントは、必要な場合は該当する規制要件を満たすという許可を得ており、放出する水が、地元、州、または国や地域レベルの廃水放出要件を確実に満たすようにしています。

各種規制は、金属、有害な有機化合物、硝酸塩、硫化物のような物質を制限すること、または放水を行う前に水から除去することを求めています。TI はまた、社内の規格、プログラム、手続きも実現済みであり、嵐が過ぎ去った時点ですべての拠点が地元と国家の放水要件を確実に満たせるようにしています。

TI は水のサンプル採取を定期的 to 実施し、事業運営を確実に自社の許容限度内に収めています。マレーシア、フィリピン、日本の各拠点では、追加の予防措置も講じています。処理後の廃水の放出は、それらの国や地域では都市の処理施設に向かう代わりに、水域に直接向かうためです。

水の入手状況

TI はすべての拠点で (特に北米とアジアの拠点で)、将来の水の入手状況という課題を監視しています。また、TI は国や地域、地元の機関やサプライヤ、および地元の公益事業体の管理部門や運用部門と連携し、新しい各種リスクや利用できる可能性のある緩和プラントについて話しています。たとえば、米国テキサス州にある TI の複数の拠点は、TI の事業の最大集中部分であり、Texas Water Development Board (テキサス州水資源開発委員会) に関与し、同組織の水使用調査活動に参加しています。こうした関わりを通じて、TI は将来における同コミュニティの水供給の具体化を支援すること、将来の水の入手状況という課題に合わせて自社の事業を準備すること、または自社の水管理戦略を変更することができます。

レポート作成

毎年、TI は自社の水使用量データを自発的に英国の CDP に報告し、このレポートでも公開しています。都市の供給事業者から請求された量と TI 独自の製造指標に基づいて、報告するデータを収集しています。

中国の TI Chengdu (成都) 拠点は節水で認知済み

Chengdu City Water Conservation Office (成都市水節約事務所) と Sichuan Housing and Urban-Rural Bureau (四川省住宅都市郊外公社) は、中国の四川省成都にある TI の製造拠点をその節水慣行の点で認知しました。同拠点は、毎年数百万ガロン (1 ガロンは 3.79 リットル) の水を節約しています。Chengdu (成都) にいる TI の ESH 担当者は毎年の節減目標を設定し、不安定を防止するために毎日の水使用量を監視しています。また、同拠点は節水または水のリサイクルを目的として、以下のような複数の水プロジェクトを実現しています。

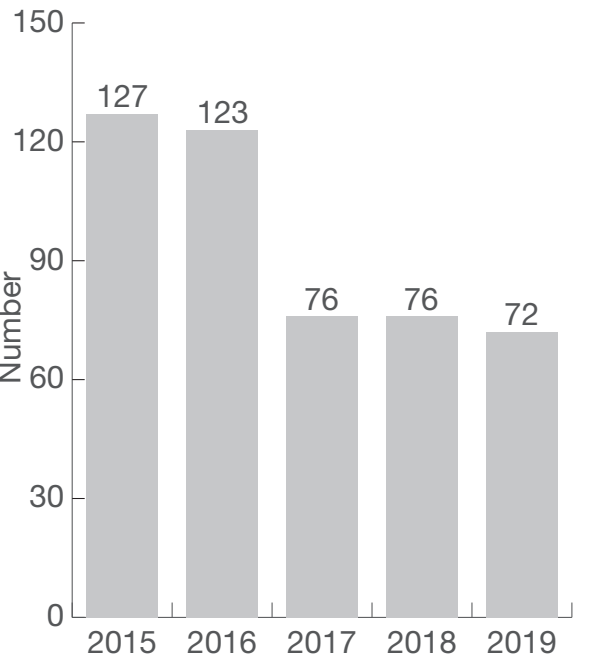
- 純水の限外ろ過を実施する濃縮水回復装置 (元の超純水システムから取得した濃縮水を再処理し、毎年推定 5 百万ガロン (1,892 万リットル、1 万 8,920 立方 m) を節約)
- 機器のサンプリング採取水の回復システム (毎年約 260 万ガロン (984.18 万リットル、9,841.8 立方 m) の水を節約)
- 純水逆浸透濃縮水回復装置 (濃縮水をリサイクルし、約 50% の水を回復して再利用する)
- 限外ろ過回復装置 (処理後の廃水をリサイクルし、毎年約 1,430 万ガロン (5,412.98 万リットル、5 万 4,129.8 立方 m) を節約)

TI の水節減と温存の努力

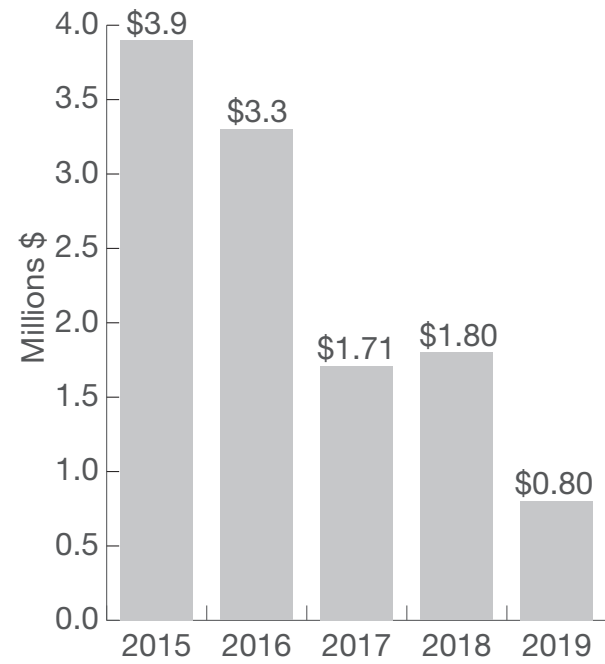
2015 年以来、TI は 474 種類の節減および温存プロジェクトを実現し、公共料金コストを 1,150 万ドル削減したほか、3,330 万ガロン (12,605.05 万リットル、12 万 6,050.5 立方 m) の水を節減しました。これらは、オリンピック規格の水泳プール 55,000 個を満たすのに十分な量です。これまでに完了した各種効率化プロジェクトを通じて、TI は公共事業から供給される水の使用量を継続的に節減できています。⁸

2019 年、半導体製造の減少が原因で、水の総使用量は減少しました。その結果、TI のチップあたり水使用量はわずかに増加しました。また、TI は 2019 年に水使用量を 2.2% 低減するという目標を設定しました。2.5% の節減という実績は、この目標を上回りました。

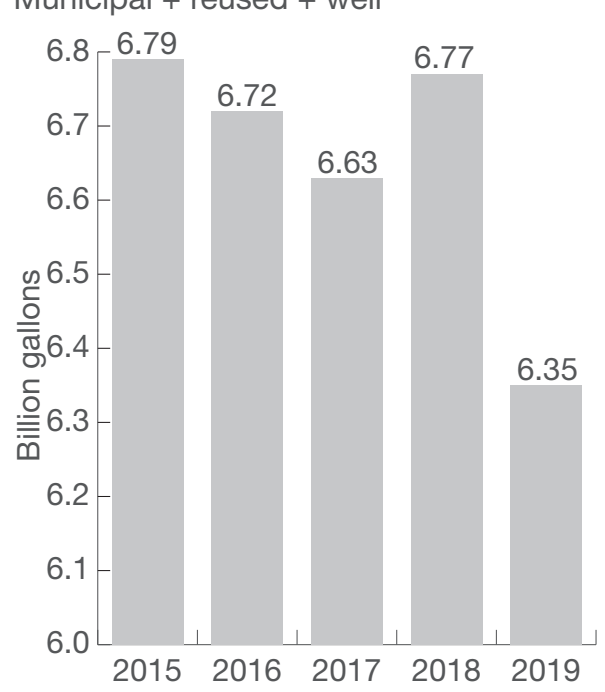
Conservation projects



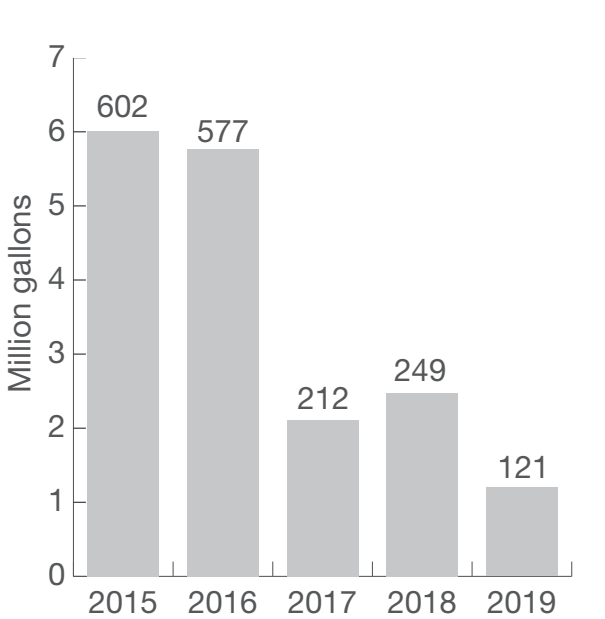
Water utility savings



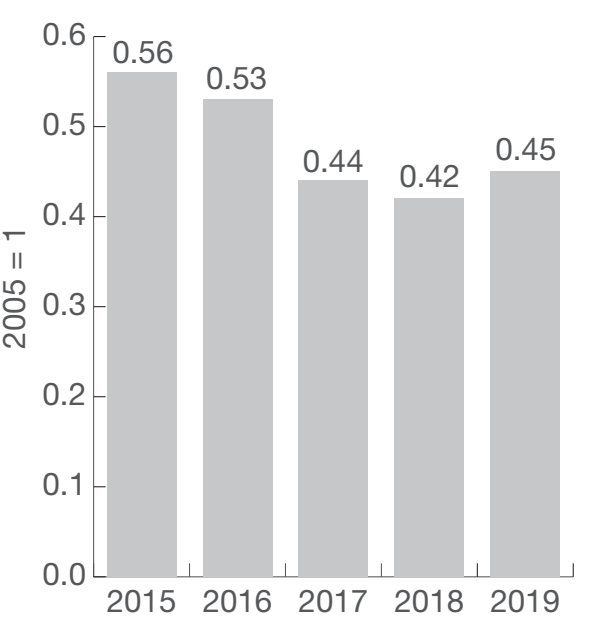
Water consumption



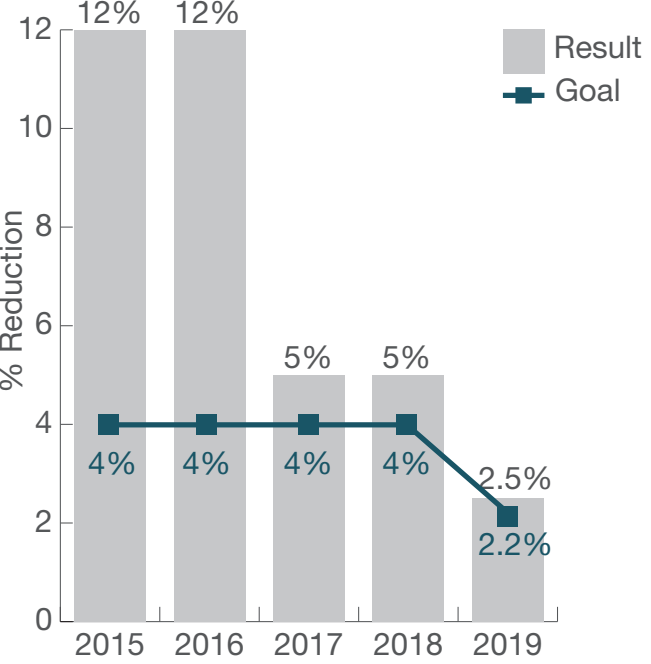
Savings from conservation projects



Normalized water use per chip



Water use



⁸ 水使用量を計算するために、都市の供給事業者から請求された量と TI 独自の製造指標に基づいて、報告するデータを収集しています。また、流出レートと体積を測定し、EPA が制定した標準的な手法を使用して、産業用廃水と雨水のサンプルを分析しています。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

水利用	2018	2019
貯水量の変化 (百万リットル、つまり 1,000 トン) ⁹	0	0
水の取水量 (合計、100 万リットル)	18,155	17,664
地表 ¹⁰	132	0
地下 ¹⁰	1,517	1,409
海	0	0
生成	0	0
サード・パーティー	16,506	16,255
真水 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下)	18,155	17,664
その他 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下)	0	0
水ストレスが発生している地域での水の取水量 (合計、100 万リットル)	3,352	2,674
地表 ¹⁰	0	0
地下 ¹⁰	40	44
海	0	0
生成	0	0
サード・パーティー	3,312	2,630
真水 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁰	3,352	2,674
その他 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹⁰	0	0
水の排出量 (合計、百万リットル)	15,643	14,617
地表 ¹⁰	1,068	953
地下 ¹⁰	0	0
海	0	0
サード・パーティー	14,575	13,664
真水 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹¹	不明	不明
その他 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹¹	不明	不明
水の排出量 (水ストレスが発生している地域、百万リットル)	2,860	2,278
真水 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹¹	不明	不明
その他 (合計溶質重量が 1,000mg/L 以下) ¹¹	不明	不明
水消費量 (合計、100 万リットル) ¹²	2,512	3,047
水消費量 (水ストレスが発生している地域) ¹²	491	396

⁹ 複数の製造施設は (全体の使用量に比べると) 小規模な貯水を行っていますが、TI の年ごとの変化は顕著ではありません。

¹⁰ この中には、一度使用した後に再利用した冷却水 (ドイツのフライジング施設で熱除去の目的でのみ敷地内の井戸からくみ上げた水) は含まれていません。この水は、同じ帯水層に返されています。収集した雨水は洗浄に使用し、合計水使用量の一部として報告していません。ただし、2019 年より前は、テキサス州リチャードソンにある製造施設は少量の雨水を計算に含め、報告していました。

¹¹ TI はどの拠点でも、合計溶質重量の継続的な監視を実施しています。

¹² 取水量から排水量を差し引く形で計算しています。

新しい計量テクノロジーは、あらゆる水滴の計数を支援

TI の各種テクノロジーは、TI の非常に貴重な資源の 1 つである水の節減と温存に貢献できます。EPA によると、米国の家庭からの漏水による浪費は毎年約 9,000 億ガロン (34,067.7 億リットル、34 億 677 万立方 m) に達します。TI 製品が実現する超音波テクノロジーを採用すると、水道メーターは最小 1 滴の漏水の場所を数秒で識別することができ、水の浪費の早期検出と低減が可能になります。

米国テキサス州オースティンやベルギーのアントワープのような複数の都市は、ハitekのスマート水道メーターの設置を進めています。その結果、消費者は自らが必要としている情報を入力し、漏水を見つけて水を節減および温存すると同時に、公益事業者が老朽化した配管や破損した水道本管からのインフラ側の漏水を特定しやすくなります。TI の先進的な流量メーター向けマイコンである MSP430FR6043 は、精度を大幅に向上させるとともに、全体のコストの削減と消費電力の低減も実現します。



TI のすべての拠点は、国際標準化機構 (ISO) 14001 の環境管理システム基準が設定した認証要件と、職場の健康と安全に対する管理に対応する ISO 45001 が設定した認証要件を満たしています。

さらに、

- 持続可能な方法で操業するための TI の努力に対する指針として、すべての製造拠点とアセンブリ / テスト拠点にいる従業員と補助的な請負業者に対し、TI の [ESH Policy and Principles](#) (ESH ポリシーと原則) および該当する規制要件に従うことを求めています。
- TI は、[Living our values](#) (価値と共に生きる) – TI の [Ambitions](#) (大きな目標)、[Values](#) (価値)、[Code of Conduct](#) (行動規範) (英語) は、人々の健康と環境を保護するための複数のセクションを掲載しています。
- TI とそのサプライヤは、[Responsible Business Alliance \(RBA\) Code of Conduct](#) (責任ある事業同盟 (RBA) の行動規範) に準拠することを期待されています。この中には、各種 ESH 規格もあります。

TI の ESH ポリシーは、多言語で入手できます。
[英語 \(English\)](#) | [繁体字中国語 \(Traditional Chinese\)](#) | [簡体字中国語 \(Simplified Chinese\)](#) | [日本語 \(Japanese\)](#) | [マレー語 \(Malay\)](#) | [スペイン語 \(Spanish\)](#) | [ドイツ語 \(German\)](#) | [韓国語 \(Korean\)](#)



目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

責任ある製造と流通

TI は、非常に困難な世界的課題の解決に役立つ製品の設計と製造に取り組み、より良い世界を作り出しています。持続可能なテクノロジーに基づく設計と製造を通じて、TI とその顧客は、多数の業界が、より安全、よりスマートであると同時に、手ごろでエネルギー効率が優れ、信頼性が高く、同時に消費電力の少ない製品を製作できるようにしています。

半導体製品

TI のウェハの約 80% は社内製造であり、合計 8 つの国や地域にまたがる 14 の製造拠点が担当しています。TI は複数の外部ファウンドリや下請け業者との強固な提携を築く方法で、自社の製造能力を補完しているので、顧客の需要に合わせて製造を拡大縮小することができます。このフレキシビリティを通じて、TI は自社と取引のある約 100,000 社の顧客への継続的な製品供給を確実に実施できるようにしています。

競争優位に関する TI の利点の 1 つは、大規模で冗長性のある製造施設の敷地です。また、以前の 150mm ～ 200mm ウェハの製造から、より先進的でコスト効率の優れた 300mm テクノロジーへの移行もこれに該当します。300mm ウェハを使用すると、ウェハ 1 枚からより多くのチップを製造できると同時に、製造コストの削減や、リソース消費量と環境負荷の低減も実現できます。

品質

社内製造能力を確保した結果、TI は自社製品の品質をより綿密に管理するために、製品開発の目的で購入する原材料に加えて、製造プロセス自体の監視と調整を実施できます。TI の [Quality System Manual](#) (品質管理マニュアル) は、TI の管理プロセスと管理システム、品質ポリシー、手順について記述しているので、品質に関連する課題に迅速に取り組み、解決することができます。TI の各種品質規格は、多数の品質仕様や最新の業界規格への準拠を維持しています。

高い信頼性

通常の状況で使用される半導体の平均的な寿命は 10 ～ 15 年です。TI の信頼性テストは、[stress and temperature tests](#) (ストレスと温度に関するテスト) も実施しており、この中では熱、振動、さらに潜在的な故障メカニズムを加速する他の要因も適用しています。これらのテストを通じて、このような故障の根本原因を特定し、顧客に販売する前に IC の設計を改良することができます。TI の製品設計、プロセス、製品、パッケージは、リリースする前に、業界の[reliability](#) (信頼性) 規格も満たす必要があります。

TI は、各種業界規格に準拠するように、定期的に変更を加えます。また、TI は日常的に顧客の品質データを評価し、品質改良計画を策定するほか、四半期ごとの社内品質監査を実施して、TI 製品が確実に長期的に持続するようにしています。

TI 製品の販売は、在庫がなくなるまで、または技術面や効率面の更新が確実になるまでは継続します。特定の製品を生産中止にするには、以下の 3 つの条件が同時に成立していることが必須要件になります。

- 直近 5 年間 (車載製品または高信頼性製品の場合は 7 年間) のうちに製品の販売実績がまったくない
- 少なくとも 10 年間にわたって製造してきた
- 現時点で顧客からの需要がない

製品の生産中止を検討していることを顧客に通知します。顧客は将来の使用に備え、それらの製品を購入して保管することを希望するかどうかを決めることができます。

耐用年数終了時の廃棄

耐用年数終了時の廃棄について、顧客が情報に基づいた判断を下すことができるように、該当する部品に使用されている物質の詳細情報を提供しています。顧客は、TI のコンポーネント準拠データを自社の製品評価に含めることができます。携帯電話やスマートフォン、またはコンピュータなどの製品に関し、使用可能な寿命と耐用年数が終了した製品の廃棄に関するあらゆる社会的影響と環境的影響の管理に対して最終的に責任を負うのは顧客であるためです。このデータは、TI の[material content tool](#) (原材料成分検索ツール) から入手できます。

教育用テクノロジー

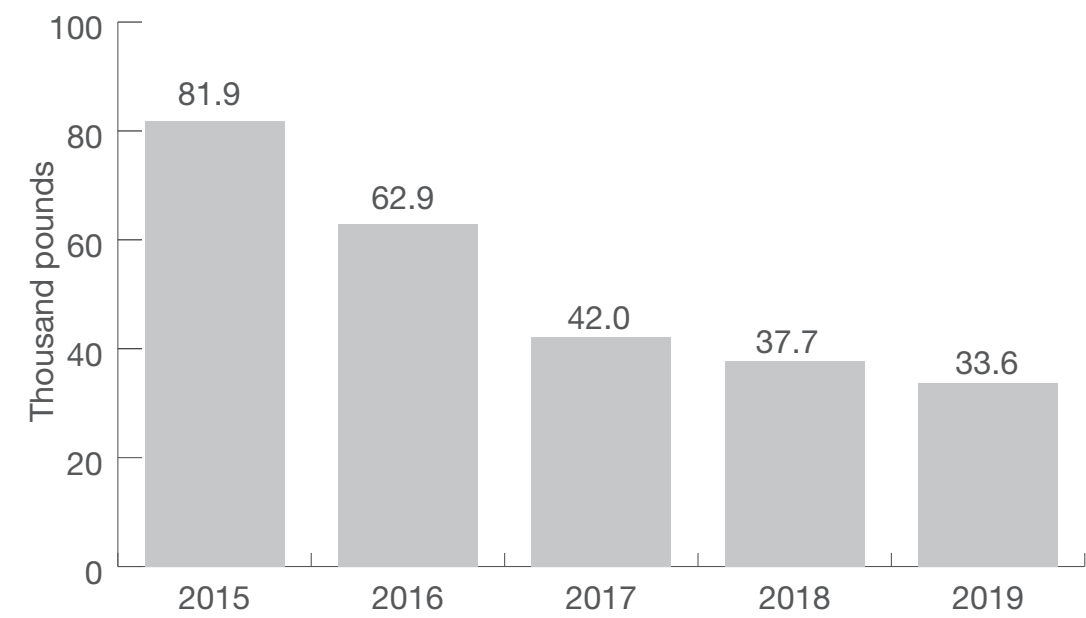
TI は[education technology calculator products](#) (教育用テクノロジー向け電卓製品) の製造を外部委託しています。これらの製品は、世界各地の教育者と学生や生徒が使用しています。TI は、環境に及ぼす影響を考慮してこれらの製品を開発しています。関係するのは、設計、パッケージング、廃棄の過程で使用する原材料、さらに製品の寿命です。また、TI はサプライヤと下請け業者に対し、ESH と品質分野の該当する法令と規制や TI 独自の規格を順守することを要求しています。TI のハンドヘルド・グラフ電卓を確実に責任ある方法で製造できるようにするためです。

目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

教育用テクノロジー製品の廃棄物低減

TI はフラッシュ・テクノロジーを採用した教育用テクノロジー製品を設計する方法で、廃棄物を低減しています。その結果、消費者はソフトウェア・アプリケーションをダウンロードし、製品寿命と長期的価値を延長することができます。TI はまた、教室での使用を想定した耐用年数に合わせて自社の電卓を設計しています。TI はより多くの電子廃棄物のリサイクルを継続的に実施し、2015 年以来、258,367 ポンド (117,298.62 kg、117.299 トン) の物質を埋め立て処分から他の用途に振り向けました。

Waste generated from Education Technology products



梱包と出荷

TI は、最も環境に責任を持てる方法で、自社の製品の梱包と流通を実施するように努力しています。

TI は日本でマルチパック梱包システムを使用しています。この方法で、顧客は箱全体と梱包材を、梱包の再利用に関する認証を実施する第三者に返却することができます。梱包材などが検査に合格しない場合、それらはリサイクルされます。

梱包

TI は自社製品を効率的に梱包し、適切な時間枠で顧客宛に流通させるとともに、出火に関する国際的な規制に確実に準拠できるようにしています。次に例を示します。

- 複数回の配送を防止する目的で、多数の製品も各出荷に収められるように梱包しています。
- 実際の重量が、課金の対象になる寸法重量 (容積重量) に近くなるように、梱包密度を高めています。
- 重くて高額な、カスタム・カットの発泡材やリサイクル不可能な発泡材の使用、または発泡材とボール紙の廃棄物発生を排除しています。
- 出荷の際に、製品を保護する梱包材を再利用しています。

配送

TI は戦略的に、顧客に近い地域に自社の流通センターを配置しています。その結果、配送期間の短縮、効率の向上、また天災や人災発生時の製品配送の確保が可能になります。TI は顧客と協力し、顧客が TI 製品を必要とする時期を判断しています。その結果、可能な場合は TI は適切な時期に一括で出荷することができます。この慣行の採用により、航空便を使用する場合でも、より手ごろな出荷オプションが使用できるときを想定した優先順位の低い航空便を使用する方針に相互で合意することができます。





目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

材料管理

TI は、自社の事業を運営するために必要なものだけを購入するように、また、出荷用の資材や化学薬品のスクラップと廃棄物質をリサイクル、再利用、または販売するように、最大限努力しています。

材料管理に関して、TI は 3 ステップのアプローチを適用しています。

ステップ 1: TI が何を必要としているかを検討します。

TI が必要とする原材料の大半は、半導体の製造に必要なものであり、TI の最終製品に含有されています。 原材料を購入する場合、TI は結果として発生する廃棄物について、また既存の原材料を再利用するか、リサイクル済み原材料や環境との親和性が高い品目を購入するかを考慮します。

ステップ 2: 可能なものを再利用します。

以下の方法で原材料を再利用します。

- 固体、液体、スラッジ (泥濘、ヘドロ) から金属を回収する
- 使用済みのプロセス化学物質、化学物質コンテナ、古くなった製造機器を他の目的に振り向けるか、再販売する
- ウェハー・キャリアやフード・サービスの食器を再利用する
- ウェハー製造向けの靴を地元の非営利団体に寄付する

ステップ 3: 許可されているものをリサイクルします。

リサイクル可能な TI の原材料や物資は、主にオフィスや製造拠点に由来します。それらは地元の要件に基づき、異なる方法で管理および調整されます。

TI はすべての拠点で、廃棄資源をゼロにすることを目指しています。また、原材料の使用と廃棄を責任ある方法で管理することの重要性を確信しています。TI で必要なくなった原材料 (スクラップの原材料) と、再利用や再販売のできる品目 (一部の化学物質など) を再利用、リサイクル、または再販売する方法で、この考え方を実践しています。この慣行は、環境を保護し、埋め立てに回す原材料や物資の量を低減するのに役立ちます。

TI はまた、廃棄物を低減するために自らの役割を果たすことの重要性を従業員に教育しています。拠点によっては、ESH 担当者は、リサイクルの推進、食品ゴミのたい肥化 (コンポスト) の推進、廃棄物管理に関するその他の慣行の推奨を率先することもあります。TI のプログラムとインフラは拠点によって異なりますが、廃棄物ゼロを目指す努力は共通です。

原材料の受入検査

TI は、受け入れたすべての原材料や化学物質を、半導体製造プロセスに投入する前に受入検査を実施し、規制と顧客の要件の両方に準拠できるようにします。それらの使用にあたって求められる ESH の各種統制に加え、TI はサプライヤとの契約の中で化学物質に関連する制約と規格を記載しています。

TI が受入検査を実施している段階で化学物質または他の原材料に関する懸念が発生した場合、会社のさまざまな部門に所属しているエキスパートをスタッフとする、化学物質と原材料のレビュー委員会に、その懸念

事項をエスカレートさせます。ある化学物質または原材料が製造に必要であると確信していても、依然として懸念事項が発生する場合、TI の製造リーダーはその課題をレビューし、必要な場合は、より安全な代替物質を見つけるため、または使用に関するより厳格な統制を実現するために、追加の時間とリソースを投入することを許可します。

製造に必要な化学物質の厳格な管理

世界トップ・クラスの半導体の製造には、有害または有害ではない化学物質とガスの使用が関係します。この理由で、TI は厳格な統制を実現しています。また、新しい科学情報が利用可能になり、新しい規制が有効になった時点で、TI はこれらの原材料が ESH に及ぼす潜在的な影響を継続的に評価します。

TI は最も安全でリスクの最も低い原材料を識別し、事業で使用するための取り組みを進めており、余剰化学物質の購入、使用追跡、廃棄についての厳しい基準とプロトコルを定めています。TI はこれらの基準を自社のサプライ・チェーンにも拡大し、特定の化学物質や原材料をしないようにサプライヤに制約を加えています。TI が制約を課している化学物質と原材料の一覧については、[こちらをクリック](#)してください。

欧州連合 (EU)、中国、他の国や地域の政府は、製品の成分に関して厳格な法令と規制を設けており、一部の化学物質を完全に禁止しました。

TI の製品管理システムは、TI 製品で使用する原材料に統制を加えています。TI はこれらのデータと情報を顧客が参照できるようにしているので、顧客が製作した最終製品も、引き続き該当する規格に準拠しています。主な法令と規制の例:

- **電気および電子機器における特定有害物質の使用制限 (Restriction of Hazardous Substances Directive、RoHS)**
TI は、顧客の製品が採用している TI 製品が RoHS に準拠していることを立証できる情報を顧客に提供しています。
- **化学物質の登録、評価、認可および制限 (Regulation on Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals、REACH)**
TI 製品に関連している REACH の「substances of very high concern」(高懸念物質) に関する情報を、顧客が入手できるようにしています。
- **中国の電子情報製品汚染防止管理弁法 (China Management Methods for Controlling Pollution by Electronic Information Products、China RoHS、中国版 RoHS)**
TI のコンポーネントは中国版 RoHS の対象ではありませんが、当社顧客が準拠状態を維持できるように、TI の出荷ラベルは分析データと部品表 (BOM) に関する情報を掲載しています。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

産業用廃棄物の管理

TI が操業する各地域にある規制機関は、製造工程に由来する産業用廃棄物 (主に化学物質) を分類しています。可能な場合、TI は特定の洗浄用途で化学物質の代わりに高圧水を使用するか、化学物質を、環境との親和性が高い物質で置き換えます。

化学物質を使用する必要がある場合、その輸送、分配、仕様、廃棄については注意深く管理しています。この管理にあたっては、危険物質や他の適切な化学物質の使用、保管、廃棄に関するトレーニングを担当者に実施しています。また、TI は通気制御機能、排出物低減システム、漏洩検出器、適切な処理テクノロジーも使用しています。

鉛

かなり前から、法令と規制はさまざまな製品で鉛の使用のフェードアウトを模索しています。TI は、[lead \(Pb\)-free](#) (鉛フリー、鉛を使用しない) 代替物を開発する点で業界をリードしてきました。大半の顧客は Pb フリー製品の使用に移行しましたが、どうしても特定の製品を必要とする顧客向けに、TI は鉛を含有する少数の製品を引き続き製造しています。これらの製品は通常、RoHS 要件の適用範囲外にあります。

臭素系と塩素系の難燃材

TI と電子業界が直面している課題の 1 つは、臭素系難燃材 (BFR) と塩素系難燃材 (CFR) の使用を低減または排除する方法です。これらは、半導体パッケージング原材料の不可欠な要素です。製品に含有されている BFR と CFR は販売の時点では何のリスクもありますが、不適切または安全ではない方法で廃棄することは懸念事項になります。これらが業界の懸念事項になる前に、Pb フリーおよび RoHS 準拠に切り替える際に、TI 製品の 90% ～ 95% からこれらの原材料を除去しました。

TI の Pb フリーと RoHS 準拠のデバイスは、GADSL (Global Automotive Declarable Substance List、グローバル自動車業界管理対象物質リスト) と IEC (International Electrotechnical Commission、国際電気標準会議) 62474 のデータベース (以前の Joint Industry Guide、ジョイント・インダストリー・ガイドライン、JIG-101) でグローバルに定義された制約も満たしています。グリーン対応としてリストに記載されている TI 製品はこの種の規制要件リストを上回っているほか、低ハロゲン協定にも準拠しています。

TI でのグリーン対応の定義

TI の定義するグリーン対応とは、「鉛フリー、RoHS 準拠、および塩素系、臭素系、三酸化物アンチモンを基材とする難燃材を含有していない」ことです。TI が出荷する半導体製品のうち 90% を上回る品目がグリーン対応とみなされており、低ハロゲンに関する業界要件を満たしています。詳細については、TI の「[Our Halogens, Chlorine and Bromine: Concentration in TI's Green Devices document](#)」(英語) と TI の「[Eco-Info website](#) (Eco 情報 Web サイト) をご覧ください。

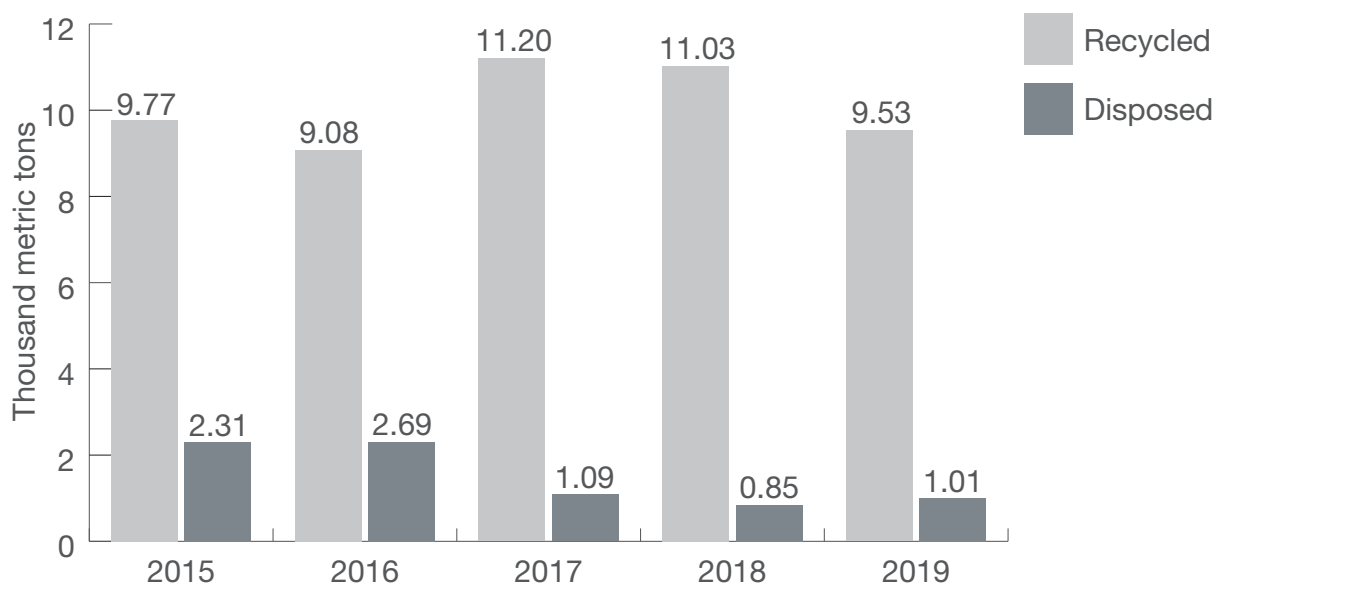
ナノ材料

TI は業界内で引き続き作業を進め、TI 製品で使用できる可能性がある、多様なナノサイズの化学物質と物質の評価を進めています。TI は複数の研究グループに積極的に関与し、触媒、潤滑剤、塗料、コート剤などの特殊機能向けに、ナノ材料の使用を評価しています。現時点で TI がナノスケールの機能や構造を組み込んでいるのは、選択した一部の半導体のみです。TI は業界の複数のパートナーと協力して、これらの原材料について学習し、ESH に及ぼす潜在的な影響についていっそう的確に理解できるようにするとともに、必要な場合は社内の管理システムが適切な統制と保護を確実に実現できるようにします。

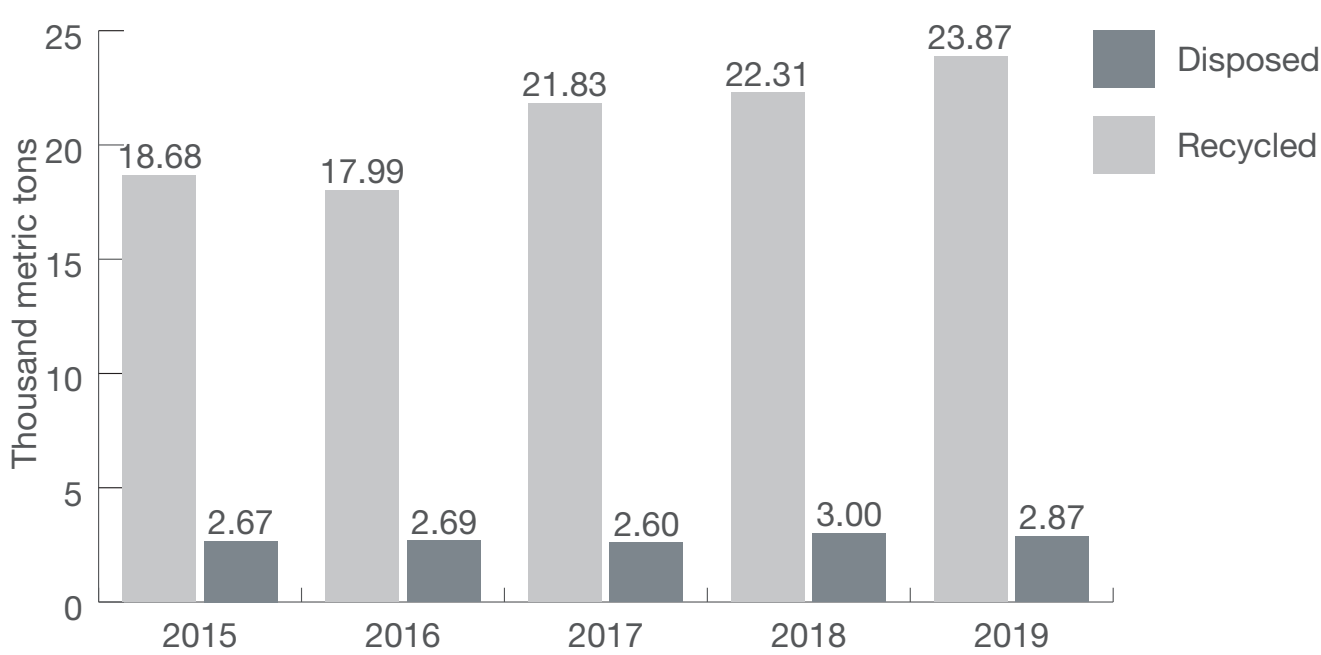
TI における原材料の使用

2019 年に、TI が全体で生成した廃棄物の量はトン単位で減少しましたが、ウェハー製造が減少したことが原因で、チップあたりの廃棄物は増加しました。TI が生成した有害廃棄物はわずかに増加しました。これらは主にプロセス化学物質で構成されていますが、TI は再利用の目的でこれらを他の業界に販売しています。TI は、この廃棄物の一部を販売することができません。そのため、有害廃棄物の規制に従って廃棄しています。

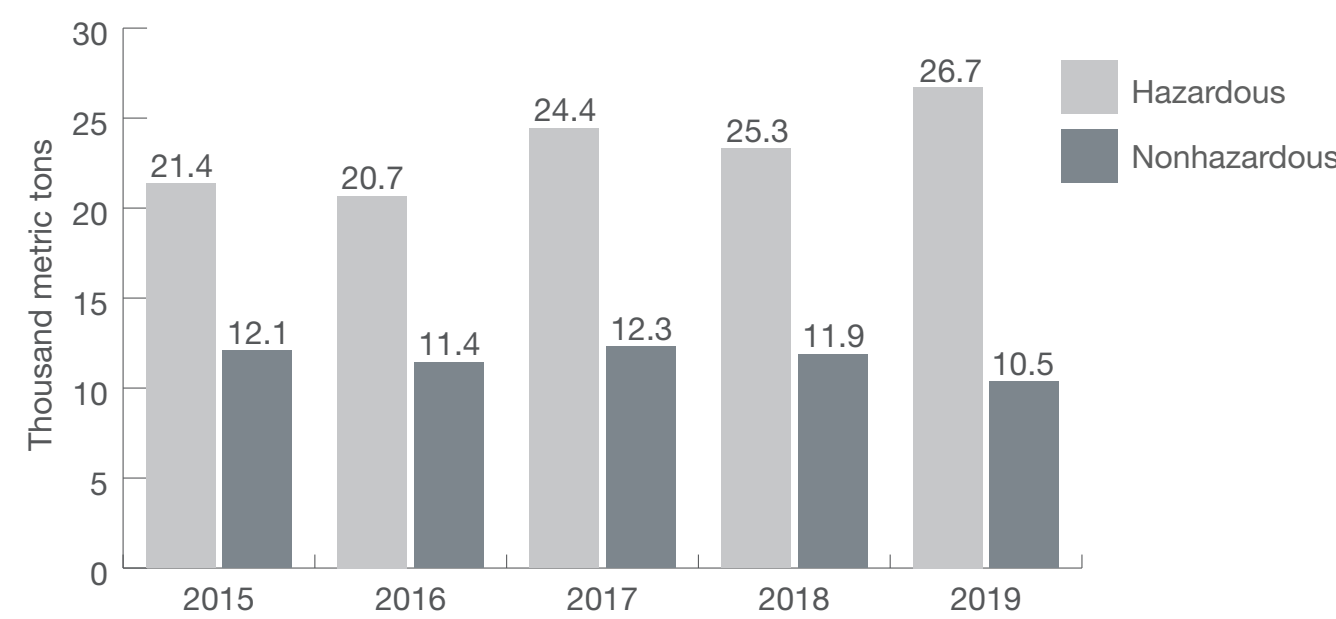
Nonhazardous waste



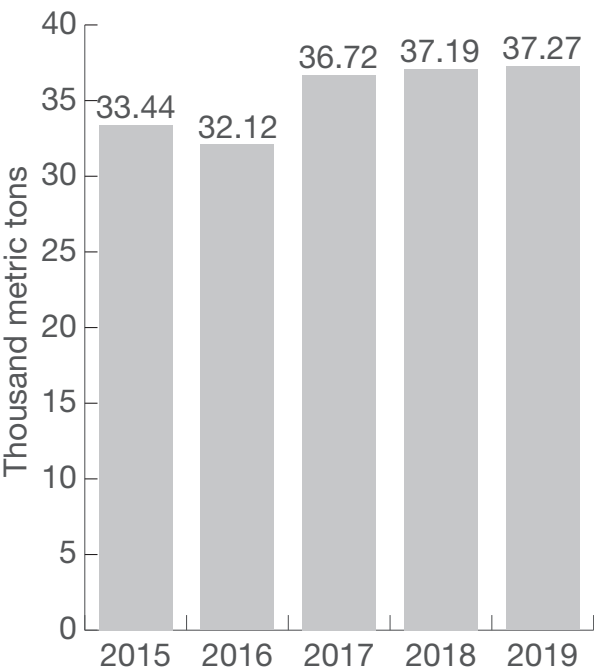
Hazardous waste



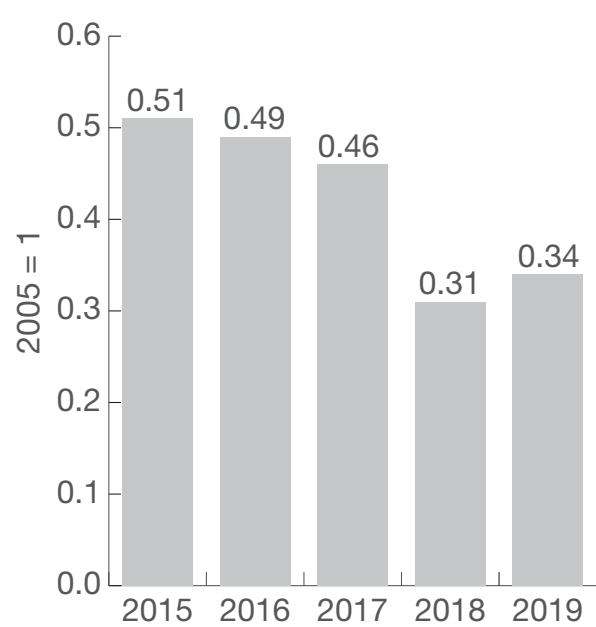
Waste by type



Waste generated



Normalized waste use per chip



目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

責任ある事業慣行

ガバナンス

TI のガバナンス Web サイトは、TI のコーポレート・ガバナンスの慣行について説明しているほか、TI の [leaders, governance documents and board committee responsibilities](#) (英語) に関する追加の詳細を掲載しています。

TI の 2019 U.S. Securities and Exchange Commission (SEC) Form 10-K (英語) の中で、以下のことを確認できます。

- Financial statements (財務諸表)(Part II, Item 8、ページ 23 ～ 57)
- Taxes paid to governments (政府に支払った税金の額)(Part II, Item 、Note 4、ページ 38 ～ 40)

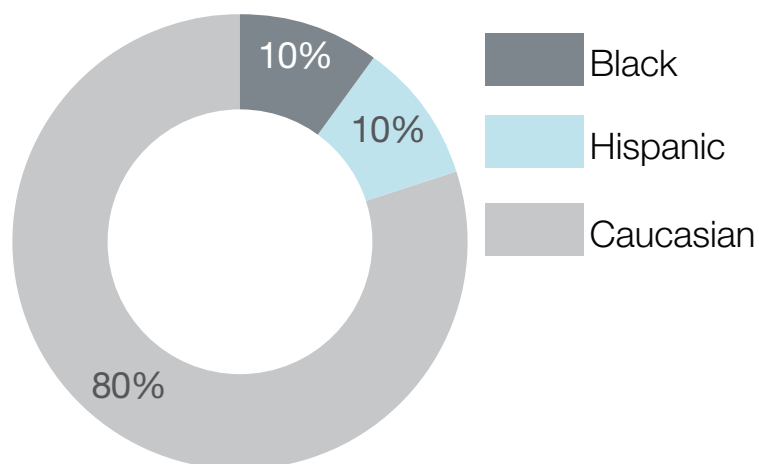
TI の最新の [proxy statement](#) (英語) (株主総会招集通知) で、以下の内容をお読みになれます。

- Voting procedures, quorums and attendance (投票手続き、定足数、参加者)(ページ 3)
- Tenure of board members (取締役の在職年数)(ページ 5)
- Board attendance at annual meetings (年次総会の参加者)(ページ 11)
- Director independence (独立取締役)(ページ 11)
- Board evaluation processes (取締役会の評価プロセス)(ページ 15)
- Director and executive compensation (pages 16-43) and pay ratios (取締役と執行役員の報酬、および報酬比率 (ページ 16 ～ 43))(ページ 43)
- The compensation committee report (報酬委員会報告書)(ページ 31)
- The audit committee report (監査委員会報告書)(ページ 44)
- A proposal to ratify the appointment of an independent registered public accounting firm (独立した公認会計事務所の任命裁可に関する勧告)(ページ 44)
- The engagement of and fees paid to executive compensation consultants (執行役員への報酬決定に対するコンサルタントの関与と支払済み料金)(ページ 14)

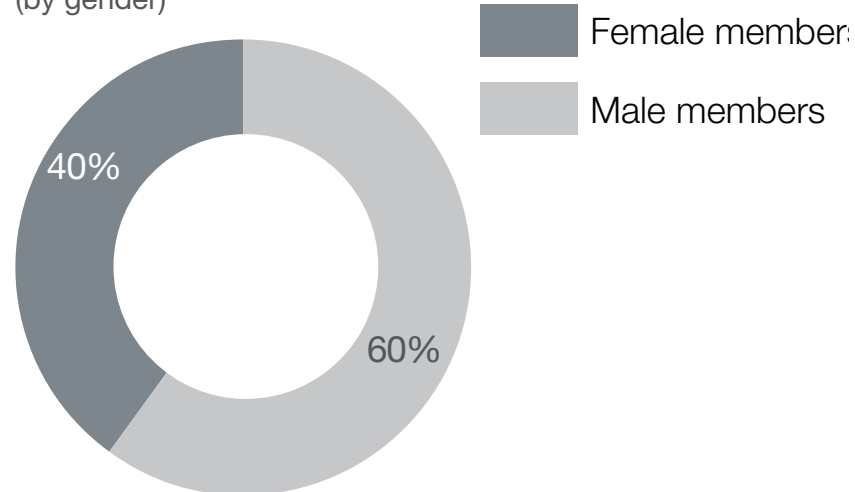
TI の取締役会の概要

2019 年末の時点で、TI は 1 階層の取締役会を採用していました。取締役会のメンバーは 10 人で、そのうち 90% は独立取締役でした。職務の定年は 70 歳です。以下のグラフは、2019 年における TI の取締役会の構成に関する追加情報を掲載しています。

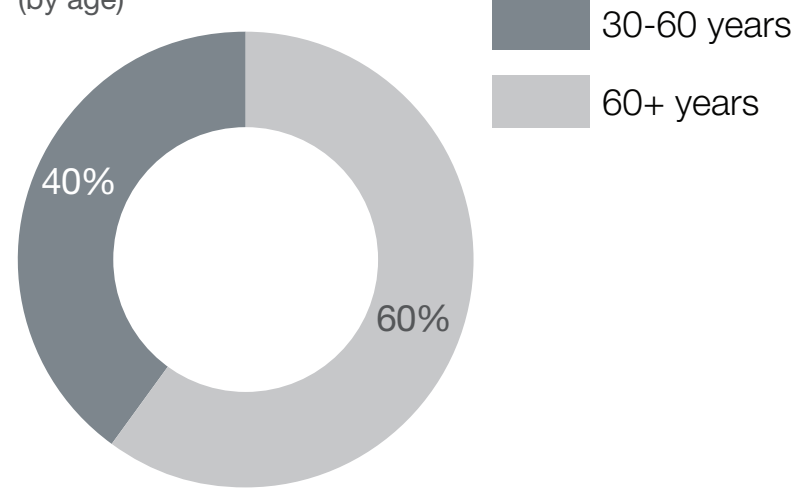
Board members (by race)



Board members (by gender)



Board members (by age)





目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

リスク管理と事業継続性

絶えず変化する世界に適応する TI の能力には、業務上のリスクに対する管理能力や、目的を達成するための機会の活用能力も該当します。製品供給を継続し、業務中断を限定すると、TI の信頼性に関して顧客が安心感を抱くことができるほか、TI の評判の維持、財政的地位の確保、長期的な持続可能性にもつながります。

TI のリスクの理解

他のグローバル企業各社と同様、TI は予期できない事業リスクと新種の事業リスクの両方を継続的に監視し、計画を立てています。これらのリスクに該当するのは、サイバー攻撃、天災、異常気象、パンデミック (世界的流行病)、地政学的問題、社会不安、テロリズムまたは他の敵性行動、あるいはサプライ・チェーンや製品流通の遅延です。TI は事業の中断を低減するために、これらのリスクの継続的な監視、対処するための計画の策定と修正、グローバルな規制や政治的な全体像と環境条件と製品供給の継続性の分野で畢生している変化の評価を実施しています。

リスク管理計画

TI には、堅牢性の高い事業継続計画 (BCP) 管理システムとポリシーがあり、リスクに対する体系的な準備と管理を進めるための枠組みとして活用できます。このシステムは、ISO 22301 の事業継続マネジメント規格に基づいてモデル化したもので、事業の中断に対して TI が保護策の計

画立案、実現、監視、保守を実施するのに役立ちます。また、TI は事業のモデル化や、シナリオと影響の分析を実施して、管理戦略、ポリシー、規格、コンティンジェンシー・プラン (緊急事態対処計画) の策定と改訂を実施します。

これらは、以下のことを決定するのに役立ちます。

- TI の事業を形作る重要な業務プロセスと、それらの実行可能性の確保に責任を負う担当者
- 潜在的な脅威とリスク、およびそれらを管理するために統制を実現するかどうか
- 適切なリソースを使用して、効率の良い対応と復旧を確実に実施するためのプロセス復旧期間
- 人材、会社の売上、評判に高いリスクをもたらす可能性のある、すべての重要な事業プロセスに対応するコンティンジェンシー (緊急事態対処) 戦略
- 対応と復旧、製品とサービスの継続に関する優先順位設定のすべての側面を網羅するための包括的な復旧戦略

TI の Readiness 2 Recover (復旧するための準備完了) プログラムは、TI 独自の事業継続管理の要件の有効性と準拠性を測定するのに役立ちます。2 年ごとに (または必要に応じて) TI はリスク評価を実施し、既存の統制とギャップの特定および改訂を行います。

トレーニング

TI は定期的に、役員、取締役、他の従業員に対して、即座または将来影響を及ぼす可能性があるさまざまな問題を特定する方法に関する管理責任の教育を実施しています。TI は各種リーダーに対し、事業、人材、製品に対する深刻さの水準に基づき、各リスクの評価と優先順位設定を実施する方法を教育しています。研修会や机上演習を通じて、参加者は自分の習得した内容を実際のシナリオに適用します。また、実際の出来事やシナリオに基づく演習から学んだ教訓に基づき、コンティンジェンシー・プランの評価と更新を行うように各種リーダーに伝えます。

緊急対応計画

インシデントの性質と深刻さに応じて、TI は社内の緊急対応システムを起動します。TI の緊急対応チームは、潜在的な損失を低減するのに必要とされる、適切なリソース、サービス、インフラを迅速に特定します。TI の各拠点には緊急対応連絡員が複数人配置されています。これらの連絡員は、各拠点で (必要な場合はグローバルで) 取り組みを調整するためのトレーニングや最善の対応戦略を展開するためのトレーニングを受けています。また、天災や他の大災害が発生した場合、TI は操業地域のコミュニティで災害救助を実施します。

インシデントに対する TI の指揮プロセスは、米国インシデント管理システムに基づいてモデル化したもので、影響を軽減するように設計してあります。詳細なリスク評価を通じ、その深刻さに基づいて各種リスクを分類します。この結果、24 時間 365 日、通年で稼働している TI のセキュリティ・コミュニケーション・センターは、人々と環境の安全性を確保し、事業のダウンタイムを低減するためのリソースの準備と導入を進めることができます。予見できない出来事に対する準備を整えるために、TI は訓練、トレーニング、机上演習、拠点レベルの演習を実施しています。



目次

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

サプライ・チェーンの責任

TI は各種原材料や資材を購入します。用途は製造プロセス、工場の機器と保守用、流通サービス、製造以外の商品とサービスです。調達先は、種類や規模がさまざまに異なる約 11,000 社のサプライヤです。効果的なサプライ・チェーン管理は、TI がコストの削減と廃棄物の低減、効率の向上、競争力の強化を実現するのに役立ちます。責任ある業務慣行を TI のサプライ・チェーンにも導入すると、TI のベンダーの業務、労働者、環境に関連する慣行のリスクを低減できます。

責任ある調達

TI は、調達をインテリジェントに実施でき、購買力をグローバルに調整するのに役立つ方法で、調達行動に取り組んでいます。TI のワールドワイド調達チームは、物品とサービスのさまざまなカテゴリを監視し、具体的な調達戦略を設定するとともに、資格あるサプライヤと最善の履行方法を特定します。次に例を示します。

- TI は、調達の決定を下す前に、サプライヤの環境、人権、安全性の記録を注意深く考慮します。また、TI の価値観、行動規範などのガバナンス文書に違反するサプライヤとは意図的に関わりを持たないようにしています。
- TI は、ポリシー、契約書、注文書の中で、自社の業績要件と期待を指定します。責任ある業務慣行を TI のサプライ・チェーンにも導入することで、リスクを軽減しています。

- TI は、株主の長期的な利益に貢献するサプライヤを探し求めています。TI の狙いは、成長のためのスケール化対応、コストの削減と廃棄物の低減、効率の向上、製品開発のための革新的なアプローチの策定であるためです。

加えて、TI のサプライ・チェーン管理システムは、調達、在庫、製造、品質、流通の各プロセスを体系的に管理するための枠組みを実現します。このシステムは、TI が運用規格と規制の標準に準拠し、コストの追跡とリスクの監視を実施するのに役立ちます。TI の管理システムは、以下の方法で認証されています。

- ISO 9001 品質マネジメント・システム (企業の効率的な操業を支援し、顧客満足度の向上を促す品質マネジメント・システム)
- ISO/TS 16949 (自動車製造と関連するサービス担当組織向けの品質マネジメント・システム)
- IATF 16949 (International Automotive Task Force 16949)(自動車産業向け品質マネジメント・システム)

TI は社内の管理システムに対して定期的に社内監査を実施し、ギャップの特定と縮小を図っています。加えて、ISO は再認証プロセスの一環として、TI の調達管理システムの評価を毎年実施しています。

サプライヤに対する TI の期待

TI は自社のサプライヤに対して、その業務の全分野で、環境、社会、ガバナンスに関する責任を実証することを求めています。また、TI は、サプライヤが TI の規格につき従うこと、すべての法令と規制に準拠すること、業績のベンチマーク (基準) レベルを達成し、維持することについても期待しています。TI のニーズに対応するサービスを提供し、供給と人権に関する TI の要件を満たすサプライ・チェーンを維持するために、TI はすべてのサプライヤに対して以下のガバナンス文書につき従うことを要求しています。

- [Living our values \(価値と共に生きる\) – TI の Ambitions \(大きな目標\)、Values \(価値\)、Code of Conduct \(行動規範\) \(英語\)](#)
- [Responsible Business Alliance \(RBA\) Code of Conduct \(責任ある事業同盟 \(RBA\) の行動規範\)](#) に基づく [TI のサプライヤ行動規範](#)は、以下のことを禁止しています。
 - 強制労働、拘束を伴う労働 (借金による拘束を含む)、年季奉公 (契約に基づく労働だが、賃金は支払われないか、ごくわずか)、自発的ではない刑務所での労働、奴隷労働、人身売買に基づく労働、児童労働
 - 労働または役務の提供を目的とした脅迫、暴力、強制、誘拐、または詐欺を通じた、人材の輸送、隠匿、徴募、移籍、身柄引き受け
 - 労働者の身元証明書または移民管理証の取り上げ、または職を与える代わりに料金を請求する行為
 - 標準を下回る生活条件と労働条件
 - 労働時間の超過
 - 搾取と差別
- TI の [Supplier Environmental and Social Responsibility Policy \(英語\)](#): ESH 保護に関する TI の期待の概要を記載しています。
- TI の [Anti-Human Trafficking Statement \(英語\)](#): 奴隷と人身売買を TI のサプライ・チェーンや業務から根絶するための TI の取り組みに関する情報を掲載しています。TI は、いかなる種類の人身売買も許容しません。
- TI の [Conflict Minerals Policy \(英語\)](#): 戦争や人権侵害を手助けする精錬業者から、TI の製品向け金属の供給を受けることを防止するための TI の期待を掲載しています。
- TI の [General Quality Guidelines \(英語\)](#): 品質に関する TI の期待を裏付ける各種プロセスとシステムの概要を掲載しています。この中で、直接の原材料サプライヤが国際品質規格の認証を受けたことを確認する点も記載しています。

- TI の ESH Policy and Principles (英語)：サプライヤが準拠する必要のある、該当する規制と、TI の ESH ポリシー、規格、仕様の概要を掲載しています。

加えて、TI はサプライヤに以下のことを要求しています。

- TI が事業を営む国の法令と規制に全面的に準拠して事業を営むことまた、場所によって異なる地域の法規制について、監視し、確実に準拠する責任を負うこと
- 信頼性の高い ESH ポリシーと管理システム、およびリスクの特定や統制、および関連する法令や規制に準拠していることを実証するための手法を用意すること

TI は、サプライヤに対して期待するのと同等の透明性を確保できるように努力しています。次に例を示します。

- TI の Eco 情報と Pb フリーの各 Web サイト、および material content search (英語) を使用すると、顧客は TI 製品が含有している原材料を表示できます。
- TI は、サプライヤの管理と監視に関するプログラムの詳細を公開しているほか、TI の Anti-Human Trafficking Statement (英語) の中で年間の実績を開示しています。
- TI は要望に応じて、RBA/Global E-Sustainability Initiative (RBA / グローバル e サステナビリティ構想) の Conflict Minerals Reporting Template (紛争鉱物報告テンプレート) を顧客に開示しています。
- ステークホルダーと話し合い、当社の環境活動、サプライヤ管理、市民活動などについての質問に答えます。

関わり

私たちは、新しいサプライヤと取引を始める際に、安全で人道的、倫理的な労働慣行に向けた TI の基準と期待、および人身売買、強制労働、労働者の権利についてサプライヤに説明を行います。これらの指針は、ミーティング、サプライヤの Web サイト、注文書、サプライヤ契約、その他

関連文書を通じて伝えています。また、RBA、Semiconductor Industry Association (米国半導体工業会)、Semiconductor Equipment and Materials International (国際半導体製造装置材料協会) などの業界団体とも定期的に協力しており、サプライチェーンの基準について協議、作成し、最良の管理慣行を共有しています。

リスクの評価

私たちは、予期されるリスク (新しい規制など)、予期できないリスク (自然災害など) に関わらず、サプライ・チェーンのリスクを継続的に評価します。また、サプライヤの財務の健全性、地域への集中度、シングルソース・サプライヤであるかといった評価も行っています。TI の目標は、当社の調達およびサプライヤ管理プロセスについて、評判に関わる問題、注文処理の問題、出荷の遅延、コストの増大を防ぐのに十分な厳格性を担保することです。そのため、サプライヤには事業中断時に備えて適切な事業継続計画を整備していただき、必要に応じて計画の内容をご提供いただくようお願いしています。また、TI はサプライヤに対し、原因となるインシデントの発生後 24 時間以内に TI に連絡するとともに事業継続計画を実施し、供給の継続性を確保することを求めています。

評価するリスクとしては以下のものがあります。

- 労働と人権
- 紛争鉱物
- 環境、安全、および健康
- 財務の健全性
- 企業倫理
- 部品の質
- 供給管理体制
- 部品および最終製品の供給時期
- 価格 / 取引の不安定さ

派遣業者を利用する場合、私たちは広範なデュー・デリジェンスを必要とし、労働者との面談を実施して、起こりうる労働搾取を特定します。また、定期的な監査を実施し、雇用契約、労働時間、寮の状態を評価しています。

支出、重要度、提供される製品やサービス、および地理的位置に基づき、優先順位を付けてサプライヤを審査します。TI では、3 つの評価ツールを導入して、生産サプライヤ、非生産プロバイダ、オンサイト・サプライヤを定期的に評価しています。

- 評価RBA の自己評価アンケート (SAQ)、または RBA 規範のセクションに対する既存の施設方針および人口統計を調査する内部開発の評価を使用して、直接材料サプライヤおよびサービス・サプライヤのリスクと管理システムを調査します。この評価により、人権や強制労働などの倫理的リスク、環境リスク、社会的リスクを特定します。

- 監査評価およびその他のリスク要因の分析に基づき、RBA 行動規範の全セクションまたは対象となるセクションに対して、TI または独立した第三者監査人のいずれかによって監査するサプライヤを特定します。さらに、TI の担当者は、トランスペアレンシー・インターナショナルの腐敗認識指数によって特定されたリスクの高い地域で事業を行っているサプライヤの監査を実施し、RBA 規範の労働関連セクションのコンプライアンスを毎年測定しています。この測定では、現場での検査 (サプライヤが労働者に借金や手数料を負担させていないことを確認する文書レビュー。労働条件、労働時間、賃金、移動制限を評価するために実施する労働者および管理者との面談。寮の検査) も行っています。TI の担当者が現場検査中に懸念事項を見つけた場合、TI の購入マネージャがサプライヤと連携して是正措置計画を策定します。この是正措置計画は、是正措置が完了するまで追跡されます。

- サプライヤの実績測定プログラム重要なサプライヤについては、上記の評価に対するサプライヤの実績に加え、コスト、環境、社会的責任、テクノロジー、確実性を表す CETRAQ と呼ばれる隔年のサプライヤ実績測定プログラムを実施します。CETRAQ プログラムにより以下のことを行います。
 - TI とサプライヤ双方の管理チームによるレビューが必要な供給および品質のリスクを特定する
 - サプライヤの実績に関する定期的な協議を通じて、継続的な改善を促す
 - サプライヤの改善計画の進捗状況を確認する

最終年次評価時には、TI のサプライ・チェーン管理チームが結果をレビューし、プロセスおよび方針の改善点について検討します。

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

目標に対する進捗状況

2019 年、300 の工場地にある 179 のサプライヤを評価し、90% が期待水準を満たしました。残りの 10% は是正措置を講じる必要があり、是正措置の内容としては、給与と賃金の源泉徴収の説明についての追加トレーニングと労働者への説明の実施、寮の状態の改善、方針および記録管理の強化などがありました。

トレーニング

サプライヤ行動規範の基準と期待内容について、オンライン・トレーニングと対面トレーニングを用意しています。また、RBA のトレーニング・プログラムを活用して、サプライヤが RBA 行動規範、労働リスク、労働者の権利の尊重、移民労働者の雇用などに関する理解を深められるよう支援しています。

苦情処理制度

TI は苦情処理制度を確立しており、購買担当者または調達担当者がサプライヤとの話し合いで質問や懸念事項に対応できるようにしています。また、TI のサプライ・チェーン管理チームは、TI のエシックスや価値に反する問題を特定し解消するための支援を提供できます。サプライヤが望めば、TI のエシックス・オフィスに連絡して匿名で質問したり問題について話し合ったりできます。

TI のサプライヤ行動規範では、法律で禁止されていない限り、サプライヤおよび従業員の告発者の機密性、匿名性を確保し、告発者を保護する規定を確立および維持することがサプライヤには求められます。サプライヤは、従業員が報復を恐れることなく問題を提起できる伝達プロセスを備えている必要があります。

サプライヤの多様性

私たちは、マイノリティおよび女性が経営する企業 (MWBE) とのビジネスについて年間目標を設定しています。TI は、競争力のある製品またはサービスを提供するすべての企業を含むアプローチで、サプライ・チェーンを多様化することに 20 年以上にわたり注力してきました。サプライヤ

目標と結果	2015		2016		2017		2018		2019	
	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果	目標	結果
マイノリティ/女性所有のビジネス・サプライヤへの支出 (米国サプライ・チェーンへの支出全体に占める割合：%)	6.5%	7.9%	6.5%	8.6%	6.3%	6.4%	8.7%	9.2%	8.5% ¹³	10.0% ¹³
環境的責任と社会的責任の評価を完了した、的を絞ったサプライヤ (%)	100%	99%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
環境的責任と社会的責任の SAQ 評価で、すべての施設が低リスクに分類された製造サプライヤ (%)	ベースライン	69%	80%	86%	85%	88%	85%	87%	90%	89%

の多様化に関する取り組みの大部分は、本社といくつかの主要な製造施設が配置されているテキサスを中心とする米国に集中しており、地域社会の経済に貢献しています。また、TI の 2019 年の目標は、米国の支出の 8.5% をサプライヤの多様化に充てることでした。米国における TI の支出額のうち、マイノリティおよび女性が経営する企業に投じた比率は 10% でした。

サプライ・チェーンにおける人権

TI は、グローバル・サプライ・チェーンにおける企業の社会的責任に取り組む業界団体である RBA に所属しています。RBA は、労働および人権に対する国際的な期待水準について言及している以下の一連の業界水準を RBA 行動規範に掲げています。

- 国際人権章典
- 世界人権宣言
- 国際連合ビジネスと人権に関する指導原則
- 国際労働機関 (ILO) の国際労働基準
- OECD 多国籍企業行動指針



¹³ 2019 年の MBWE の目標は、あるサプライヤが当社の MBRE 認定要件を満たしていない別の会社により購入されたため低くなっています。



目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

紛争鉱物

タンタル、すず、タングステン、および金 (3TG) は、その電気的特性と非腐食性により、コンピュータから電話機まで、さまざまなテクノロジーやエレクトロニクスに使用されています。コンゴ民主共和国 (DRC、旧ザイール) および周辺地域の特定の精錬所から採鉱されたこれらの鉱物を販売して得た利益が、長年にわたってこの地域の紛争と紛争に関連する人権侵害の資金源になっていたため、これらの鉱物は「紛争鉱物」と呼ばれることがよくあります。私たちは、違法な鉱山から得られる鉱物の購入は、世界的に重大な問題であると考えており、企業がそうした鉱山から鉱物を購入してはならないことに同意します。

私たちは、DRC や周辺地域の武装グループへの資金提供や援助の元になる鉱物を TI 製品に含めないための取り組みを行っています。

ドッド＝フランク・ウォール街改革・消費者保護法では、精錬所が紛争を支援しているかどうかを判断するために行っている手順を開示することが企業に求められています。これらの報告は独立した機関により監査され、TI は毎年 SEC に提出しています。

TI の取り組み

- 下請けメーカーを含むサプライ・チェーンと緊密に協力し、不適合の部品の根本原因を特定し排除するように尽力しています。次に例を示します。
- SEC へのデュー・デリジェンスの開示を求められる前に、Responsible Minerals Initiative (RMI) に加入しました。RBA および Global e-Sustainability Initiative のメンバーは RMI を作成し、グローバル・サプライ・チェーンの複雑さを考慮しつつ紛争鉱物の問題に対処する効果的なポリシーの策定を促進しています。私たちは、鉱物の調達を追跡するツールの作成とテストを支援し、製錬所への訪問を実施し、監査の初期基金に貢献しました。このプログラムでは、経済協力開発機構 (OECD) のデュー・デリジェンス・ガイドラインに従って、コバルトのサプライ・チェーンに関するデュー・デリジェンスの実施について、企業の計画策定を支援します。TI は、サプライ・チェーンにおけるコバルトの使用を最終的に開示する措置を開始しています。

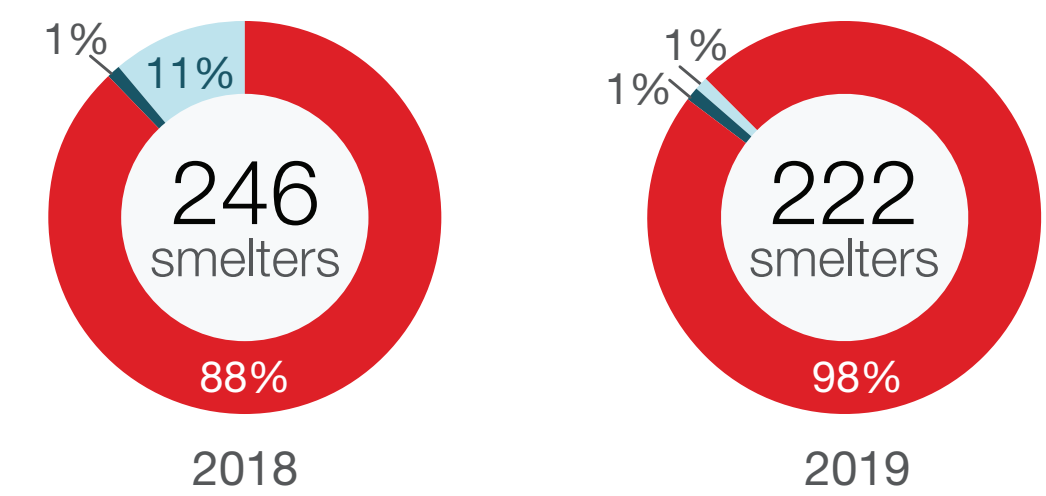
- 私たちは紛争鉱物に関する方針を策定し、紛争鉱物を使用する製錬所を特定し、サプライ・チェーンから排除するための管理システムとデュー・デリジェンス手順を導入しました。これらは、方針、構造、手順、リスク管理、コミュニケーション体制の確立を必要とする OECD の Due Diligence Guidance for Responsible Supply Chain from Conflict-Affected and High-Risk Areas (OECD 紛争地域及び高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・デリジェンス・ガイダンス) に準拠しています。私たちは、紛争鉱物に関する方針を 1 次および 2 次サプライヤの両方に配布し、情報を要求した際に完全かつ迅速な対応ができるよう強化しています。
- サプライヤは、鉱物の調達元である精錬所について TI に報告し、サプライ・チェーン内の個人または団体が紛争地域の武装グループに直接または間接的な資金提供や援助を行っている場合は TI に通知する必要があります。RMI などのソースによって開発された責任ある鉱物保証プロセス (RMAP、Responsible Minerals Assurance Process) から「紛争と無関係」であると認定された施設のリストに対して、その情報を分析して検証します。当初は 1 次サプライヤから情報を収集していましたが、情報が入手できない場合は、2 次サプライヤを評価しました。
- 私たちは、サプライ・チェーンのすべての精錬所に RMAP に参加するよう指示することをサプライヤに推奨しています。精錬所が操業を変更した場合や監査への参加を拒否した場合には、RMI は TI および他の参加企業に通知し、適切な措置を講じます。

進捗状況

私たちは、集積回路精錬所の紛争への関わりについて監視し、残りの精錬所に関する情報のギャップを埋め続けています。ここで集積回路とは、TI 製または TI 向けに製造された半導体の最終製品とパッケージング・サブコンポーネント (モールド化合物、ボンド・ワイヤ、リードフレームなど) のことを指します。DLP® 製品、半導体モジュール、その他の TI 製製品または TI 向けに製造された製品は除きます。集積回路は、2019 年の TI の収益の 92% 近くを占めています。

TI では、1 次サプライヤと 2 次サプライヤから精錬所の情報を収集し、監査しています。当社の調査および情報収集によると、これまでに評価を受けた精錬所で武装グループに資金提供や援助を行った精錬所はありません。

Smelters that potentially supply integrated circuits to TI



- 紛争鉱物不使用 – 独立した第三者による監査に基づき、供給される可能性のある鉱物が紛争鉱物でないと判断された精錬所。
- 監査に同意 – 供給される可能性のある鉱物の出所を特定できなかったものの、紛争への関わりについて第三者による監査を受けることに同意した精錬所。
- 不確定 – 供給される可能性のある鉱物の出所を特定できず、紛争への関わりについて第三者による監査を受けることに同意しなかった精錬所。



TI における労働と人権

私たちはお互いを尊重し、人権を保護し、私たちの事業において個人の尊厳、自由、尊重が確保されていると信じています。

事業およびサプライ・チェーンに対する当社のコミットメント
サプライヤに対する期待水準に加えて、テキサス・インスツルメンツは、国際的な人権および労働規定を守り、すべての従業員、請負業者、サプライヤに公正かつ公平な待遇を提供するよう努めています。当社の事業および製造活動において、すべての雇用は強制されるものではなく、賃金は公正で現地の労働規定および法律に準拠しており、労働時間は妥当でなければなりません。私たちは、事業のいかなる分野においても児童労働を利用することはありません。TI の従業員には、各国の法で認められている結社の自由や団体交渉の権利が認められています。また、世界各地の従業員への調査と現場訪問時の討論会を定期的の実施しており、各拠点特有の労働環境をよりの確に把握できるよう努めています。

労働者の権利および人権に関わるリスクを先を見越して管理
TI の目標は、当社および当社のサプライ・チェーンにおける人権に関する申し立てをゼロにすることです。

- OECD 多国籍企業行動指針に従って、定期的なリスク評価とサプライヤに対するデュー・デリジェンスを実施しています。
- リスクの高い地域では、第三者機関による監査、オンサイトでの面接および評価を行い、従業員、サプライヤ、請負業者の権利を確保しています。これには、労働規定、研修、意識向上活動、結社の自由、インシデント報告ツールが含まれています。

問題点が提起された場合の対応方法
職場の問題点と改善機会を伝えるために、従業員は内部当局への連絡用に複数のチャネルを持っています。従業員の誰もが、直属の上司、人事、TI のエシックス・ディレクターを通じて、またはエシックス・ラインへの電話を通じて、人権侵害や差別などの申し立てを匿名で報告できます。問題点が判明した場合は、ただちに状況を評価して対処に努めます。

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス



目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

目標、価値観、エシックス

TI の目標、価値基準、行動規範、方針を支持するうえで、TI 従業員 1 人 1 人が重要な役割を果たしています。概要については、TI の価値基準に基づく行動 – TI の目標、価値基準、行動規範に記載されています。多国籍企業として、私たちはすべての従業員が一人ひとり責任をもって、私たちの価値観を守り、実践し、倫理的で責任ある方法で行動することを期待しています。

TI の目標、価値基準、行動規範、方針のいずれかに対する違反は、解雇に対する根拠になる場合があります。誠意を持って問題を報告した個人に対する報復を、TI は許容しません。これらに関与した従業員に対して報復を行う者は、解雇を含む懲戒処分の対象になります。

問題点の報告

目標、価値基準、行動規範、方針のいずれかに相いれない行動を目にしたとき、そのことを伝えるのは TI 従業員の責任です。マネージャまたは人事部に相談することで報告することができます。

匿名ヘルプライン

- オンライン・アクセス
先: texasinstruments.alertline.com
- 米国内の無料通話:
1-888-590-5465

- 直接の連絡先:
- E メール ethics@ti.com
 - 私書箱宛の郵送Box
830801, Richardson,
Texas 75083-0801

トレーニングおよびエンゲージメント

TI の現場はさまざまな場所に位置しており、腐敗、社会的圧力、法律や規制に関するさまざまなリスクを抱えています。TI の従業員、マネージャ、およびリーダーは、他者が行動を起こし業務を遂行するときに自ら正しい決定を下せるように支援するために必要なトレーニングを受け、ツールを付与されています。

全従業員がエシックス、コンプライアンス、コアバリュー、環境、安全と健康、秘密情報の保護、IT セキュリティ、職場での嫌がらせやセクシャル・ハラスメントの防止についてのトレーニングを受けます。さらに、一部の従業員とスタッフは、人権に関するトレーニングを受けます。ほかにも、不正防止、輸出コンプライアンス、連邦海外腐敗行為防止法、インサイダー取引、グローバル競争法、RBA 行動規範に関するトレーニングが用意されています。最後に、TI では上級管理者がエシックスを推進しており、上級管理者が各組織内でエシックスとコンプライアンスを推進するためのツールが提供されています。

Our values

Trustworthy

最初に、信頼できる人間になります。誠実な行動をとり、常に正しいことを実行します。TI は、社会的責任に沿った事業運営を行います。信頼されるということは、会社として、個人としての私たちの基礎です。

Inclusive

インクルーシブであることにより、成功します。全員の能力を引き出し、敬意をもって互いに接し、互いの違いを尊重するとともに、考えやアイデアを出し合うよう促す環境を作り上げます。

Innovative

革新性であることにより、成功を勝ち取ります。私たちは、魅力的な製品を製造し、新しい市場を開拓し、競争力を高める新しいテクノロジーを想像しています。私たちは好奇心を維持し、持続性を実現すると同時に、障壁を克服するために決意を抱いています

Competitive

私たちは競争力が必要であることを理解しています。私たちは敗北を望みません。そのため、最善を尽くせるように、自らに対して継続的に課題を課します。私たちは、持続可能な成長を実現できるように、最善の機会に投資します。競争力を維持するために、TI は優秀な人材を採用し、能力開発を進め、維持します。

Results-oriented

TI は結果を重視し、責任ある言動を心がけています。お客様には複数の選択肢があります。TI は緊急性を持って行動し、お客様が TI を継続的に選択してくださるよう物事に取り組みます。お客様の成功を支援するために、私たちは業務を継続的に改善します。

私たちは、情報技術 (IT) インフラストラクチャと TI 独自の技術に対する



目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

情報保護

潜在的な脅威の特定と排除に継続的に取り組んでいます。こうした保護は、事業の成長と収益性の鍵であり、一般データ保護規則 (GDPR) や中国のサイバー・セキュリティ法などの規制の遵守を維持するために必要です。

業界のフレームワークやセキュリティ規格、専門家や業界のパートナーとのコラボレーション (脅威、ベスト・プラクティス、トレンドに関する情報交換を含む) などのさまざまな手法を使用して、潜在的なサイバーセキュリティの脅威から知的財産、競争力、評判を保護するよう努めています。

リスクの低減

コンピュータ・ベースの脅威と脆弱性の数が増え続け、高度化が進む中、グローバル・パートナー、サプライヤ、顧客の情報保護についての懸念が生じています。TI のリスク管理プロセスは、ISO、アメリカ国立標準技術研究所、COBIT (Control Objectives for Information and Related Technologies) などのベスト・プラクティス・マネジメントおよびガバナンス・フレームワークに基づいています。

これらの組織のガイダンスと、当社が実施した評価から収集した情報を用いて、リスクを低減し、セキュリティ体制を強化するためのセキュリティ計画、ポリシー、プロトコルを策定しています。当社のポリシーには、当社の情報資産の利用規定の定義、特定のテクノロジーについての技術要件、個人情報保護およびプライバシーが記載されています。

TI の世界中の情報セキュリティチームは、潜在的な脅威の特定と対処、各事業部やサポート・チームと連携した作業を通じて、社内のセキュリティを改善しています。その一環として次のことを実施しています。

- 当社のコンピュータ、サーバー、ネットワーク、その他の IT システム上のデータへのアクセス制限
- 従業員に対する定期的なフィッシングおよびスパイフィッシングの評価の実施、関連する学習材料や啓発情報の発信
- USB またはサム・ドライブ、外付けハード・ドライブの使用監視、使用制限
- IT システムの監視、不適切なアクティビティに関するアラートへの対応

- 全 TI 従業員へのサイバーセキュリティ意識と機密情報保護に関するトレーニングの提供、IT チームへの専門的なセキュリティ・トレーニングの提供
- IT リソースと情報へのアクセスを要求するサード・パーティーのリスク評価およびコンプライアンス評価の実施
- 外部からの攻撃から TI のホームページ (TI.com) を保護する技術的対策の実施 (オンライン・ストアの保護を含む)
- 多要素認証、マルウェア防御、アクセス・レビュー・プロセスなどの業界標準の保護機能の導入

フィッシングに対する意識の向上

サイバーセキュリティに関するトレーニングの補完として、TI の従業員は年に数回、フィッシングへの対処能力を評価するシミュレーションを受けています。これにより、トレーニングの効果が高まり、従業員はさまざまなフィッシング攻撃にさらされる場面を経験することができます。一般的なフィッシング手口については認識が高まっているため、この評価の難易度を徐々に上げています。今後も難易度を上げていく予定です。



目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

パブリック・ポリシー

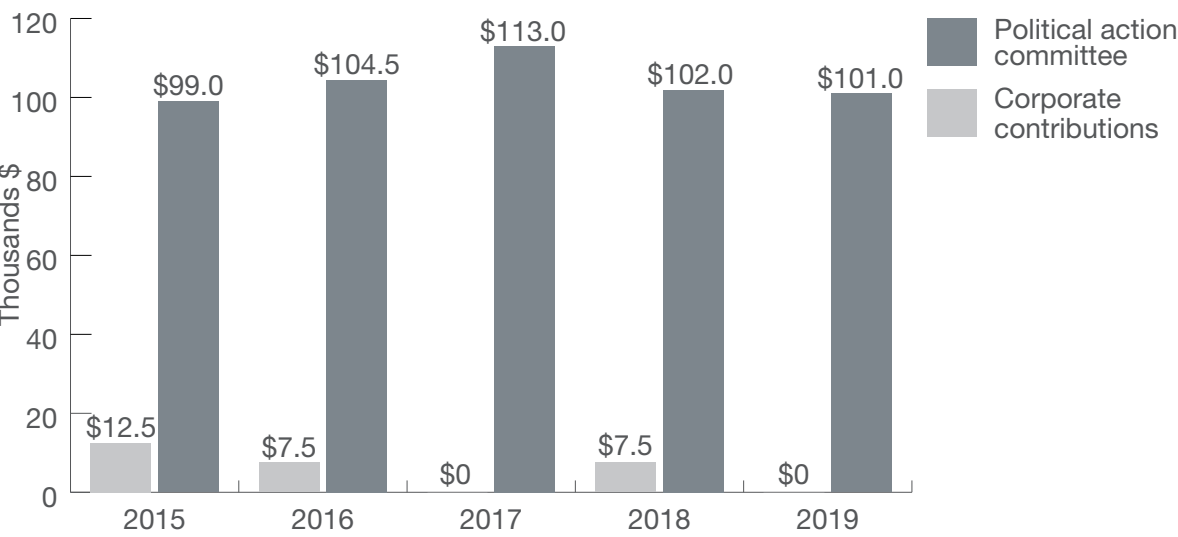
TI は政府と協力し、人材へのアクセスや税、貿易、人種平等に関連する政策など、TI の成長、革新、競争力強化に寄与する政策を提唱しています。TI の事業に及ぼす意思決定の影響について政策立案者に伝えることは、当社の競争力と長期的な成長を維持するのに役立つ法規制を促す上で重要です。

詳細については、Web ページの [Public Policy](#) (英語) をご覧ください。

- 企業の政治活動
- TI の政治活動委員会
- 従業員の政治活動
- 方針と期待水準

TI は、多数の団体に所属しており、さまざまな政策目標に協力しています。TI は特定の団体において他よりも活発に活動しており、すべての団体のあらゆる事項に関して活動しているわけではなく、またすべてに賛同しているわけでもありません。

Political expenditures



2017 年と 2019 年、TI は地方の無記名投票構想への企業献金を行わないことにしました。

目次

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

職場環境



TI の会社組織は従業員全体を反映する姿です。世界中で問題の解決に取り組む 30,000 人の従業員は、半導体を通じて電子機器をより手頃な価格で購入できるようにすることで、より良い世界を実現するために取り組んでいます。TI の成長は TI 従業員によるものです。TI 従業員には独自の特徴があります。誠実さをもって行動し、他者に敬意を表します。好奇心を抱いています。最善を尽くせるように、自らに対し、また互いに対して目標を課しています。テクノロジーの将来を想像し、勤勉に働いて問題を解決するとともに、顧客のイノベーションを支援してより良い世界を実現します。

多様性と包括性

TI のインクルーシブな文化は、すべての TI 従業員が意見を尊重され、自分らしく働き、高い水準で貢献し、変化をもたらすための場所を作り出します。私たちは、難しい問題についても逃げることなく取り組んでいます。対話を重ねることで理解が深まり、理解することで障害を乗り越えることにつながると信じているからです。多様なバックグラウンド、視点、問題解決へのアプローチを受け入れることで、TI の文化がよりインクルーシブに、会社の体質がいっそう強力になり、製品をますます革新的なものになっていきます。

「TI では、インクルーシブな企業文化を醸成しています。包括性とは、社員が成功を収め、最高の成果を上げるために最善を尽くすことができる環境を作ることです」

– Rich Templeton、TI 会長、社長兼最高経営責任者

- 職場の包括性と多様性を醸成するために、次のことに注力しています。
- **全世界での包括性の推進:** TI の多様性と包括性のプログラムでは、受容力のある行動がどのようにビジネスの成果に影響を与え、生産性とイノベーションにプラスの影響を与えることができるかについて、リーダー、人事マネージャ、従業員を対象にリソースを提供し、トレーニング、公開討論を実施しています。
 - **多様な人材の雇用:** 私たちは、さまざまな大学やダイバーシティ・カンファレンス、ダイバーシティ・プログラムと連携し、アウトリーチを拡大してより多様な人材を集まるように努めています。インターンシップやローテーションなどの大学採用プログラムのほか、退役軍人の求人・採用イニシアティブ、休職期間から復帰した経験豊富なプロフェッショナル向けの「リターンシップ」プログラムなど、新しいプログラムも採用しています。これらのプログラムは、さまざまな経歴や経験を持つ優れた人材とつながる可能性を広げてくれます。
 - **多様なリーダーシップ・パイプラインの醸成:** TI では、優れた多様な人材を育成、確保するためのプログラムを用意しています。そのため、当社のリーダーシップは従業員を反映していると言えます。私たちは、リーダーを内部で育成することに注力しており、潜在能力を最大限引き出しリーダーシップを高めるプログラムとイニシアティブを通じて、包括性および多様性についてリーダーをトレーニングしています。

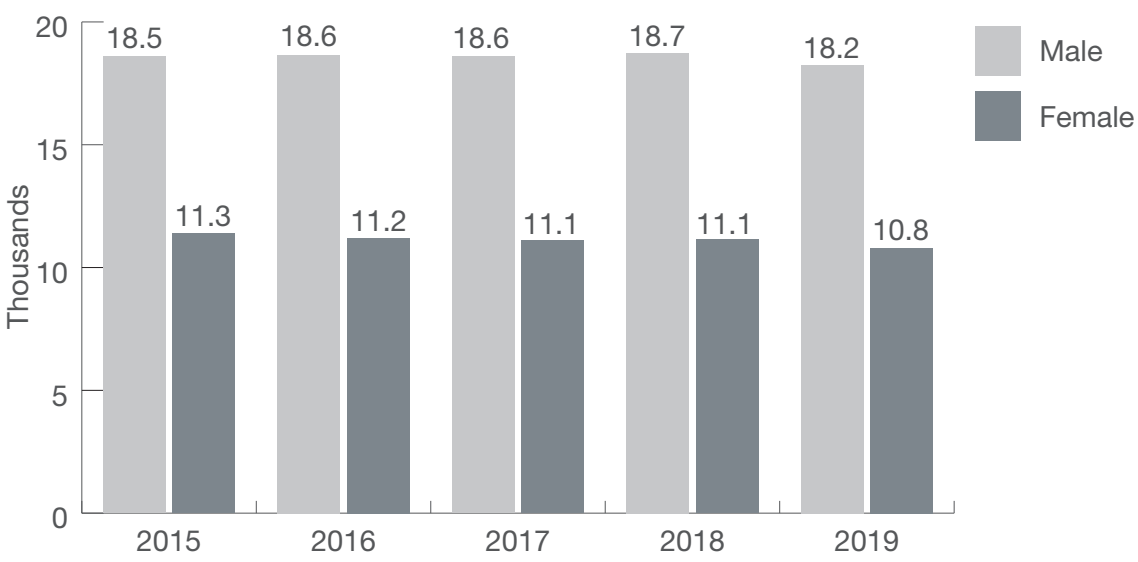
- 将来を見据えた STEM (科学、技術、工学、数学) 教育への投資: 私たちは、コミュニティへの活動参加と寄付を通じて次世代のエンジニアの構築を支援するために投資しています。また、伝統的に STEM 分野で少数派である女子生徒、黒人生徒、ラテンアメリカ系生徒のグループの支援に重点的に取り組んでいます。

無意識の偏見 (アンコンシャス・バイアス) への対処:
無意識の偏見 (アンコンシャス・バイアス) は、人が短時間のうちに行っている小さな判断です。誰も経験のあることであり、おそらく気づくことなく行っています。こうした偏見を確認するために、TI は CEO Action for Diversity and Inclusion (多様性と包括性のための CEO アクション) と共同でバス・ツアーを主催しました。このツアーには、偏見を特定し、他人の気持ちになって考えるとはどのようなものであるかを理解するのに役立つ没入型のアクティビティが揃っています。従業員が多様性と包括性について臆せず話し合えると感じられるような信頼できる環境を育てることが、TI の最優先事項です。私たちは他人の立場に立って、無意識の偏見と向き合う必要があります。



TI の平等へのコミットメントに対する評価
ここ 4 年間、TI は Human Rights Campaign (HRC、ヒューマン・ライツ・キャンペーン) の Corporate Equality Index (会社別機会均等インデックス) で 100% の評価を獲得しています。私たちは、従業員が自分らしく働き、最善を尽くせる職場になるよう努めています。そのため、LGBTQ 平等度で最高の職場と認定されていることを光栄に思っています。この評価に加えて、米国の Equality Act (平等法) の制定をサポートする企業として、HRC の Business Coalition for the Equality Act にも参加しています。

Global workforce by gender



従業員	2015	2016	2017	2018	2019
アジア	14,954	15,201	15,320	15,609	15,322
男性	7,077	7,233	7,519	7,772	7,690
女性	7,877	7,788	7,821	7,837	7,632
南北アメリカ	12,607	12,445	12,079	12,006	11,763
男性	9,517	9,455	9,212	9,120	8,936
女性	3,090	2,990	2,867	2,886	2,827
ヨーロッパ	2,416	2,399	2,295	2,273	1,966
男性	1,989	1,968	1,875	1,853	1,625
女性	427	431	420	420	341

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポート
ング・イニシアティブ・インデックス

TI ダイバーシティ・ネットワーク

30 年以上にわたって、TI ダイバーシティ・ネットワーク (TIDN) は、15 の草の根従業員リソース・グループ (ERG) を通じて、従業員の教育、および従業員にとって重要なトピックの表面化を支援してきました。1989 年に女性およびヒスパニック系の ERG 発足から始まったこのネットワークは、現在は 10,000 人を超えるメンバーを抱え、従業員主導の強力なダイバーシティ評議会、および会社の幹部職員のエグゼクティブ・スポンサー委員会にまで拡大しました。

ERG は、世界中のすべての TI 従業員に開かれており、従業員には課題について話し合い、アイデアを共有し、メンバーと地域コミュニティの両方を支援する能力開発、キャリア・アドバイス、コミュニティ活動参加の機会を創出することが奨励されています。すべての TI ERG には、私たちの価値観と整合し、それを裏付ける目標と目的があります。



TI の ERG が持つ影響力には次のようなものがあります。

- ウーマンズ・イニシアティブ (WIN): 世界中の WIN メンバーは、当社の女性人材パイプラインの強化、技術リーダーシップの役割を担う女性の促進、ガール・スカウトなどの組織とのメンターシップを通じてコミュニティを強化し、若い女の子に STEM キャリアを周知することに焦点を当てて取り組んでいます。
- ヒスパニック / ラティーノ・イニシアティブ (Unidos): Unidos のメンバーは、ヒスパニック系の優秀な人材を TI に採用することに注力しており、定期的に Society of Hispanic Professional Engineers (ヒスパニック系プロフェッショナル・エンジニア協会) のカンファレンスに参加して、大学新卒者を採用しています。また、毎年、ワシントン D.C. の Congressional Hispanic Caucus (議会ヒスパニック・コーカス) に TI の代表として参加しています。
- ムスリム従業員イニシアティブ (BEI): BEI のメンバーは、専門能力開発とメンタリングを通じて、黒人従業員の採用と定着に注力しています。また、毎年、ワシントン D.C. の Congressional Black Caucus (連邦議会黒人幹部会) に TI の代表として参加しています。
- TI プライド: TI プライドが重視しているのは、TI で尊敬の環境を作り出すことです。尊敬の環境では、認知されている性的指向、性同一性をもつ人々だけでなく、あらゆる性的指向、性同一性をもつ人々が、本当の自分を抑えることなく働くことができ、創造性と生産性を最大限発揮することができます。TI プライドの Safe Space (安全スペース) プログラムは、職場での LGBTQ+ の認知度を上げることに焦点を当てています。最近では、この ERG は技術および製造グループ内の安全スペースでの会話を拡大および促進する取り組みを主導し、トレーニングを 5 箇所の工場拠点に拡大して、200 人以上の現場スーパーバイザおよび上級リーダーに実施しました。

TIDN には、3 つの宗教に基づく ERG があります。

- ムスリム従業員イニシアティブ
- キリスト教イニシアティブ
- ユダヤ教イニシアティブ

グローバル企業である TI には、さまざまな世界観を持った従業員が集まっています。多くの従業員にとって、信仰は価値基準とアイデンティティの基礎になっています。

TI 従業員の声を反映

「TI はグローバルな大企業でありながら、アイデア、フィードバック、創造性を生むチーム・メンバー 1 人 1 人の声を大切にす文化を醸成しています。私のユニークな意見が、私たちの会社をより強くするソリューションのきっかけになることがあるのです。私の声が TI の成長につながり、TI が私を成長させてくれる。これ以上望むものではありません」

– Paitrick、BEI メンバー、
IT 部門プライシング・アプリケーション・マネージャ



目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

女性の STEM キャリアの推進者

システム・エンジニアの Hope は、TI の車載インフォテインメント・チームのセクター・ジェネラル・マネージャとして、STEM キャリアにおける男女差をなくそうとする非営利団体の High-Tech High Heels (HTHH) のシリコンバレー支部の立ち上げに尽力しました。

「女子生徒は早ければ 4 年生から数学と科学に対して苦手意識を持ち始めるので、STEM 教育への女子生徒の参加を増やすには、総合的なアプローチが必要です」と、Hope は言います。

HTHH は、学習とメンターシップを支援する環境を立ち上げる少女と女性向けのキャンプとトレーニングを主催しています。Hope は、HTHH の理事会のメンバーを務め、ボランティア委員会を率いています。



雇用機会均等へのコミットメント

雇用機会均等に関する TI の取り組みは、求人、雇用、トレーニング、昇格、異動、報酬、福利厚生、退職、その他雇用に関するあらゆる条項にまで広げて適用されます。TI は差別のない採用選考を行います。人種、肌の色、宗教、性別、性同一性と表明の有無、性的指向、結婚の有無、国家や地域の出自、祖先、年齢、障害、遺伝的情報、保護対象となる健康状態、妊娠の有無、軍歴の有無、または、その他法令で保護されているいかなる特性 (総称して「保護される特性」) も基準にしません。TI は、あらゆるハラスメント、脅迫、暴力を一切容認しません。

TI は、差別のない平等な報酬に関する 8 つの ILO 基本規約に従い、すべての従業員の報酬を性別や個人の特性ではなく資格に基づいて支給することを約束します。

互いの違いを尊重する

包括性の文化では、人々は考えやアイデアを公開しやすくなり、全員の可能性を解き放つことができます。

「インクルーシブであるとは、人々とのつながりを形成するということです」と、TIDN の共同議長である Amna は述べています。「文化は無形であるため言語化するのは難しいですが、ここでは多様性を見て感じるができます」

Association of ERGs and Councils の 2019 ERG and Council Honors Award では、TIDN の経営陣のコミットメント、説明責任のほか、包括性と多様性について従業員に伝え、教育する仕組みが評価されました。



包括性と多様性に関する受賞

- Forbes 誌の「America's Best Employers」(米国の最優秀雇用主)
- CAREERS and the disABLED 誌の「トップ 50 社」
- Minority Engineer 誌の「トップ 50 社」(8 年連続)
- 全米女性企業家協会の「女性重役に最も適した米国企業」(15 年連続)
- Woman Engineer 誌の「トップ 50 社」
- Working Mother 誌の「ワーキング・マザーに適した企業ベスト 100」(22 年目)
- Association of ERGs and Councils の栄誉賞

採用

人材を採用し、業界で最善の能力を有する人材の雇用を継続することが、TI の成長と発展を左右します。次のような理由から、TI は何度も応募者から選ばれています。

- 多くの市場、ビジネス、製品ラインにわたる刺激的でインパクトのある仕事
- 優れた技術者たちと共に働く機会がある
- 従業員がより良い生活を送るのに役立つよう設計された、競争力のある給与と福利厚生パッケージ
- 従業員が自分で自分のキャリア・パスを選択していると感じられるキャリア開発の機会
- すべての従業員が自分らしく働き、最善を尽くすことができる包括的で多様性のある文化

目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポート ング・イニシアティブ・イン デックス

TI の採用戦略は、多数の大学新卒者を採用することに重点を置いています。多くの方が、グローバル・ローテーション・プログラムで TI のキャリアを始めています。これらのプログラムでは、新卒者は就職初日から実践的で有意義な経験を積むことができ、トレーニングや能力開発の機会を活用して、TI の即戦力として活躍できる力を短期間でつけることができます。TI では、世界中でインターンシップを実施しています。これは、グローバル・ローテーション・プログラムへの新入社員採用において主要な情報源となっています。

TI は、下記に示すような、女性、マイノリティ、LGBTQ+ 団体のイベントや集会等で人材の採用活動を行っています。

- Asian American Engineer of the Year
- Hispanic Engineering Awards Achievement Ceremony
- NMBAA (全米黒人 MBA 協会)
- Out in Science, Technology, Engineering and Math
- Grace Hopper Celebration for Women in Computing
- SWE (全米女性技術者団体)/WE Local
- SHPE (ヒスパニック系プロフェッショナルエンジニア協会)
- Black Engineer of the Year Awards
- NSBE (全米黒人技術者協会)
- IEEE Women in Engineering Leadership
- NMBAA (全米黒人 MBA 協会)
- NABA (全米黒人会計士協会)
- Out & Equal

高度に専門的な技術職およびビジネス職については、経験豊富な応募者を対象にした求人・採用戦略があり、TI が求める業界で特に優れた人材の特定、関係構築、採用に役立てています。TI では、操業する州や国での採用を行い、従業員、特に日々のオペレーションを担う社員を現地採用し、その後、より高度な職務や上位の職務に向けてトレーニングおよび能力開発を行うという方針を取っています。

定着

組織に関する知識、技術的な専門知識、業務上の専門知識、社内のコネクションをもつ従業員を定着させることは、TI の最優先事項です。私たちは、従来テクノロジー分野で過小評価されている女性やマイノリティの定着が重要であると認識しています。TI では、これらのグループ

に合わせたキャリア開発計画を立てて投資し、プロフェッショナルとしての成長を支援するメンター制度を提供しています。2 つの取り組み事例をご紹介します。

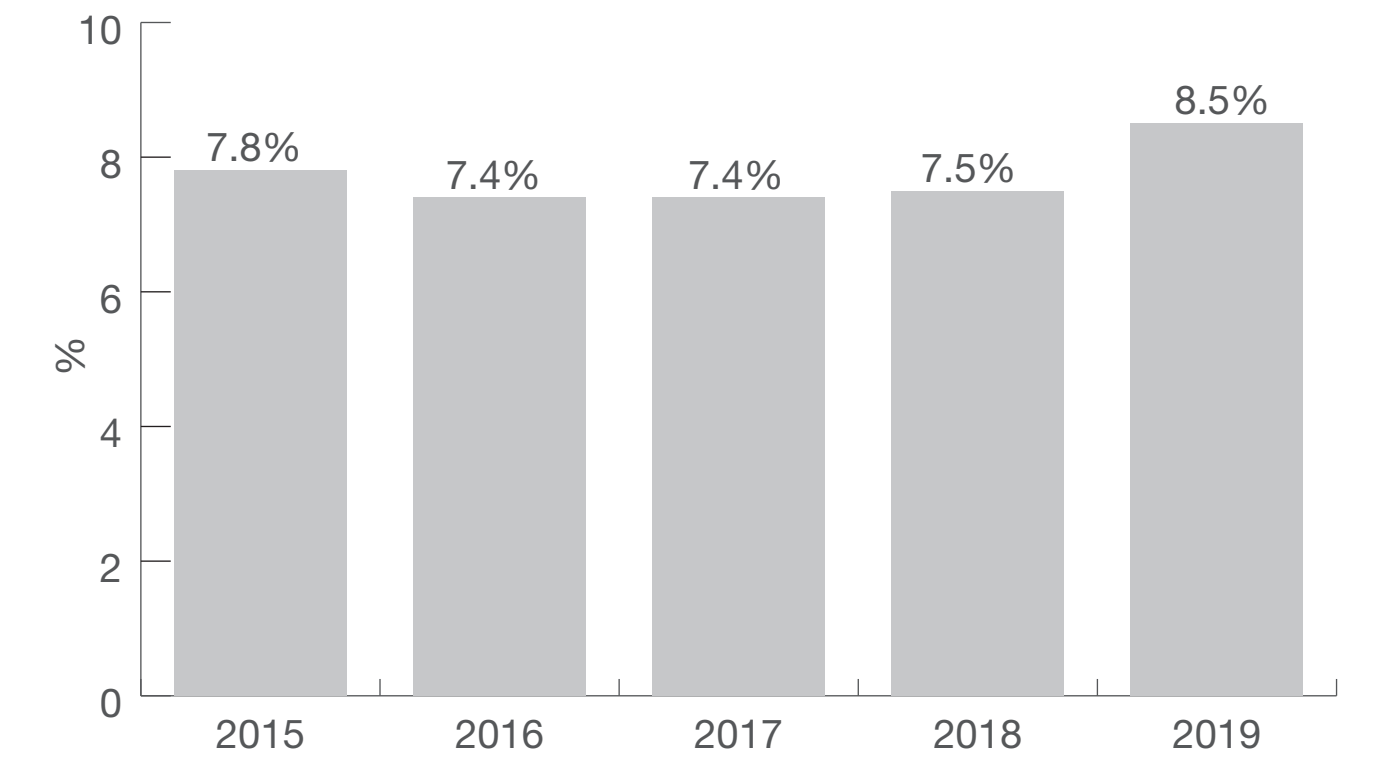
- Women for Technical Leadership (女性のための技術リーダーシップ) プログラムは、将来的に TI のビジネス・リーダーまたは技術リーダーを目指す女性従業員の支援を目的として、多様な女性人材確保対策に役立てられています。
- アドバンシング・リーダーシップ・イニシアティブでは、チーム・リーダーや現場マネージャなど、さまざまなリーダーを対象にリーダーシップ開発を促進し、より広い範囲の責任に備えるための準備を支援しています。

TI では、四半期ごとにアンケート調査を実施して、従業員の考えを把握し、仕事の満足度と仕事へのエンゲージメントを測定しています。最近の調査では、

- 約 90% が、「自分の仕事に、面白みや、やりがいを感じる」と回答しています。
- 約 90% が、「私は TI で働くことを誇りに思う」と回答しています。
- 約 95% が、「私は会社の成功に貢献している」と回答しています。

また、地域別の離職率を追跡できるデータ分析を利用しており、改善のためのイニシアティブを立ち上げることができます。2019 年には、離職率は 8.5% で、2018 年から 1% 増加しましたが、TI での勤続年数が 20 年以上の従業員の割合は26%を占めるに至っています。

Worldwide turnover



能力開発

TI では、従業員は人事部門、マネージャ、TI が提供するプログラムおよびリソースによる支援を受け、キャリア形成と能力開発を行っています。私たちは、トレーニング・プログラムや能力開発プログラムに投資して、教室、オンラインでの学習、担当業務のストレッチ・アサインメントを通じて、従業員の学習を促進しています。また、マネージャに対しては、少なくとも年に 2回は従業員と会って業務目標とキャリア開発について話し合うよう奨励しています。

リーダー育成の促進

TI のビジネス・リーダー育成プログラムは、参加者の 30% を女性従業員が占め、あらゆる事業組織での即戦力を加速させています。このプログラムには、従業員が損益に影響力のあるリーダーについての理解を深められるように設計された 4 つ対話型のワークセッションが含まれており、最後には 2 日間のビジネス・シミュレーション演習があります。



目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポート ング・イニシアティブ・インデックス

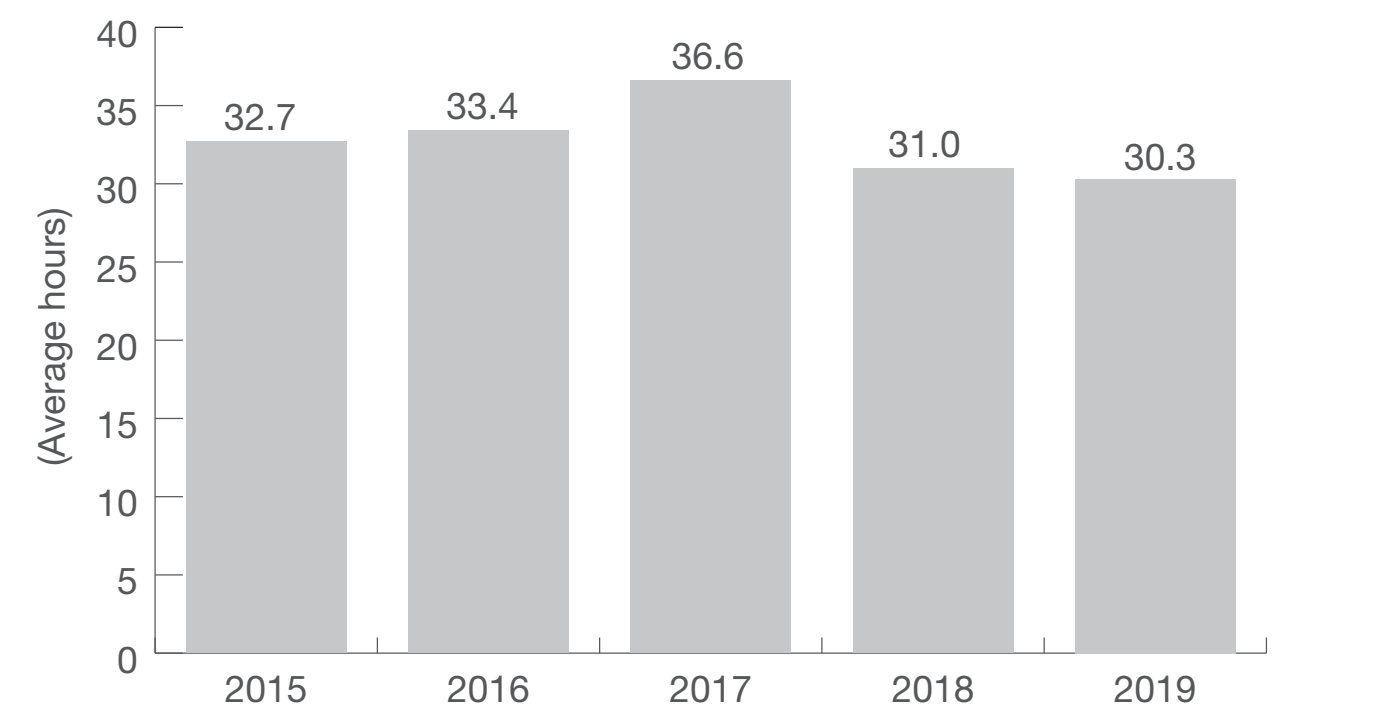
TI では社内において人材を特定して成長させるための厳格な評価プロセスとツールを備えており、リーダーシップが必要な場面に適切な人材を配置できるように、重要な人材確保を推進し、潜在的なリーダーを支援しています。必要とされる機能例：

- 組織に埋もれている人材を発掘し、平等な能力開発機会の提供に役立つリーダー査定
- 各組織内での能力レビュー・ディスカッション (隔年)
- 女性、技術リーダー、ビジネス・リーダー向けのリーダー育成プログラム

リーダー / マネージャ

TI は、リーダーシップ・カリキュラムを通じて新任のスーパーバイザ、現場マネージャ、上位管理者がリーダーシップの役割へ効果的に移行するのを支援し、潜在能力の高い従業員向けにリーダーシップ・スキルを高めるオンデマンド学習を提供しています。また、360 度評価やその他の能力開発計画、オンライン学習、実習、ピア・コーチング、チームビルディング活動を活用して、リーダーシップ・スキル、コミュニケーション、コラボレーションを強化しています。

Training per employee



2019 年のトレーニング時間は、トラッキングと割り当てが強化された新しい学習管理システムの導入と一部の内容が古く時間の長いコースの廃止により、わずかに減少しました。

技術能力開発

1968 年に初めて導入された TI Tech Ladder (TI テクニカル・ラダー) は、TI の技術的方向性に対する責務と影響力をもつ技術的キャリア・パスです。タイトルホルダーは、会社の目標達成に寄与するリーダーシップ、革新、構想の実績に基づいて互選されます。

TI では、基礎的なスキルや変化する技術ニーズへの対応力を高められるよう、エンジニアに技術的な能力開発の機会を提供しています。また、TI 従業員は、技術系カンファレンス、ワークショップ、講義、シンポジウムに参加することができます。

女性従業員向け能力開発プログラム

TI では、一部の TI 従業員に対し、チーム・リーダー、現場マネージャ、潜在能力の高い女性従業員向けの技術的なリーダーシップおよび管理職準備プログラムへの参加を支援しています。以下のプログラムには、継続的な成長の機会に対処するための正規トレーニングとコーチングが含まれます。

- Leadership America：政治、経済、公共生活におけるあらゆるレベルの意思決定でリーダーシップを発揮する機会均等に焦点を当てた組織。
- The International Women’s Foundation：女性の知識とスキルの拡大、女性リーダー間のつながりの構築、次世代の女性リーダーの育成を目指す、優秀な女性人材を支援する組織。
- Leadership Texas：リーダーとして成長し、仕事、私生活、コミュニティに影響を与える多様な原動力、問題、課題、機会についての知識を深めたいと考えているテキサスの女性に教育と能力開発の機会を提供する組織。
- TI の Women for Technical Leadership (女性のための技術リーダーシップ) プログラム：新卒採用および中途採用の人材プールの多様性を引き出し、最も名誉ある技術コミュニティである TI Tech Ladder (TI テクニカル・ラダー) への参加準備をさせることを目的としています。この 1 年間のプログラムは、対象を絞った経験、カスタマイズ・トレーニング、パーソナル・コーチング、リーダーシップに関する洞察と討論会の組み合わせで構成されています。2019 年には、テクニカル・ラダーの女性応募者の割合が前年と比べ71% (69 人から 118 人) 増加しました。また、革新的な貢献をして技術的リーダーシップを発揮した選出メンバーが認定、表彰されました。

NAFE (National Association of Female Executives、全米女性経営者協会) により認定済み

NAFE は 15 年間にわたって、TI が行う女性のキャリア・パス支援、特に女性重役の活躍推進の取り組みを評価してきました。私たちは、マネージャへのトレーニングを実施して女性の育成、昇進を促しているほか、正式な後継者育成計画プログラムを実施しています。2019 年の女性の占める割合は以下のようになっています。

- 取締役のうち 33%
- 損益に関わる職位のうち 13%
- CEO の直属の部下のうち 33%

早期キャリア・ピボット・ラーニング・ロール (ECPLR) プログラム

早期キャリア・ピボット・ラーニング・ロール (ECPLR、Early Career Pivotal Learning Role) プログラムは、早期キャリアの従業員の希望者を対象にした 10 ヶ月間のプログラムで、TI 全体のリーダー、技術エキスパート、スタッフと緊密に連携しながら、さまざまな役割や新しいスキル・セットを学ぶ機会を参加者に提供します。また、高い実績のある従業員を呼び、影響度の高い問題とマッチングさせ、ソリューションを見つけて結果を発表する機会を提供することで、ビジネス・インパクトを生み出しています。



目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

報酬

私たちは競争力のある報酬を支給しており、将来の成長を牽引する主要な人材を会社に定着させる報酬戦略を策定しました。TI の報酬理念は、業績に応じて支払うということに基づいています。TI の成功に対する従業員の貢献と会社の業績の両方を考慮して、個人の報酬を決定します。

TI では、財務上の成功に貢献したすべての TI 従業員に報奨を支給する、グローバル利益配当プログラムを用意しています。TI は、各年の収益性に基づき対象収入に対する支給割合で報奨額を決定します。フランスやメキシコといった TI の拠点がある一部の国では、該当する利益配当プログラムに対する法令の要件があります。

利益配当式は営業利益 (PFO) に基づいており、TI の PFO が 10% 以上の場合に適用されます。PFO が 35% に達するとき、最大支払いは 20% になります。すべての TI 従業員が対象収入に対し同じ支給割合の報奨を受け取ります。私たちが提供している給与と福利厚生は、現地の法令の規定を超えているか、もしくは規定を満たしています。TI はすべての国で標準的な入社時賃金を維持しているわけではありませんが、操業するすべての国で現地の最低賃金を超える金額を従業員に支払っていることを確認済みです。この 4 年間、利益配分計画では、すべての適格な従業員に最大限の報奨 (20% の賞与に相当) を支払いました。

賃金の平等

TI は従業員に対して公正かつ平等に報酬を支払っています。TI では、性別、人種、民族など保護される特徴に関係なく、競争力を高め、公正に報酬を支払う方針で長期的に取り組んできました。現在は、社内の報酬支払いシステムに詳細で定期的な分析機能を含めたチェック / バランス機能を作り込み、確実に達成できるようにしています。

2019 年には個別の報酬分析を実施し、職種、職位、国を考慮した (基本給、賞与、株式を含めた) 性別と人種ごとの支払いの同等性を検討しました。この分析で、米国内および世界各地で、女性に支払われている賃金の額が男性と同等であること、米国ではマイノリティへの支払額も非マイノリティと変わりがないことが判明しました。



ワークライフ・バランスとワークライフ・リソース

私たちは、ワークライフに関わるサポートを提供することで、優秀な人材を集め、惹き付け、定着させることにつながると信じています。TI 全体でさまざまなワークライフ・プログラムを提供することで、職場の満足度と生産性を下げる可能性がある日常のストレス要因を低減させています。各国の労働文化や政府の助成プログラムにより、国ごとにイニシアティブと目標は異なりますが、たとえば以下のようなものがあります。

- 社員支援プログラムを通じたカウンセリング・セッション、オンデマンドのリソース、託児所および介護施設の紹介
- 休暇の計画、予約などの個人的な取引のためのコンシェルジュ・サービス
- 養子縁組の支援および補償
- フレキシブルな業務制度、リモートワーク体制
- 割引料金の託児サービス、季節限定の子ども向けキャンプと保護者の夜間交流イベント
- 無料のドライクリーニング / 梱包サービス

ワークライフに関する評価

Working Mother 誌の「ワーキング・マザーに適した企業ベスト 100」(22 年目)

米国の TI では、次のようにさまざまな方法で従業員家族をサポートしています。

- 出産・育児休暇：TI では、出産休暇および育児休暇をサポートしています。育児中の女性および男性従業員は、有給の育児休暇を 4 週間取得できます。出産する女性従業員は、合計 12 週間 (出産休暇 8 週間、育児休暇 4 週間) の有給休暇を取得できます。
- 扶養者ケア：TI 従業員は、フレキシブル支出口座を利用して、認定扶養家族の医療費の支払い用に税引前金額から拠出することができます。
- 託児サービス：TI は、Learning Care Group と提携して、TI 従業員に対して、早期教育および託児サービスへの割引を提供しています。これには、生後 6 週間から 12 歳の子どもの対象にした就学前プログラム、学童保育プログラム、サマー・キャンプなども含まれます。米国で 900 箇所を超える託児サービスのネットワークがあります。
- 個室の授乳室：TI では、出産明けで職場復帰する女性従業員をサポートするために、電話、快適な座席、冷蔵庫、医療グレードのポンプを備えた個室の授乳室を用意しています。

ワークライフ・バランス

TI の人事マネージャであり 2 児の母でもある Angela は、仕事のおかげで親としても成長していると感じています。

「良い親になろうとして完璧になる必要はありません。ワーキング・ペアレントであることによって生じる混乱や上手いことではないことに対して、受け入れる必要がありました。受け入れたおかげで、今では以前よりも現実的に、柔軟に考えられるようになり、支援を求めることができるようになっていました。子どもたちを置いて毎日仕事に行くのは簡単なことではありませんが、達成したいことのために一生懸命働くことは大切だということを、子どもたちと自分自身に言い聞かせています。





目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

従業員の安全と健康

TI では、職場での怪我や病気はすべて予防可能であると考えています。そのため、私たちは従業員の日常業務に投資し、安全と健康に関する慣行を取り入れています。意識付けから専門的なトレーニング、安全衛生管理の実施に至るまで、怪我や病気のリスクを減らすためのプログラムを世界中で実施しています。

安全

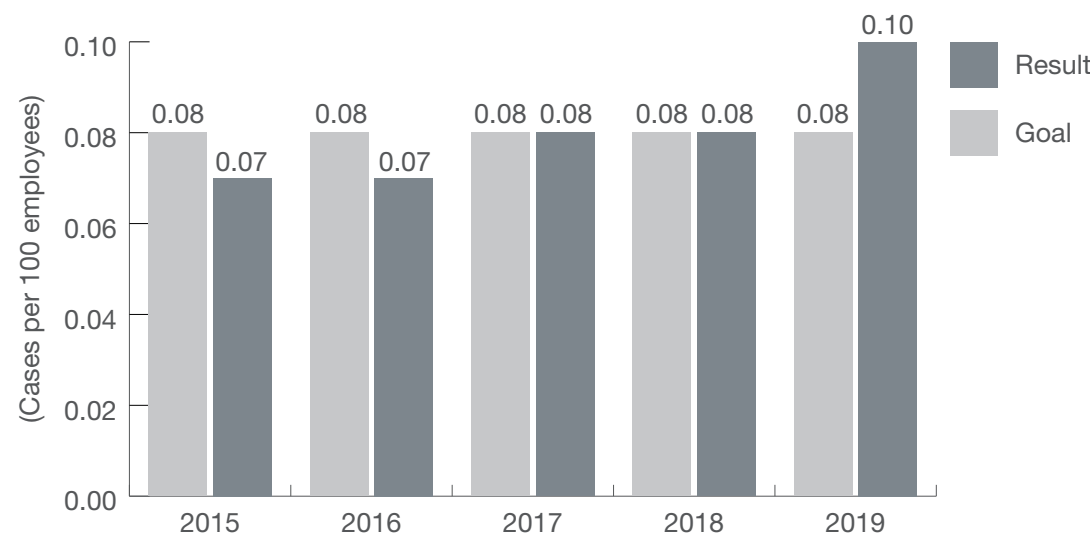
私たちは、すべての従業員にとって安全で健康的な職場環境を確保するために、全世界の拠点で安全要件とベスト・プラクティスの実施をするなど、安全指向の文化を確立しており、これからも推進し続けます。業界最高水準の安全性記録を維持するために、次のことを行っています。

- 安全な職場環境作りおよび運用、適切な安全手順および安全管理の維持
- 本質的に安全な建物の設計および建築、機器のリスクの考慮
- 関連する必要な安全トレーニングの実施
- 機器の検査、継続的なプロセス監査、コンプライアンスとパフォーマンスの評価
- 製造に使用する化学物質の評価、スクリーニング、管理

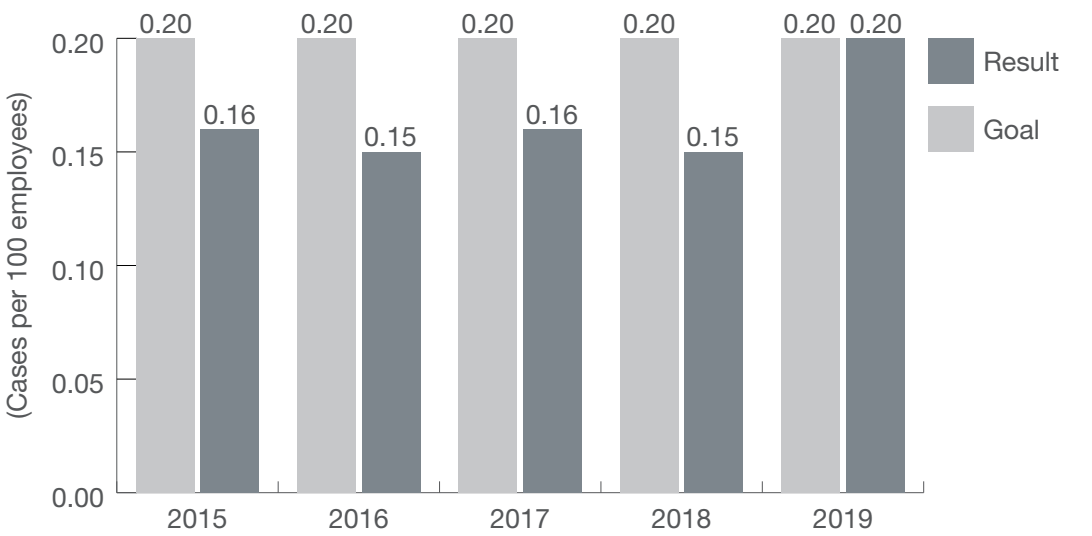
私たちは、全世界で業務上の負傷や病気をゼロにすることを目指しています。また、具体的な安全目標を設定し、休業、作業転換または制限 (DART) の事例率を 0.08 以下、要記録事例率を 0.20 以下に設定しました。

2019 年は、一部の国際拠点で報告制度がより強固で成熟したものとなり、認知度が向上しインシデント報告数の増加につながったため、DART の目標を達成できませんでした。当社の DART 事例率と要記録事例率は、業界内で引き続き最低値を保っています。2018 年の業界平均は、DART 事例率が 0.3、要記録事例率が 1.2 でした。2019 年の業界データについては未発表です。

Days away, restricted or job transfer (DART) rate



Recordable case rate



労働衛生、健康全般

TI では健康リスクを低減するために、潜在的に有害な物質の使用の排除または制限、換気管理装置および隔離管理装置の設置、一般的な衛生区域の評価および個人への健康状態評価の実施、必要に応じて個人用保護具の使用の要求および提供を行っています。また、仕事とプライベートの両方で従業員の健康的なライフスタイルを推進し、従業員が健康的な選択しやすいようにしています。次に例を示します。

- 健康状態評価の実施、予防的スクリーニングおよび予防接種の提供
- 従業員への支援プログラム、カウンセリング、教育サービスの提供
- 短長期の障害、労働者の補償、米国の家庭および医療目的休暇法に基づく休暇、業務上または業務外の健康問題に関連する、統合された就業不能ケース管理の提供
- 健康と幸福に関する情報および改善プログラムの提供

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

健康と安全に関するその他のデータ

項目	2018	2019
要記録事例数 (従業員)	0.15 (48 件)	0.16 (48 件)
要記録事例数 (請負業者) ¹⁴	0.36 (6 件)	0.27 (5 件)
業務に関連した傷害に起因する死亡件数 (従業員)	0	0
業務に関連した傷害に起因する死亡件数 (請負業者)	0	0
業務に関連した疾病や体調不良に起因する死亡件数 (従業員)	0	0
業務に関連した疾病や体調不良に起因する死亡件数 (請負業者)	0	0
非常に重大な傷害件数 (従業員)	0.007 (2 件)	0.007 (2 件)
非常に重大な傷害件数 (請負業者)	0	0
労働時間数 (従業員)	58,253,519	59,425,882
労働時間数 (請負業者のみ)	3,335,737	3,658,678
業務に関連した疾病や体調不良の要記録事例数 (従業員)	4	9
業務に関連した疾病や体調不良の要記録事例数 (請負業者)	1	0



¹⁴このレポートで請負業者に関するすべての言及は、補助的な請負業者を指しています。

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

寄付と ボランティア活動



TI の 3 つの目標の 1 つは、社員であることを誇りに思える会社、地域の隣人として望ましい会社であることです。数十年にわたり、TI、TI Foundation (TI 財団)、および TI 従業員は、困難に立ち向かい、時間と費用を惜しまず地域コミュニティに影響を与えてきました。



目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

STEM 教育への投資

教育の改革力を通じて公平なコミュニティを築く TI の取り組みにより、寄付とボランティア活動の優先度は最高水準に保たれています。TI は、肌の色、家庭の所得水準、学区、および居住地により学習上の大きな不利益を被っている生徒の STEM 学習における成果を高めるプログラムおよび団体に、TI 財団と会社の基金から数千万ドルを投資しています。

STEM 学習の公平性

TI には、教室の学習格差を縮めることを目指した支援プログラムの長い歴史があります。これは、1980 年代に実施した、ダラスの最貧地域における 5 歳未満の児童に向けたヘッドスタート・プログラムの導入から、現在テキサス北部で実施している、十分に教育を受けていない高校卒業までの 12 年間の生徒のための STEM 学習体験の変革支援プログラムにまでわたります。最新の寄与と支援には以下のものがあります。

- サウスダラスの Lancaster ISD (LISD、ランカスター独立学区) を STEM 強化学区に作り変えるため、2012 年から TI 財団より 820 万ドルの資金を調達。LISD の生徒は、90% 近くは経済的に不利な家庭の出身、96% は黒人およびラテンアメリカ系であり、今では数学と科学においてテキサス北部の他の生徒を上回る成績を収めています。

- リチャードソン ISD の高校進学パターンに関して、高校卒業までの 12 年間における「STEM for All」(全員に STEM 教育を) のコンセプトを実現するための、TI 財団からの複数年にわたる 460 万ドルの寄付。16 校 10,000 人の生徒が対象であり、63% は黒人およびラテンアメリカ系、59% は経済的に不利な生徒です。
- National Math and Science Initiative の College Readiness (大学進学準備) プログラムの長期支援と、公立高校の教師および校長志願者に向けた STEM プロフェッショナル開発およびトレーニング・プログラム。
- 都市部の教師に対する経済支援、および優れた数学や科学の教師を採用、トレーニング、定着させるための教育プログラム。

TI の STEM Squad ツアー

教室での学習体験に対する TI の取り組みには、ボランティア活動も含まれます。Richardson Independent School District (RISD、リチャードソン独立学区) の Hamilton Park Pacesetter Magnet 校では、TI 従業員は日常的に生徒と関わり、TI の「STEM Squad」、試験勉強期間、または放課後の個人指導やメンタリングを通じて、数学と科学を学ぶ楽しさを教え、自信をつけさせています。

TI の影響の評価

過去 5 年間にわたって、TI と TI 財団は 1 億 5 千万ドルを超える金額を米国の教育に寄付しています。STEM 教育に特化して、TI 財団は 2010 年から 2019 年の間、歴史的に過小評価されてきた生徒の学習成果と学習機会を改善するプログラムに、5 千万ドルを超える金額を単体で投資しています。

米国以外で TI が資金提供した教育イニシアティブの 1 例として、TI ホープ・スクールがあります。これは中国農村部の貧困地域の生徒のために立案されました。TI は建設、教室テクノロジー、従業員のボランティア活動を通じて 10 校に投資しました。現在では、これらの学校は四川省、湖北省、江西省、および陝西省にいる 48,000 人の生徒の助けになっています。





目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

寄付

TI の従業員は、会社のあらゆる活動で中心的な位置にいます。世界中の TI 従業員がその時間、リソース、才能を惜しみなく投資して、自分たちのコミュニティに変化をもたらしています。TI の従業員が米国に与える影響を促進するために、TI 財団¹⁵ は米国の従業員および退職者に同額のマッチング・ギフト (1 人あたり年間最大 30,000 ドル) を提供し、資格のある非営利団体に寄付しています。

2019 年の寄付による影響の合計: 4,510 万ドル

2019 年には、TI および TI 財団は 3,170 万ドルを、従業員は 1,340 万ドルを寄付し、さまざまな教育、コミュニティ、芸術、および文化団体を支援しました。寄付の内訳は以下のようになります。

- 教育に 2,310 万ドル
- コミュニティに 1,760 万ドル
- 芸術と文化に 4,300 万ドル

TI 基金は従業員、地域ニーズ、および戦略的な適合性に沿って、主な TI 拠点に世界的に支給されています。毎年、各拠点は利用できるリソースと地域のニーズに基づいて資金提供を決定します。TI の寄付への取り組みは、コミュニティに影響を与える以下の 3 つの分野に集中しています。

教育 (グローバル): 世界中で教育の妨げとなる障壁を取り除く助けになるプログラムを支援します。米国では、TI はリソースに乏しいコミュニティで黒人、ラテンアメリカ系および女性の生徒の STEM 学習を促進するプログラムを特に支援しています。以下のようなプログラムを検討します。

- 歴史的に教育上の障害を抱えてきた生徒に対する STEM 概念の教育と学習に向けた、教師および校長の能力を向上させる。
- 教師や教室に対する革新的な手法、プログラム、およびリソースを提供することで、STEM カリキュラムにおける生徒の意欲と成果を向上させる。

米国以外では、特に農村地域で教育へのアクセスを提供する取り組みに焦点を当てています。

ベーシック・ヒューマン・サービス (グローバル): 米国では、以下のようなプログラムを検討します。

- 災害救助、飢餓、無住居などの基本的ニーズへの対処、危険にさらされている青少年のためのプログラム。
- 市民およびビジネス環境を豊かにして、結果として経済とコミュニティに前向きな影響を与えるプログラム。

米国以外の TI 拠点では、会社の価値基準に沿ってコミュニティのニーズに取り組む団体や運動を支援しています。

芸術と文化 (テキサス州ダラス): TI 本社のコミュニティを豊かにし、テキサス北部を生活と仕事に魅力的な場所にする芸術および文化関連の団体とパートナーになります。これには Dallas Museum of Art、Dallas Black Dance Theatre、Dallas Children’s Theater、Dallas Symphony Orchestra および Dallas Theater Center が含まれます。

TI と TI 財団の寄付 (100 万ドル)	2015	2016	2017	2018	2019
教育	\$19.36	\$18.70	\$22.83	\$20.23	\$20.11
コミュニティへの投資	\$5.43	\$7.03	\$7.14	\$8.95	\$8.27
文化と芸術	\$2.20	\$2.68	\$3.44	\$4.19	\$3.28

従業員と退職者の寄付 (100 万ドル)	2015	2016	2017	2018	2019
教育	\$1.77	\$1.95	\$2.11	\$1.83	\$3.03
コミュニティへの投資	\$3.82	\$4.12	\$2.65	\$6.85	\$9.35
文化と芸術	\$0.49	\$0.53	\$0.62	\$1.10	\$1.02

¹⁵ TI 財団は分離した 501 (c) (3) 団体です (米国のみ)。TI のリーダーで構成される委員会が四半期ごとに会合を開き、影響力のある寄付金に関する支出を行います。出資先は主にテキサス北部で、経済的に不利な学校の出身で高校を卒業し科学および数学に秀でた学生を支援する団体、ベーシック・ヒューマン・ニーズに取り組む団体、および TI の本社があるテキサス州ダラスにある芸術および文化を強化する団体です。

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

インドで変化をもたらす

インドで事業を営む公開会社として、TI は India Companies Act (インドの会社法) の要求により企業の社会的責任に関連する活動の年間報告書を作成する必要があります。TI は以前からインドのバンガロールとその周辺のコミュニティで、長年にわたって積極的な行動を起こしていました。TI は、より大きな影響を及ぼすための助けになっている非営利団体パートナーを特定し検証を行います。

TI はバンガロールおよび遠隔農村地域で、130 校、約 18,000 人の生徒に新学期を迎えるためのリソースを提供しています。TI は、メンタリング、コンピュータ室、実験室、バックアップ電源、スマート教室および学習センターを含めた徹底的な支援の提供先として 16 校を採用し、約 2,000 人の生徒を支援しています。

「子どもに食べる物、きれいな飲み水、基礎教育へのアクセスがないのならば、STEM の学習を支援する前にそれらに注力する必要があります」と、TI のコーポレート・シティズンシップに関する取り組みを管理している Aditya 氏は言います。



ボランティア活動

世界各地の TI 従業員が毎年数千時間を費やして、自発的に時間と能力を提供し、ロボット指導員、科学技術フェアの審査員、指導者、個人指導者、大学やキャリアのプランニング・アドバイザー、キャンプ・コーディネータなどを務めることで、コミュニティに変化をもたらしています。教室でのプレゼンテーションや実践活動を通じて数千人の生徒に関わることができるように、TI は従業員にリソースとトレーニングを提供します。

TI がサポートするボランティア活動は、主に2つの慈善活動分野に沿って行っています。それは、STEM教育と飢餓、貧困、ホームレスを含む地域で最もニーズの高い分野です。

世界中のチームが大きな影響をもたらす

TI ではグローバル全体で20を超える Community Involvement (コミュニティ活動参加) チームがあり、地域団体と協力して、コミュニティが抱える重点課題を洗い出し、その最も効率的な対策を特定しています。TI は、利用できるリソースに基づいて資金提供を決定する権限をこれらのチームに与えています。チームの仕事は、ボランティア・イベントの開催から財政支援の推薦まで多岐にわたります。

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

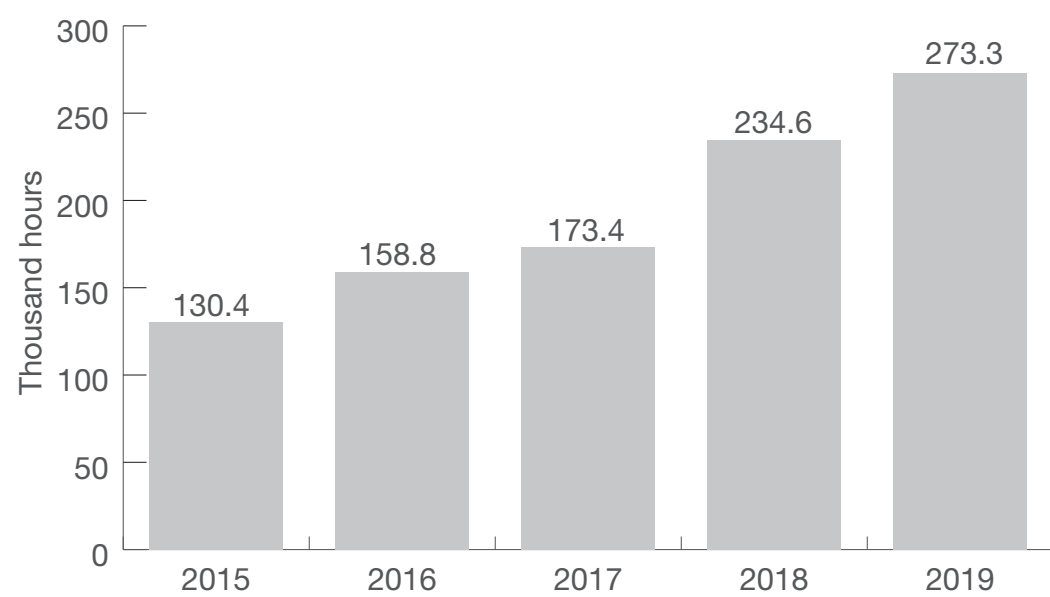
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

コミュニティを豊かにする TI 従業員を表彰

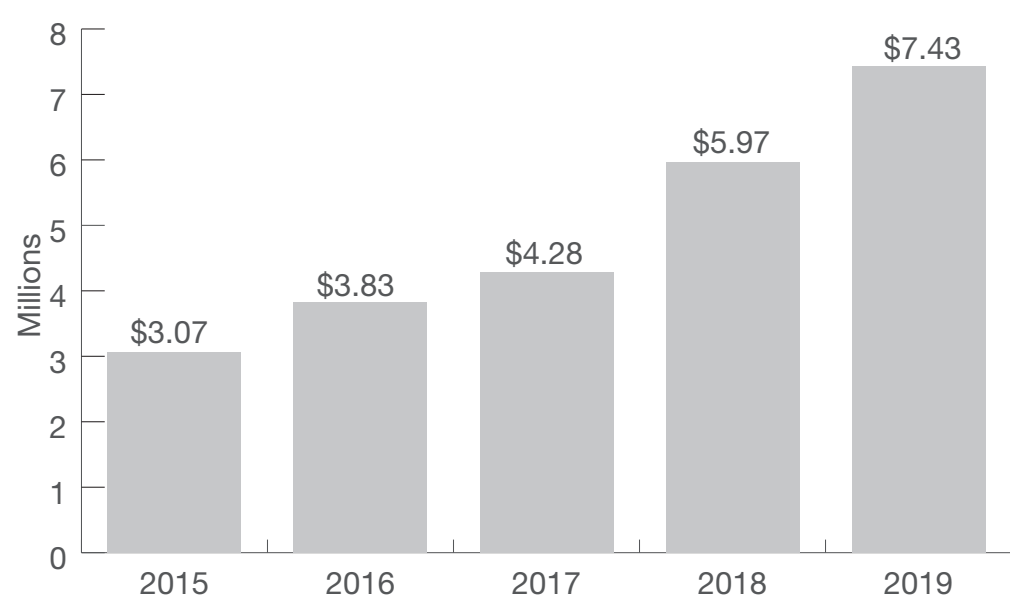
TI は毎年、特に優れた 2 人のボランティアまたは 2 つのチームを、TI Founders Community Impact Award で表彰し、受賞者は自分の選んだ非営利団体に 10,000 ドルの寄付を行うことができます。9 人の最終候補者も、その支援する団体に 2,500 ドルの寄付を行うことができます。

2019 年には、絶縁マーケティング・エンジニアの Gina 氏が、希少な末期疾患であるバッテン病を根絶するための精力的な努力が認められ受賞しています。幼い息子がこの病気と診断されてから、Gina 氏と夫の Matt 氏は、University of Texas Southwestern Medical Center と Children's Health (共にダラスに所在) での初の遺伝子治療の臨床試験の着手に必要な資金と不可欠な道具を集めるために非営利団体である Batten Hope を立ち上げました。彼らはバッテン病に苦しむ世界中の家族を助けるために、150 万ドルを超える資金調達を支援しました。Gina 氏は 10,000 ドルを、Batten Hope への寄付と先進臨床試験を支援するための取り組みに使用しました。

Volunteer hours



Value of volunteer hours¹⁶



¹⁶ この換算金額は、独立セクターが算出した値であり、2019 年の各従業員ボランティアの時間単価を 27.20 ドルと推定しました。



目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス



将来の予測に関する記述の注意事項

この通知には、1995 年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図した「将来の予測に関する記述」が含まれています。一般的に、これら将来の予測に関する記述は、TI またはその経営陣による、「believes」(確信する)、「expects」(期待する)、「anticipates」(予測する)、「foresees」(予見する)、「forecasts」(予期する)、「estimates」(推定する)、または類似の意味を持つ単語や言い回しから、識別することができます。同様に、記述が、TI の業務方針、見通し、目的、計画、意図、目標について述べている場合も、将来を予測するものです。このように将来を予測する記述はいずれも特定のリスクや不確定要素を含む可能性があり、実際の結果が予測と大きくかけ離れる可能性があります。

これらの要因に関する詳細な説明については、SEC が保管している 2020 年第 1 四半期の Form 10-Q (英語) に記載されている「Risk Factors」(リスク要因) をご覧ください。この通知に含まれている、将来を予測する記述は、この通知の作成日の時点で有効なものに過ぎず、TI はそれ以降に発生するイベントや状況を反映する目的で、これら将来を予測する記述を更新する義務を負わないものとします。

© Texas Instruments Incorporated 2020



		Pkg		Group		Volume		NUB		Supply Match		Match		Match	
Num1	Platform	Test Si	DCM	LV1	LV2	LV3	LV4	LV5	LV6	LV7	LV8	LV9	LV10	LV11	LV12
10	Assy S	MLA	EAGLE	TAI	SSOP	LV1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	MLA	EAGLE	TAI	SSOP	LV1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	TAI	EAGLE	TAI	SSOP	LV1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	CLARK	EAGLE	CLARK	QFN	LV2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	CLARK	EAGLE	CLARK	QFN	LV2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	UTL1	EAGLE	UTL2	UXQFN	LV2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	UTL1	EAGLE	UTL2	UXQFN	LV2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	NFME	EAGLE	NFME	SOT	LV2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	HNA	VLOT	HNA	SOT	AUTOMOTIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	HNA	VLOT	HNA	SOT	AUTOMOTIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	JCETC2	VLOT	JCETC2	TO	AUTOMOTIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	JCETC2	VLOT	JCETC2	TO	AUTOMOTIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	JCETC2	VLOT	JCETC2	TO	AUTOMOTIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	HNA	VLOT	HNA	SOT	AUTOMOTIVE	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	NFME	VLOT	NFME	SOT	LV2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	NFME	EAGLE	NFME	SOT	LV1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	LV	HW	Raw data	MSR list 1016	MSR list 1009	MSR list 1002	MSR list 0925	MSR list							

目次

CEO (最高経営責任者) からの挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

TI は、グローバル・レポーティング・イニシアティブ (GRI) のサステナビリティ・レポーティング・スタンダード (GRI スタンダード) に従って報告を行います。

次の表に、GRI ガイダンスに基づく一般標準開示項目と特定標準開示項目の索引を示します。指標は、TI とそのステークホルダーに関連があり重要な情報を共有するために、簡潔で標準化された手段を提供します。

一般開示項目

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
102-1	組織の名称	当社の会社名は Texas Instruments Incorporated (テキサス・インスツルメンツ) (NASDAQ:TXN) です。
102-2	活動、ブランド、製品およびサービス	TI の製品の詳細については、 SEC Form 10-K, Part I, pages 2-3 (英語) をご覧ください。
102-3	本社所在地	TI の本社住所は、12500 TI Boulevard, Dallas, Texas 75243 です。
102-4	事業所所在地	Web サイトの TI の概要 セクションでグローバルなマップをご覧ください。
102-5	所有形態や法人格の形態	TI の所有形態については、TI の SEC Form 10-K, Part I (英語) をご覧ください。
102-6	参入市場	TI の出荷先市場の詳細については、 SEC Form 10-K, Part I, pages 4-5 (英語) をご覧ください。
102-7	組織の規模	2019 年 12 月 31 日の時点で、TI は 29,051 人の従業員を雇用し、世界 30 か国以上に製造、設計、および販売拠点を持っていました。TI は数万種類の製品を擁し、143.8 億ドルの売り上げを計上しました (詳細は、 SEC Form 10-K, Part I, Item 1, pages 2-12 (英語) をお読みください)。地域別の売上比率は、アジア 60%、欧州 19%、南北アメリカ 13%、日本 6%、その他 3% でした。TI にはまた、10 箇所のウェハー製造拠点と 7 箇所のアセンブリ / テスト拠点があります。詳細については、 SEC Form 10-K, Item 8, Note 1, page 30 (英語) をご覧ください。
102-8	従業員と他の労働者に関する情報	従業員のデータについては、TI の 2019 年コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Workplace セクション (英語) をお読みください。TI は雇用契約別の従業員数を追跡しておらず、パートタイム労働者は無視できる水準にとどまっています。正社員が大半の職を遂行しており、必要な時に補助的な請負業者が支援しています。このような請負業者の数は年間を通じて変動します。
102-9	サプライ・チェーンに関する説明	TI の 2019 年コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の Supply chain (英語)、および TI の Anti-human trafficking statement (英語) をお読みください。TI の調達約 80% がおよそ 300 のサプライヤとの間で行われており、そのうち約 180 社は半導体製造を支える重要な企業に該当します。重要なサプライヤとは、カテゴリ調達チームの供給戦略において中核を成す企業であり、こうした企業によってしばしば出力の作成や設計に大きな混乱が生じることがあります。必要に応じ、TI はウェハーの製造や製品の組み立て、テストを外部委託しています。
102-10	組織とそのサプライ・チェーンに対する重大な変更	この数年間で、TI はさまざまな新機能に投資を行い、流通ネットワークを進化させてきました。これにより、顧客とのより緊密で直接的な関係を確立する当社の戦略と足並みをそろえています。また、顧客のニーズに関するより詳しい情報を得るだけでなく、より良いサービスを提供し、とりわけ確実な供給を行うことができるようになっています。今後数年でこうした顧客との直接的な関係の構築を拡大していくことで、流通チャネルを経由したビジネス・フローを減らし、販売特約店も減らしていく予定です。TI は 2019 年中に組織の規模、構造、所有形態に関して重大な変更を加えることはなく、収益は 9% 減となりました。詳細については、 SEC Form 10-K, Item 1, page 5 (英語) をご覧ください。
102-11	予防的原則またはアプローチ	環境へのマイナスの影響を低減もしくは回避するために、TI では科学的証拠が不十分または不透明な多くの業務に対して、予防的原則を適用しています。たとえば、化学物質および材料の積極的なスクリーニング・プロセスにより、解明されていない危険性や制御できない危険性を含む可能性のある材料を使用していないことを保証しています。
102-12	外部向けの活動	TI の Governance documents (英語) には、社員の業務慣行に対する各手引書がリストされています。これは全世界の拠点に適用され、業務ニーズの変化に応じて改定されます。また、TI では企業の環境、社会、ガバナンスのパフォーマンス改善を目的として、工業界の標準化団体や国際標準化団体 (国際標準化機構 (ISO) など) に自発的に登録しています。登録先には、会社のシティズンシップを推進するための措置や報告を行う GRI のレポート・フレームワーク、エレクトロニクス業界における従業員の安全と保護、公正、環境的責任と事業効率を確保するための具体的な行動規範を示している責任ある事業同盟 (RBA、Responsible Business Alliance)、製造施設の効率のかつ影響の少ない設計および運用を目指す米国グリーン・ビルディング協議会の LEED Green Building Rating System (グリーン・ビルディング評価システム)、より持続可能な経済を構築するために活動する投資家や企業、都市をサポートする CDP などが含まれます。
102-13	業界団体への参加	TI は、さまざまな政策を目的として活動する、多数の団体 に 所属しています。TI は特定の団体において他の団体内より活発に活動しており、すべての団体のあらゆる事項に関して活動しているわけではなく、すべての位置付けに賛同する姿勢ではありません可能性もあります。また、TI は他の外部グループや団体 (RBA や米国半導体工業会など) との提携を通して、成長を加速し、競争力を高め、自社のステークホルダー、お客様、従業員、コミュニティを支援するポリシーを推進しています。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
102-14	上級意思決定者の声明	TI のシティズンシップおよび持続可能性に対する取り組みについては、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 CEO message (英語) をお読みください。
102-16	価値、理念および行動基準・規範	<div><div>TI が最初のエシックス・ガイドを公開したのは 1961 年です。このガイドは、TI の歴史にとって重要なビジネス慣行の土台になっています。TI では、Living our values (価値と共に生きる) – TI の Ambitions (大きな目標)、Values (価値)、Code of Conduct (行動規範) を発表しました。次に内容について説明します。</div><div><ul style="list-style-type: none">• Ambitions (大きな目標): TI は何を希望し、何を達成することを決意しているか• Values (価値): 私たちの位置付けと行動方法を定義する原理原則• Code of conduct (行動規範): 私たちが守るべき規範• Policies (方針): 意思決定と行動のためのルール</div><div>TI の Living our values (価値と共に生きる) – TI の Ambitions (大きな目標)、Values (価値)、Code of Conduct (行動規範) が、リーダーで構成されるコア・グループで作成され、経営委員会と経営責任者による監督、評価、指示が行われました。TI の会長、社長兼最高経営責任者であるリッチ・テンブルトンにより署名され、TI の全リーダーがこの規範に従って事業を行う責任を持ちます。この規範が全社にわたるまで、CEO と HR 部門の上級副社長による約 500 人のリーダーとの意見交換会が 20 回程開催され、当社の行動規範に従ってリーダーの指導方法や事業の指揮方法について伝授、研修を行い、期待水準を設定する機会を設けました。</div></div> <div><div>この行動規範は、多言語に対応しています。</div><div>TI ではさまざまなメカニズムを使用して、トレーニングの完了と Living our values (価値と共に生きる) – TI の Ambitions (大きな目標)、Values (価値)、Code of Conduct (行動規範) の順守を測定しています。次に例を示します。</div><div><ul style="list-style-type: none">• 完了したトレーニングの割合と調査結果• エシックスとコンプライアンスの事例• 業界の慣行と同僚の評価</div><div>Living our values (価値と共に生きる) – TI の Ambitions (大きな目標)、Values (価値)、Code of Conduct (行動規範) に対する責任は、TI の会長、社長兼最高経営責任者であるリッチ・テンブルトンと取締役会から始まります。会社のあらゆるレベルのリーダーは、TI の目標、価値、行動規範、方針のモデリングを担当し、組織が責任を負います。チーフ・コンプライアンス・オフィサー、人事部門のシニア・バイス・プレジデント、エシックスおよびコンプライアンス委員会委員長は、他の主要なステークホルダーと連携し、TI 全体のエシックス・プログラムおよびコンプライアンス・プログラムを監視します。また、取締役会の監査委員会、上級管理者、幹部と定期的に最新情報や結果を共有し、継続的かつ効率的な改善を促進します。</div></div>
102-18	ガバナンス構造	TI のガバナンス構造および役割と責任に関する詳細については、当社の governance overview Web ページ (英語) をご覧ください。
102-30	リスク管理プロセスの効果	<div>TI のリスク管理と事業継続性における慣行についての詳細は、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートの Responsible business practices セクション (英語) をお読みください。</div> <div>TI では、リスク管理に対して包括的なアプローチを取り、リスクにさらされる危険を最小限に抑えながら利害関係者の価値を守る文化を構築します。TI の監査委員会には、財務上のリスク (会計、財務、内部統制、税戦略など) に対する監督責任があります。コンプライアンス・リスクに対する監督責任は、TI の取締役会と共有で担っています。</div> <div>TI のすべての組織やチームに、従業員、事業慣行、サプライ・チェーン、環境に対して潜在的なリスクを特定することが期待されています。正式なリスク評価を実施し、会社、顧客、コミュニティにとってメリットの多い管理に投資を行います。その後、評価結果は措置が完了するまで検証、監視されます。TI では、四半期ごとにリスクとその低減に関する計画を上級管理職に報告しています。TI の SEC Form 10-K でも、年に一度リスクを開示しています。</div> <div>TI には、会社の事業継続性に関する戦略、方針、プログラム、計画を監督する独立した Business Continuity (事業継続性) 管理チームがあります。チーム・メンバーは定期的に集まってリスク、ベスト・プラクティス、実施計画についての話し合いを行い、停止の事態が発生した場合は主導的な役割を担います。また、CFO に対して年に一度更新された最新情報を提供します。</div> <div>リスクに関する問い合わせ、懸念、苦情があるお客様は、www.ti.com/support またはアカウント・マネージャに問い合わせることができます。</div>
102-40	ステークホルダー・グループの一覧	TI のステークホルダーには、従業員、お客様、株主、TI の拠点があるコミュニティ、研究機関、公務員、業界団体、監督機関、非政府組織、アナリスト、投資家、サプライヤ、請負業者、TI の退職者、将来の従業員が含まれます。
102-41	団体交渉協定	世界各地で活動する TI の全従業員には常に、各国や各地域の法で認められている結社の自由や団体交渉の権利が認められています。したがって、TI はこれらの協定の対象になっている従業員の割合を追跡していません。
102-42	ステークホルダーの識別と選択	直接的な影響を及ぼすステークホルダー、または TI の業務に関心を持つステークホルダーとの関わりを維持しています。
102-43	ステークホルダーとの関わりに対するアプローチ方法	TI では、業務に直接的な影響を及ぼすか、利害関係のある人や組織それぞれの利益のために、関与戦略、手法、やり取りの動的なカスタマイズを行います。一般的に、関与の方法には会議、電話、電子メールなどがあり、頻度によって異なります。TI の上級リーダーは、環境、社会、ガバナンスの重要事項に対するステークホルダーのフィードバックを、定期的に役員チームや取締役会と共有します。ステークホルダーは、TI の Web サイト、電子メール、ソーシャル・メディア・チャネルを通じて質問したり、意見を伝えたりできます。会計関連および監査関連のトピックは、TI の会計および監査ホットラインで対応します。ホットラインで受領した会計関連や監査関連の問い合わせ事項は、すべて取締役会の監査委員会委員長に報告されます。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
102-44	提起された重要なテーマと懸案	2019 年のステークホルダーとの非公式の取り組みにより、多様性と包括性、エネルギーの使用と再生可能エネルギー、水の節約、労働の権利と人権に関連する主な質問や問題点について学習しました。
102-45	連結財務諸表に掲載されている事業体	TI には、アナログと組込みプロセッシングの 2 つの報告対象となるセグメントがあります。残りの事業活動の実績については、Other (英語) で報告しています (SEC Form 10-K, Part I, Item 1, pages 2-3 (英語) をご覧ください)。このレポートでは、財務諸表に含まれるすべての TI が所有する事業体や施設についての環境、社会、ガバナンスをテーマとして取り上げています。
102-46	報告書の内容およびテーマの確定	<p>本レポートの主な内容を決定するために、TI は隔年でステークホルダーを正式に評価し、TI の Citizenship Steering Team (CST、シティズンシップ運営チーム) と協議しています。CST は部門を越えた経営陣で構成されており、TI のシティズンシップ戦略に関与し、その戦略を実行します。TI では 2 年に一度、複数のステークホルダー (従業員、上級役員、顧客、サプライヤ、投資家、業界団体、コミュニティ・リーダー、業界の代表など) からの意見を評価し、彼らが信頼を置いているトピックが当社が最も重視する環境面、社会面、ガバナンス面への影響についてであることをよりの確に把握できるよう努めています。このフィードバックは、TI がステークホルダーの懸念に積極的に対応するために役立てることができます。また、最も重要なトピックの内容に着目することで、コーポレート・シティズンシップ・レポートの作成にも役立ちます。この評価は、次の 4 つのプロセスで構成されています。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 特定: 妥当性、ステークホルダーの関心、業界が抱える問題、同僚が重視している内容、持続可能性トレンドに基づき、問題の領域全体を確立します。CST のメンバーは、評価の前にこれらのトピックについて確認し、調整します。2. 優先: ステークホルダーのフィードバックに基づいてトピックに優先順位を付けます。3. 検証: CST やリーダーシップ・チームと結果を確認し、議論を行い、反対の意見とのバランスを取ります。4. 統合: リソースに着目し、最も重要なトピックを管理して進捗をシティズンシップ・レポートではっきりと開示します。
102-47	資料のテーマ一覧	<p>TI およびステークホルダーにとって最も重要な環境、社会、ガバナンスのテーマに優先順位を付けるため、TI はステークホルダーの評価を 2019 年に実施しました。この評価には、世界的なピア・ベンチマーキングと、マネージャや従業員、サプライヤ、顧客、コミュニティのリーダー、投資家への調査が含まれています。50 を超える問題について調査を行った後、TI とステークホルダーの双方にとって重要となる問題を分類しました。上位に挙がったトピックは以下のとおりです。</p> <div><div><ul style="list-style-type: none">• 環境面への影響 (空気と温室効果ガスの排出、エネルギー消費量 / 再生可能エネルギーの使用、水 / 廃水)• 責任ある製造• 材料管理• シチズンシップ (教育への関与、ボランティア活動、寄付)• 多様性と包括性• TI の従業員 (従業員の採用と雇用継続、従業員の能力開発、給与、ワークライフ・バランスとワークライフ・リソース)</div><div><ul style="list-style-type: none">• 健康と安全• 事業継続性• サプライ・チェーンの責任 (労働者の権利や人権など)• 紛争鉱物• エシックス• 情報保護• パブリック・ポリシー</div></div>
102-48	情報の注釈	情報に関するあらゆる注釈は、2019 年のコーポレート・シティズンシップ・レポートの下にある脚注に記載しています。
102-49	レポートの変更点	TI の 2019 年のコーポレート・シティズンシップ・レポートには、当社のシティズンシップ・ストーリーが掲載されています。また、主要な注目分野における TI の目標と進捗状況についても触れています。昨年から情報を構成し直し、グローバル・レポーティング・インデックス (GRI) のフレームワークに従いながらもストーリー、目標、結果をよりわかりやすくまとめて報告しています。2019 年のレポートでは、GRI が重要であるという判断を行っていますが、今後については引き続き他のフレームワークや手法についても検討していく予定です。
102-50	報告期間	報告期間は、2019 暦年全体を対象にしています。
102-51	最新の発行済報告書の日付	TI の 2018 年報告書は、2019 年 5 月に公開しました。
102-52	報告サイクル	TI は年ごとにシティズンシップ・レポートを公開します。
102-53	報告書に関する質問の窓口	TI または本レポートのシティズンシップについてのご質問は、 citizenshipfeedback@list.ti.com 宛に E メールでお問い合わせください。
102-54	GRI スタンドアードに従った報告書の主張	この報告書は、GRI スタンドアードに従って準備したものです。中核 (Core) オプション。
102-55	GRI 内容索引	GRI インデックスには、TI のテーマに関する情報やデータが含まれ、読者を該当するより詳細な情報へと誘導しています。
102-56	外部機関による保証	この報告書で TI は、社内での包括的な注意義務を履行し、提示する情報とデータの正確性をさらに確実なものにしました。現在、TI はこの環境、社会、ガバナンスに関するデータに対する第三者からの保証を探し求めています。ただし、TI 財団 (TI Foundation) は、EY によって毎年財務記録の監査を受けています。

経済関連標準

目次

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI の財務管理とパフォーマンスに関する詳細については、 <u>2019 年の年次報告書と株主総会招集通知</u> 、ならびに <u>SEC Form 10-K (英語)</u> を参照してください。
201-1	創出、分配した直接的経済価値	TI の <u>年次報告</u> で経済的パフォーマンスに関する情報を提供しています。TI の慈善活動への寄付については、2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 <u>Giving and volunteering セクション</u> (英語) をお読みください。
201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	TI では、過酷な気象条件、水の有効利用、氾濫や環境に対する脅威など、気候変動に関するリスクを評価してその問題に対処しています。こうした多様な気候変動に関するリスクの評価は、場所や地域ごとに実施されてます。また、業務や環境への影響を低減する工学的制御に投資を行っています。 どの製造拠点の財務価値も、生成される製品の収益と資産に基づいて算定されます。気候変動や過酷な気象条件に関連する潜在的な収益の減少によって事業が中断される可能性があります、その場合は一部が保険で相殺されます。TI のリスク管理と事業継続性部門では、気候変動に関連するリスクなど、全社的なリスクに関する報告を会社の最高財務責任者に対して行っています。
201-3	確定給付型年金制度とその他の退職金制度	TI には、確定拠出、確定給付、退職者医療給付制度などのさまざまな退職金制度があります。これらの制度に対する TI の拠出額は、資金積み立てに関するすべての最低要件を満たすか、それらを上回っています。詳細については、次の英語資料をご覧ください。 <u>SEC Form 10-K, Item 8, Note 8, pages 44-49: 退職者給付制度</u> 米国の全従業員 (オプト インを選択し、401 (k) 貯蓄プランに拠出した従業員) に対しては、年収の 4% まで TI が従業員拠出額の 100% を負担しています。TI の年金プランに拠出した従業員についても、その半分の額を負担しています。また、高額な補償を受ける資格を持つ従業員は、基本給、年末賞与、利益配当の一部を先送りすることができます。 TI の財政的成功に貢献したすべての従業員に報奨を出す、グローバル利益配当プログラムを用意しています。フランスやメキシコといった一部の国では、該当する地域の利益配当プログラムに対する法令の要件があります。
201-4	政府から受けた財務援助	TI は世界各地の連邦、州、地方政府から税制上の優遇措置によるインセンティブを受けています。それらのインセンティブは、装置や設備、雇用、研究開発に投資している製造会社に一般的に提供されているものです。詳細については、 <u>SEC Form 10-K Part II, Item 8, Note 4, pages 39-41 (英語)</u> と <u>Tax Policy (英語)</u> をご覧ください。

市場でのプレゼンス

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートで <u>Workplace セクション</u> (英語) の <u>Employees (英語)</u> をお読みください。TI の人事 (HR) 部門のリーダーは、給与、雇用プログラム、プロトコル、プロセスの作成を担当します。TI 取締役会の Compensation Committee (報酬委員会) では、上級役員の給与慣行に関する監督を行っています。HR の上級副社長 (SVP) および給与と福利厚生部門の副社長 (VP) が、従業員の給与に関する監督を行います。このように監督することで、関連する法規を確実に遵守し、報奨が TI の価値観に見合っていること、運用する市場に対応してカスタマイズされていることが保証されます。 TI では、自社の補償システムに関する詳細な分析を実施し、説明のつかない矛盾する支払やその背後に隠れた理由について調査を行います。矛盾が見つかった場合は、市場の支払範囲、業績、体験などの要素によって差異の証明ができるかどうかを調査し、判定できない場合は調整を行います。 TI には、スーパーバイザや HR 担当者、または匿名でも問い合わせできるエシックスやコンプライアンス・オフィスなど、従業員や補助的な請負業者が報復を恐れずに質問や懸念、苦情を連絡できる複数のチャネルがあります。
202-1	地域最低賃金に対する 標準最低給与の比率 (男女別)	TI はすべての国で標準的な入社時賃金を維持してはおりませんが、操業するすべての国で現地の最低賃金を超える金額を従業員に支払っていることを確認済みです。TI は、性別、人種、民族など保護される特徴に関係なく、経験、役割、責任に基づいて各従業員に報酬を支払っています。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
202-2	地域採用者の上級管理職の比率	TI の方針は、弊社で働こうとする、最も優秀な人材を雇用することです。全世界では TI の上級管理職の 99% が、TI が操業しているコミュニティの出身です。

調達

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の Supply chain management (英語) をお読みください。TI の全世界の調達と物流を担当する副社長は、最高財務責任者の直属の部下で、サプライ・チェーンの管理を監督します。また、サプライ・チェーンのポリシー、業績、リスク管理についても監督を行っています。TI のサプライ・チェーン担当ディレクターは、サプライヤの社会的責任について監督し、サプライヤの多様性を管理します。
204-2*	米国におけるマイノリティおよび女性が経営する企業への支出の比率	2019 年は、米国の調達予算の少なくとも 8.5% をマイノリティおよび女性が経営する企業に投じるという目標を上回り、10% に達しました。

腐敗防止

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI の腐敗防止に対するマネジメント手法の詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) と Living our values (価値と共に生きる) – TI の Ambitions (大きな目標)、Values (価値)、Code of Conduct (行動規範)の Ethics (英語) をお読みください。 RBA の自己評価ツールを使用する世界中の製造拠点すべてにおいて、腐敗リスクおよびエシックス・リスクを毎年評価しています。さらに、TI では業界をリードする腐敗防止システムや第三者による管理システムを活用して、外部との関わりを評価しています。
205-1	腐敗のリスクに関する事業拠点の評価	TI は中国、インド、メキシコ、マレーシア、フィリピン、ロシア / 東欧で業務を行っていますが、これらの国々は腐敗リスクが高いと考えられています。ただし、半導体業界は政府機関とのやり取りが相当量必要とされるため、建築や採取といった業界と比較しても相対的にリスクが低くなっています。TI では、リスクの高い国々でのポリシーを構築し、具体的なライブ・トレーニングを実施することで、こうしたリスクへの対応および低減を行っています。腐敗に関するリスクについて、世界中の製造部門とサプライヤを定期的に評価しています。
205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションとトレーニング	TI は、腐敗防止のテーマも含め、エシックスとコンプライアンスの啓発トレーニングをすべての従業員、ベンダー、第三者に対して実施しています。トレーニング・プログラムなどの取り組みは定期的に評価され、法規制の変更を反映することで、コンプライアンスの継続的な改善をサポートしています。
205-3	確認された腐敗の事例、および実施した措置	内部レビューと対策用に事例を記録していますが、腐敗事例は極秘情報であると考えているため、現在報告は行っていません。腐敗に関するすべての申し立てについて解決できるよう取り組み、適切な改善策を実施しています。

反競争的行為

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI の反競争的行為に対するマネジメント手法の詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) および Living our values (価値と共に生きる) – TI の Ambitions (大きな目標)、Values (価値)、Code of Conduct (行動規範) の Ethics (英語) をお読みください。
206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行に対する法的措置	TI が関与する法的手続きの資料は、 SEC Form 10-K , page 15 (英語) をご覧ください。

環境標準

環境、安全、および健康 (ESH)

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	<p>TI のマネジメント手法については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の ESH (英語) をお読みください。TI では、潜在的なプラスおよびマイナスの影響について評価しています。提案されたプロジェクトでは、環境的影響の評価を実施してからコミュニティにおける拠点を決めるようにします。</p> <p>TI の ESH 管理システムでは、活動や戦略の計画、実行、管理監督を推進しています。プログラムには、化学物質および材料のスクリーニング、材料の由来、廃棄物のプロファイリング、責任あるリサイクルと廃棄が含まれています。</p> <p>社内管理システムを確実に有効にするため、ワールドワイドの ESH コンプライアンス・サポート・チームと独立した第三者機関により施設の監査を 3 年に一度以上実施しています。監査のない年は、各施設が自己評価を実施します。法的な基準と TI の基準に準拠しているか、トレーニングは有効かを調査します。さらに、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">従業員と外部ステークホルダーの調査法律で定められた検査の実施と事故発生率の監視RBA の自己評価アンケートと行動規範に対するベンチマーク、米国半導体工業会の同僚やメンバーに対するベンチマーク <p>似たような問題が発生しないように、他の拠点との差異やベスト・プラクティスについてやり取りを行います。また、各製造拠点は、エネルギーの利用、化学物質の削減、水の効率的利用を測定するスコアカードを使用して、実績を報告します。スコアカードは、透明性確保とベスト・プラクティスに関する意識向上のために社内で共有され、説明責任を果たすために使用されます。監査結果により、企業レベルの ESH 管理システムに対する重大な調整は行われませんでした。</p> <p>TI の ESH ガバナンス構造には、以下が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none">監査委員会、取締役会：内部統制、コンプライアンス、パフォーマンスに関する監督を行います。技術および製造グループ (TMG) の CFO/SVP：効果的な ESH リーダーシップ、戦略的方向、効果的な通信を確立および維持します。世界各地の施設における VP：安全で保護された作業環境を提供する責任があります。ワールドワイド ESH の VP：ワールドワイドの ESH プログラムにおいてリーダーシップを発揮し、ガイダンスと指導を行います。ワールドワイド ESH 組織：パフォーマンスとコンプライアンスを監視します。拠点 / 建物に対する ESH のサポート：ESH のすべての活動に対するアドバイスや相談を行い、プログラムを作成して文書化します。これにより、コンプライアンスの順守とリスクおよび統制の評価を確実に実施します。従業員と補助的な請負業者：該当する ESH の規制、社内の方針や基準、職場や担当業務の手順に従います。また、自らと同僚の安全についても責任を負います。 <p>すべての TI 製造拠点およびアセンブリ / テスト施設において、すべての従業員と補助的な請負業者が TI のマネジメント・システムの要件に従うことを求められています。TI の管理対象外である人員については、各自が所属する企業の ESH 管理手順ならびに該当する法規制の要件に従う責任があります。</p> <p>TI では、内外のステークホルダーが ESH に関する問い合わせ、懸念、苦情を申し立てることのできるチャネルを複数用意しています。すべての従業員と補助的な請負業者に「業務を停止する」権利があり、怪我や病気、環境害を被る可能性があると思われる作業状況から回避することができます。また、スーパーバイザや拠点の ESH スタッフに問い合わせることも、匿名で TI エシックス・オフィスに連絡することも可能です。お客様には www.ti.com/support にお問い合わせいただくことができます。その他すべての ESH に関連するお問い合わせについては、citizenshipfeedback@list.ti.com に転送されます。</p>

材料

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Materials management (英語) を、またはこの GRI インデックスの ESH によるマネジメント手法の開示項目 をお読みください。各拠点で使用されている材料と消費目標に対する進捗状況についての追跡を行います。
301-2	リサイクル済み受け入れ資材の使用状況	当社の製品を製造するために必要とされる購入原材料の大半は化学物質です。半導体の処理に使用する化学物質のほとんどは高純度であることが必要ですが、一部の自社施設では酸化スラリーを回収して再利用しています。可能な場合、プロセスで廃棄物の酸も収集し、除外装置で再利用しています。

目次

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
301-3	リサイクルした製品とパッケージの原材料	TI は現時点で、お客様やエンド・ユーザーによってリサイクルされた製品の製品カテゴリ別比率を特定できません。TI ではさまざまなリサイクル・プログラムに参加していますが、お客様が製品内でどのように半導体を扱っているか、耐用年数が終了した製品の廃棄をどのように行っているかをコントロールすることはできません。耐用年数終了時の廃棄について、お客様が情報に基づいた判断を下すことができるように、該当する部品に使用されている物質の詳細情報を提供しています。

エネルギー

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	エネルギーの管理方法については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Energy use (英語) を、またはこの GRI インデックスの ESH によるマネジメント手法の開示項目をお読みください。各拠点でのエネルギーの使用と消費目標に対する進捗状況についての追跡を行います。TI が財政的管理を行っている、面積が 50,000 平方フィート (4,645 平方メートル) を超える各拠点で消費データが計算されます。
302-1	社内のエネルギー消費量	TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Energy use (英語) をお読みください。TI は、社外へのエネルギー販売を実施していません。
302-3	エネルギー原単位	TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Energy use (英語) をお読みください。TI のエネルギー原単位比率は 0.38 です。エネルギー原単位を計算するときは、エネルギーの合計消費量を各年に製造されたウェハー・チップの数で除算します (外部製造分は含みません)。次に、2005 年基準と比較して、その比率を報告します。この基準は、社内でのエネルギー消費のみをベースとしています。この比率に含まれるエネルギーの種類は、天然ガス、ガソリン、ディーゼル、電力、プロパン、燃料油、液化石油ガス、地域暖房です。
302-4	エネルギー消費量の削減	TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Energy use (英語) をお読みください。エネルギー節減による節約は、電力、燃料、熱の節減プロジェクトをベースにしています。計算のベースとなるのは、各プロジェクトに関する年間の節減量推定値であり、年間の節減量推定値すべての総和を合計として報告します。50,000 ドルを上回る資本投資に関して、プロジェクト開始前と開始後の消費に関する追加の測定を実施して、節減量を検証しています。
302-5	製品およびサービスのエネルギー所要量の削減	製造した 1 個のチップを動作させるために必要なエネルギーは、年間わずか 時間当たり 0.15 ワットです。また、TI は製品のエネルギー使用量を節減する活動にも取り組んでおり、同等の機能を実行する新規設計を実装した場合、ほとんどが以前の設計より 7% 節減できます。

水

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	<p>水管理の詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の Water and wastewater (英語) を、またはこの GRI インデックスの ESH によるマネジメント手法の開示項目をお読みください。TI のグローバル水管理基準では、TI の各拠点における廃水プログラム、下水処理プログラム、雨水汚染防止、水の節約活動の要件について定めています。</p> <p>全世界の ESH を担当する VP は、TI の水資源に関する戦略について監督し、各拠点のリーダーは水の使用、品質基準への準拠、消費目標に対する進捗状況について監視を行います。また、TI では次のことも監視しています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 水の使用制限と水ストレスが発生している地域• 廃水の排出について、コンプライアンスを確実に維持しているかどうか• 水使用の削減目標に対する、四半期ごとの進捗状況 <p>TI では、傾向を追跡するオンライン監視ツールによって、マネジメント・システムの効果的な運用を確実に行っています。また、定期的にサンプルを収集、分析し、社内外両方の監査を実施しています。さらに、次を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 1 日に複数回、廃水処理工場の目視検査を行い、適切に動作し、漏れがないことを確認する• 工場を定期的に清掃し、処理槽の検査を行うことで完全な状態を表明する• 必要に応じて熟練した認定技術者を雇用する

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
303-1	共有資源としての水の取得と排出	<p>TI が水の取得と排出を行い、共有資源としてステークホルダーと連携している方法の詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の Water and wastewater (英語) をお読みください。TI の拠点における、排水や流出に起因する直接的な水の影響はありません。TI の基準に従い、許可された排水制限への準拠を維持すること、各拠点がハウスキーピングに関する良好な慣行に従って、水経路の露呈を最低限に抑えることでこれを実現しています。</p> <p>TI の主な製造施設とアSEMBリ / テスト施設のすべてで年間の水使用削減目標を設定しています。これは、継続的なエネルギーおよび水削減プログラムの一環として特定されたプロジェクトに基づき、設定されたものです。各拠点では、さまざまな要素 (合理的な対価、プロセス・システムの安定性と信頼性への影響) に基づいて、解析するプロジェクトを決定します。パブリック・ポリシーや水のストレス要因を、これらの決定事項に間接的に盛り込みます。パブリック・ポリシーも水ストレスも、コストや水の利用可能性に影響を与えるものです。対価という観点で見ても水使用量を削減することは非常に魅力的なことであり、システムの信頼性においても不可欠となります。</p>
303-2	排水に関連する影響の管理	<p>廃水管理の詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の Water and wastewater (英語) をお読みください。排水の最低品質基準は、各地の規制機関によって設定され、TI の全拠点で許容限度を管理しています。規制機関の中には、組織固有の基準を取り入れて要件を設定しているものもあります。</p> <p>あらゆる下流で考察や監視を行い、当社からの排水によってマイナスの影響が出ていないことを確認します。社内の水管理基準には、廃水、雨水、下水の排水許容制限とその他の要件に確実に順守していることを確認するためのガイドラインが含まれています。各拠点で水質を監視し、漏出などの異常を管理する手順を用意しておきます。</p> <p>TI では、地方、州、連邦、国際的な規制機関に、廃水の排出についての報告、および規定された廃水処理地点を通じて排出される合計排水量の比率についての報告を行っています。</p>
303-3	水のくみ上げ	TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Water and wastewater (英語) をお読みください。水は、公営の給水源と地下水から取得しているほか、米国テキサス州リチャードソンにある製造拠点では少量の雨水を収集しています。TI が財務管理を行っている、面積が 50,000 平方フィート (4,645 平方メートル) を超える各拠点では、水道料金から消費データが計算されています。
303-4	合計排水量と排水処理に関する懸念を考慮した排水の優先順位に関する取り組み	<p>排水データについては、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の Water and wastewater (英語) をお読みください。連邦、州、地方の各機関によって廃水の許容制限が策定され、排水制限を満たす必要のある優先的な物質を定義および決定します。TI では、オンサイトの処理工場で水を処理し、廃棄物に含まれていた高濃度の金属や溶剤を隔離するなどの方法によって、こうした制限を遵守しています。TI では、排出の制限に準拠しないという違反の通知を 2019 年は 1 件も受けませんでした。</p> <p>今後規制される可能性のある物質を予測するため、TI では複数の業界内ワークグループに参加しています。また、標準的なサンプル採取方法や分析方法、参加企業が作成した方法を使用して、生産時に使用される化学物質のデータを調査、評価しています。</p>
303-5	水の消費量と貯水	水の消費量と貯水に関するデータについては、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Water and wastewater (英語) をお読みください。一般的に、消費データは水の合計使用量と、拠点に固有の要素 (蒸発量、灌漑、ボイラーの使用、冷却塔の使用など) によって計算されます。TI の廃水および下水処理システムによって拠点の水使用量のバランスと排水流量を調査し、このデータを検証します。TI では、水の使用量データを地方、州、連邦、国際的な規制機関に報告しています。

生物多様性

指標	項目	開示内容
304-1	自社所有、借地、管理下、保護地域に隣接、または保護地域外であるが生物多様性の点で価値の高い地域に隣接する複数の事業所拠点	TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Biodiversity (英語) をお読みください。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

排出

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	<p>排出量の管理方法については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の Air emissions and Greenhouse gases (英語) を、またはこの GRI インデックスの ESH によるマネジメント手法の開示項目をお読みください。</p> <p>世界各地の施設を担当する VP は、気候変動や大気環境に関する戦略を監督します。TI の GHG 戦略チームは、社内の環境リーダーや行政機関のスタッフのほか、法律、大気環境、化学物質、エネルギー分野のエキスパートで構成されており、気候変動に対する取り組みを調整、管理しています。また、TI の各事業部と行政関連部門も、政府の取り組みやインセンティブ、事業機会についての監視を行っています。TI では、自社の従業員が GHG の削減目標など役割に適した目標を達成することを期待しています。</p> <p>TI が所有または賃貸している、面積が 50,000 平方フィート (4,645 平方メートル) を超える拠点の Scope 1 (適用範囲 1) と Scope 2 (適用範囲 2) の GHG 排出量を測定しています。これは全面積の 97%、私たちが排出する二酸化炭素 (CO₂e) の 99% 超を占めています。TI では、下請業者、サプライヤの製造施設、または 50,000 平方フィート (4,645 平方メートル) 未満の施設のデータについては報告を行っていません。</p> <p>定期的な監視や監査の実施によって、世界中の大気環境、GHG の規制、報告要件に準拠しています。</p>
305-1	間接的 (スコープ 1) GHG 排出	<p>TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の Greenhouse gases (英語) をお読みください。データ計算で加味されているガスには、二酸化炭素 (CO₂)、メタン (CH₄)、亜酸化窒素 (N₂O)、ハイドロフルオロカーボン (HFC)、パーフルオロカーボン (PFC)、六フッ化硫黄 (SF₆)、三フッ化窒素 (NF₃) が含まれています。</p> <p>TI では、気候変動に関する政府間パネル (Intergovernmental Panel on Climate Change) とアメリカ合衆国環境保護庁 (EPA) による関連ガイドライン、公開されている排出係数を使用して Scope 1 (適用範囲 1) の GHG 排出量を計算しています。こうした要素には、EPA の報告義務規則 (Mandatory Reporting Rule)、IPCC、eGRID も含まれますが、これらに限定されるものではありません。算定方法には、許可を受けた定量化法、排出係数、地球温暖化係数が含まれています。</p>
305-2	エネルギーによる間接的な (スコープ 2) GHG 排出量	<p>TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の Greenhouse gases (英語) と、当社の 305-1 への対応をお読みください。</p> <p>基準年の排出物の再計算を引き起こす、排出物の重大な変更を TI が実施したことはありません。排出係数と地球温暖化係数 (GWP) に関して TI が使用してきた出典は、EPA の GHG MRR Final Rule (最終法令) です。米国内の拠点には EPA の eGRID による Scope 2 (適用範囲 2) の電氣的排出係数を使用し、米国以外の拠点には国際エネルギー機関 (IEA) の基準を使用しています。スコープ 2 排出物に関するすべての計算は、米国 EPA の MRR または IPCC Tier 2 (気候変動に関する政府間パネルの階層 2) のどちらかを使用しています。</p>
305-4	GHG 排出原単位	<p>TI の 2019 年の GHG 排出原単位率は、0.36 でした。この比率は、Scope 1 (適用範囲 1) と Scope 2 (適用範囲 2) 両方の排出物を使用して計算したものです。分子には CO₂、CH₄、N₂O、PFC、SF₆、NF₃ を使用し、TI が製造したチップの数を分母として使用しています。次に、2005 年 を 1 とし、この比率を正規化した値として報告します。</p>
305-5	温室効果ガス (GHG) 排出量の削減量	<p>Scope 1 (適用範囲 1) と Scope 2 (適用範囲 2) に該当する TI のグローバルな排出量は、より効率的なシステムへのプロセスのアップグレード、業界全体でのグローバルな負荷削減、スコットランド、グリーンノックにある当社の製造拠点での販売により、2018 年から 2019 年にかけて 10.3% 減少しました。排出量削減の詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の greenhouse gases (英語) をお読みください。</p>
305-6	オゾン層破壊物質 (ODS) の排出量	<p>一部の冷媒ガスは、TI の冷却機の冷蔵システム維持のために貯蔵されています。R-22 冷蔵機器はほとんどが退役しましたが、2019 年は約 80 kg の R-22 冷蔵機器が冷却機漏出のため使用されました。</p>
305-7	窒素酸化物 (NOx)、硫黄酸化物 (SOx)、その他の重大な大気排出	<p>米国の排水データについては、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) の air emissions (英語) をお読みください。</p>

排水および廃棄物

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	<p>排水および廃棄物の管理方法については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Sustainability セクション (英語) を、またはこの GRI インデックスの 水と原料 に対するマネジメント手法の開示に関するセクションに記載されています。</p>

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
306-1	水質および排出先ごとの排水量	排水データについては、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Water and wastewater (英語) をお読みください。TI では、社内の廃棄物に生理学的処理を施し、その他の廃棄物、溶剤、金属を隔離することで pH レベルを中和してから、排水を行っています。一部の酸性廃棄物の流れは、廃棄、回収、再利用のいずれかの目的のために分別されています。他の組織では水は再利用されていませんが、リチャードソンにある TI の拠点では、洗浄用として雨水を収集し、再利用しています。
306-2	種類別および処分方法別の廃棄物の重量	TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Material management (英語) をお読みください。
306-3	著しい漏出	2019 年に著しい漏出は何も発生しませんでした。
306-4	有害廃棄物の輸送	TI は廃棄物管理会社を詳細に評価して契約し、有害廃棄物を除去、輸送、および適切に廃棄します。TI が操業する国や地域により、規制当局が有害廃棄物として分類する物質は異なりますが、弊社施設で発生した有害廃棄物の取り扱い、処理、廃棄、輸入、または輸出は実施していません。また、TI はバーゼル条約の規定に従い、有害廃棄物を国外に輸送しません。

環境関連法令順守

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	環境関連の法令順守を管理する方法については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の ESH (英語) を、またはこの GRI インデックスの ESH によるマネジメント手法の開示項目 をお読みください。 法令順守の監督担当は、次の通りです。 <ul style="list-style-type: none">監査委員会、取締役会：コンプライアンスへの取り組み、リスク評価プロセス、内部統制、パフォーマンスに関する監督を行います。CFO：資本配分がコンプライアンス戦略ならびに事業内容と確実に一致するようにします。役員：戦略の方向性の確立と維持、お客様や規制の要件の確実な順守、ESH のリスク監視、持続可能性や ESH イニシアティブのリード、期待される成果についての従業員や補助的な請負業者とのやり取りを行います。ワールドワイドの ESH、調達、流通担当部門：ESH とサプライ・チェーンのコンプライアンスを監視します。システム / 戦略チーム：コンプライアンス維持のための評価を実施します。各拠点のリーダー：コンプライアンスを確保し、リスクと統制を評価するためのプログラムを策定し、文書化します。従業員と補助的な請負業者：該当する法令と規制、社内のポリシーと標準、また職場や職位ごとの手順を遵守します。
307-1	環境関係法令への違反	TI は 2019 年に環境面でのコンプライアンス違反による罰金や制裁措置を課されませんでした。

サプライヤの環境評価

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の Supply chain management (英語) をお読みください。
308-2	サプライ・チェーンにおける顕著なマイナス環境影響と講じた措置	TI は世界各国で合計数千社のサプライヤと協力して事業を遂行しており、責任ある環境実績に関する TI の期待を伝達しています。TI はこれらの基準や、RBA の Code of Conduct (行動規範) が制定した他の基準、および TI 独自の方針と規格に基づいて、戦略的なサプライヤやハイリスクのサプライヤを評価しています。2019 年に、TI は 179 社を超えるサプライヤと 300 箇所以上の工場を評価しましたが、環境に対する著しいマイナスの影響や懸念事項は見つかりませんでした。その結果、どのサプライヤとの取引関係も打ち切りませんでした。

雇用

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	<p>TI のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Workplace セクション (英語) をお読みください。TI の HR 部門のリーダーは、効率的な生産性に不可欠なプログラム、プロトコル、プロセスの作成を担当します。具体的な職務内容：</p> <ul style="list-style-type: none">• 役員の給与：TI 取締役会の Compensation Committee (報酬委員会) では、主要な人員に関連する給与業務の監督を行っています。• HR 戦略：TI の HR 部門 SVP は、戦略的方向と効果的な通信を確立、維持し、CEO に報告します。• 採用：HR 部門の SVP とタレント募集部門のディレクターは、採用の取り組みを監督します。• 定着：全体的な従業員の勤続については、HR のサポートのもと各マネージャが担当します。拠点のチームは、多角的でカスタマイズされた勤続プログラムの実施と、拠点に固有の従業員法の順守について責任を負います。• 多様性：多様性と包括性部門のディレクターが、これらのプログラムを監視します。• 能力開発：人材開発担当ディレクターは、従業員のトレーニングと育成を担当します。 <p>TI には、スーパーバイザや HR 担当者、または匿名でも問い合わせできるエシックス・オフィスなど、従業員や補助的な請負業者が報復を恐れずに質問や懸念、苦情を連絡できるチャンネルを複数用意しています。また、業務に関連した怪我、病気、危険、スーパーバイザへのリスクについても、さまざまな方法で報告できます。</p> <p>労働に関する法令や規制は、米国外では大幅に異なります。また、TI が操業している多くの国々では、政府が福利厚生等の関連プログラムを提供しています。次に例を示します。</p> <ul style="list-style-type: none">• 米国外での雇用の取り組みとプログラムは、国、地域、現地のニーズに応じて一意です。TI では、操業する州や国での採用を行っていますが、従業員、特に日々のオペレーションを担う社員や管理職は現地で採用し、その後、より高度な職務や上位の職務に向けてトレーニングするという方針を取っています。• 各国の労働文化や政府の助成プログラムにより、ワーク・ライフ・イニシアティブは異なります。ワーク・ライフ・プログラムの提供を調整するため、従業員に参加してもらい、プログラムを毎年監査しています。これによりギャップを埋め、業界内での競争力を維持し、必要とされるサービスの改善を実施できます。
401-1	従業員の新規雇用者と離職者の数 (年齢、地域、性別による内訳)	TI は 2019 年に (インターンを除き) 2,140 人の従業員を雇用しました。従業員の離職データについては、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Workplace セクション (英語) の retention (英語) をお読みください。
401-2	派遣社員とアルバイト従業員には支給せず、正社員に支給する給付	米国正社員と非正規の勤務スケジュールで勤務する従業員 (週 20 ～ 39 時間) は、医療、処方薬、歯科、眼科、従業員援助、所得補償を含む、すべての給付の受給資格があります。週 20 時間未満の勤務スケジュールで勤務する、臨時雇用やパートタイムの従業員は、給付の受給資格がありません。
401-3	出産・育児休暇	TI は、福利厚生を利用する資格のある米国内のパートタイムとフルタイム、および男性と女性の全従業員に対して、有給の出産・育児休暇を付与しています。出産・育児休暇後の復職率と定着率については、追跡していません。米国外では、政府が提供するプログラムによってプログラムが異なります。
401-4*	TI の従業員の平均勤務年数	<p>従業員の平均在職期間は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• 10 年未満：50%• 10 ～ 20 年：24%• 20 年超：26%

目次

CEO (最高経営責任者) からのご挨拶

TI の概要

TI のコミットメントと報告の概要

持続可能性 (サステナビリティ)

責任ある事業慣行

職場環境

寄付とボランティア活動

グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

労使関係

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Workplace セクション (英語) を、またはこの GRI インデックスの 雇用に関するマネジメント手法の開示項目 をお読みください。TI の HR 部門リーダーは、従業員との関わりや生産性に不可欠なプログラム、プロトコル、プロセスの作成を担当します。 通信チャネルを開放し、継続的に事業情報を収集してチームと共有するため、さまざまな通信ツールやプラットフォームを使用して開かれた対話を推進し、期待する事項を共有して、価値を高めていきます。TI のマネージャは、率先して従業員とかかわりを持ちます。従業員の育成とトレーニングに投資することで、従業員がより強い心と、「全員で参加している」というメンタリティを持つよう促すことができます。
402-1	業務上の変更を実施する場合の最低通知期間	米国における TI のポリシーは、シフト変更については少なくとも 1 週間前までに、人員整理 (または解雇予告手当) については少なくとも 60 日前までに通知を行うことです。米国外の TI では、地域の労働法に従っています。

労働安全衛生

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	ESH のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Workplace セクション (英語) の Safety and health (英語) を、またはこの GRI インデックスの ESH によるマネジメント手法の開示項目 をお読みください。 TI 取締役会の監査委員会は、従業員、補助的な請負業者、職場への来訪者の安全衛生管理を監督します。TI のマネジメント手法には、次のさまざまな要素が含まれています。 <ul style="list-style-type: none">• TI の製造拠点には、マネージャ、ESH スペシャリスト、従業員で構成される正式な ESH 委員会があります。委員会は、拠点のマネージャと連携し、労働安全衛生管理システムの監視を行います。• TI の製造拠点に設置された正式な ESH 委員会は、マネージャ、ESH スペシャリスト、従業員で構成され、労働安全衛生管理システムの監視を行います。• 製造、アセンブリ / テスト安全委員会は、ESH と、安全を重視した製造文化を促進する人間工学の代表者で構成されています。• あらゆるレベルのリーダーは、トレーニングやレポート作成など、一貫した安全に関する業務をサポートし、強化します。• 従業員には、該当するトレーニングの完了と、作業環境や安全衛生を維持する責任があります。 従業員の安全に対する TI のコミットメントを強化するため、従業員が安全を優先し、いかなる潜在的な危険も報告するように継続してトレーニングを行っています。従業員は、安全でない慣行や条件は修正するか報告し、手順を遵守し、個人保護具を装着することを理解しています。TI では、安全キャンペーン、記事、ポスター、アラーム電子メールによって定期的に期待事項を強化しています。 ESH のリーダーシップ・チームは毎年、組織の重要な成果についてのレビューを行い、重視する分野と改善の機会について判断します。TI は日常的なプログラム、施設の自己評価、監査を通して、安全と健康に関する潜在的なリスクを評価し、マネジメント・システムのプロセス、リスク評価、アクティビティごとに修正と改善を行っています。事故はすべて文書化され、一元化された記録管理確認パネルでレビューを行います。このパネルは、各怪我の調査や関連する文書の質と正確性を確保することを目的としています。
403-1	労働安全衛生管理システム	TI の安全衛生管理システムは、労働安全衛生に関する ISO 45001 要件の第三者による認定を受けたシステムです。これにより、危険やリスクを特定して管理するほか、該当する法規制に準拠し、事故を調査して最後までアクティビティを追跡します。また、この管理システムでは、職場の安全を保つプログラム、ポリシー、ツールも提供しています。 TI ではこの管理システムを使用して、業績データの記録、傾向、弱点、危険性の特定、欠陥を修復するための措置を実行します。また、品質の高い安全性と労働衛生サービスを確保し、労働者がこれらのサービスへアクセスできるよう促します。TI は日常的なプログラム、施設の自己評価、監査を通して、安全と衛生に関する潜在的なリスクを定期的に評価し、修正と改善を行っています。事故はすべて電子事故管理システムで文書化され、一元化された記録管理確認パネルでレビューを行います。このパネルは、各怪我の調査や関連する文書の質と正確性を確保することを目的としています。
403-2	危険の特定、リスク評価、事故調査	TI のすべての拠点において、職場の潜在的な危険を特定、評価、管理するために設計された産業向け衛生管理プログラムを実施します。TI では、定期的に職場の調査とサンプリングを行い、このデータを分析し追跡することで危険を特定し、怪我や病気のリスクを判断しています。TI の従業員の心身の健康を全体的に管理し、監視プランを作成して進捗を評価します。また、健康に関するデータを収集することで、従業員固有のニーズに基づいた介入を行うことができます。すべての調査が完了した後、拠点の ESH リーダーは、得た教訓や是正措置計画を他の拠点やグループに伝え、同様の問題が発生しないようにします。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
403-3	労働衛生サービス	<p>労働衛生サービスの詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Workplace セクション (英語) の Safety and health (英語) をお読みください。TI のすべての拠点において、職場の潜在的な危険を特定、評価、管理するために設計された産業向け衛生管理プログラムを実施します。</p> <p>従業員が自身の健康を管理するために提供するリソースには、施設内での無料の予防接種、予防策となるスクリーニング・プログラム、フィットネスと栄養プログラム、従業員サポート・プログラム、カウンセリング、教育サービスなどがあります。いずれも即時にフィードバックを得ることができるので、従業員が健康改善のために必要とされるライフスタイルの変化を理解することができます。TI では、ウォーキング、体重管理、禁煙カウンセリングを通じて職場でのこうした取り組みをサポートしています。また、カフェテリアでは健康的な食事の提供も行っています。</p> <p>TI の個人健康管理サービスでは、従業員の福利厚生改善に向けたコーチングと監督を行っています。このサービスは、重大な医療事象を体験した従業員、長期にわたって休職をしていた従業員、複数の診断、処置、医療提供者に対応している従業員を対象としています。従業員を支援する弁護士サービスは、医療処置にかかる費用を見積もったり、手ごろで質の高い医療提供者を見つけたりする際に役立ちます。</p> <p>TI では、潜在的な危険を特定するため定期的に職場の調査やサンプリングを行い、怪我や病気の根本原因を調査しています。また、TI の従業員の心身の健康を管理し、監視プランを作成して進捗を評価するのに役立つリソースも提供しています。健康に関するデータを収集することは、従業員固有のニーズに基づいたカスタム健康改善プログラムを設計するのにも役立ちます。</p>
403-4	労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	TI の拠点には、ESH (環境、安全、健康) スタッフ、拠点の管理者、従業員で構成される安全衛生委員会があり、その拠点特有のニーズに関する会合を定期的で開催しています。また、さまざまな管理システム・プログラム、トレーニング・コース、危険 / リスク評価で従業員や補助的な請負業者と協議を行い、ギャップに対応できる方法で彼らに評価を促し、パフォーマンスの改善と積極的なリスク管理を行います。
403-5	労働安全衛生に関する労働者の研修	<p>TI では、すべての従業員と補助的な請負業者に対して、マネジメント・システムごとに労働安全衛生に関する研修を提供しています。各自の役割に固有の研修をカスタマイズし、常にコンプライアンス、堅牢な ESH 標準、顧客のパフォーマンスへの期待に対するコミットメントを強化します。トレーニングでは、安全に対する観察と報告、手順とポリシーの遵守、個人用防護機器の装着を行います。従業員は、学習した内容とベスト・プラクティスを共有し、今後の事故防止と安全な業務の強化に努めます。</p> <p>ターンキー・サプライヤは、労働者への健康と安全に関するトレーニングの提供が期待されています。また、各自が所属する企業の手順ならびに該当する法規制の要件に従う責任があります。TI では、必要に応じてガイダンスを提供しています。</p>
403-6	従業員の健康推進	TI による労働者の健康促進方法については、インジケータ 403-3 への TI の対応をお読みください。
403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	安全衛生の影響の緩和については、インジケータ 403-1 と 403-3 への TI の対応をお読みください。TI の Supplier Code of Conduct (英語) では、サプライヤに安全な労働条件を確保してもらうことを要求し、 Supplier Environmental and Social Responsibility Policy (英語) では、TI が環境、安全、健康を保護するために期待している内容について説明しています。
403-8	労働安全衛生管理システムの対象となる労働者	TI の ESH マネジメント・システムは、すべての従業員と補助的な請負業者を対象としています。ターンキー・サプライヤと TI の管理対象外である労働者については対象外とし、各自が所属する企業の手順ならびに該当する法規制の要件に従ってもらいます。
403-9	労働関連の傷害	<p>労働時間 20 万時間をベースに計算した怪我のデータについては、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Workplace セクション (英語) の Employee safety and health (英語) をお読みください。この計算から除外される担当者は、ターンキー・サプライヤから派遣された一時労働者と、TI の管理下でない労働者です。</p> <p>従業員と労働者の主な受傷の種類には、無理な姿勢 / 不自然な姿勢 / 人間工学上の問題のほか、物体との接触 (衝突してきた物体 / 相対している物体)、同一の高さでの転倒 / 足を滑らせた / つまづいた / バランスを保てなくなったことに起因する傷害があります。</p>
403-10	労働関連の疾病や体調不良	<p>疾病や体調不良に関するデータについては、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Workplace セクション (英語) の Employee safety and health (英語) をお読みください。この計算から除外される担当者は、ターンキー・サプライヤから派遣された一時労働者と、TI の管理下でない労働者です。</p> <p>従業員の主な病気の種類には、無理な姿勢、不自然な姿勢、人間工学に起因する問題があります。2019 年に発生した病気を引き起こした、またはそれらに寄与する危険は、人間工学に起因する危険と、騒音にさらされた状態です。TI は、身体への負担を軽減するための是正と予防の対策を講じる方法で、これらの課題を是正しました。</p>
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	<p>TI のマネジメント手法については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Workplace セクション の Development (英語) を、またはこの GRI インデックスの雇用に関するマネジメント手法の開示項目をお読みください。HR の SVP は、ワールドワイドの人材開発マネージャをサポートしながらプログラムの開発を監視します。</p> <p>TI は従業員とマネージャに対し、年間を通じて業績と能力開発について定期的に話し合うことを奨励しています。また、さまざまなアンケートを行い、従業員が自身の目標と上司の期待内容を理解しているか注視しています。TI では、正式な勤務評価よりも対話を重視しています。対話を重視することで、従業員の業績を改善し、従業員の目標と会社の優先事項とを一致させることができますと考えています。</p> <p>また、参加が義務付けられているトレーニング・プログラムへの出席を追跡し、コンプライアンスを確保しながらトレーニングの内容が適切かつ妥当であるかどうかを評価します。必要時には、主催者や関連するトピックのエキスパートと連携し、プログラム内容を改善していくこともあります。また、トレーニング提供者やその他企業を評価して、学習様式の有効性も確認しています。</p>

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

トレーニングおよび教育

指標	項目	開示内容
404-1	従業員 1 人あたりの年間平均トレーニング時間	2019 年は、全世界で従業員に平均 30.3 時間のトレーニングを実施しました。
404-2	従業員のスキル向上と移行支援のプログラム	従業員は、各自のキャリアを通じて、多様な能力開発の機会を活用できます。TI のプログラム開発については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Workplace セクション (英語) をお読みください。
404-3	業績とキャリア開発について定期的評価を受けている従業員の比率	TI は、従業員が独自の能力開発計画を立案することを支援しています。業績に関する評価を受けている従業員の数は記録していません。TI の多くの部門は、上司と部下の間での会話を奨励したり、オンライン・リソースへアクセスして対話を促したりすることで、従業員の関与、目標設定、会社の優先順位とのすり合わせを実現し、より大きな成功を遂げています。TI は定期的に、従業員が自身の目標とマネージャの期待内容を理解しているか調査しています。従業員と上司が合意した場合、より高い頻度で評価を実施することもできます。
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Workplace セクション (英語) の Diversity and inclusion (英語) を、またはこの GRI インデックスの 雇用に関するマネジメント手法の開示項目 をお読みください。HR の SVP は、多様性と包括性に対する全体的な責任を負い、TI の多様性と包括性部門のディレクターによるサポートを受けています。 TI は雇用への取り組みを確実に行之い、従業員は才能にふさわしい働きをしながら多様性イニシアティブへの参加を評価しています。また、報告された懸念や苦情の数を監視し、同僚に対する TI のプログラムや戦略を評価して、少数の組織からもフィードバックを求め、調整が必要とされる箇所を特定しています。

多様性と機会均等

指標	項目	開示内容
405-1	ガバナンス組織と従業員の多様性	ガバナンス組織と従業員の多様性については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の Governance (英語) と、 Workplace セクション (英語) の Diversity and inclusion (英語) をお読みください。
405-2	女性の基本給と報酬総額の対男性比	TI は従業員に対して公正かつ平等に報酬を支払っています。TI では、性別、人種、民族など保護される特徴に関係なく、競争力を高め、公正に報酬を支払う方針で長期的に取り組んできました。現在は、社内の報酬支払いシステムに詳細で定期的な分析機能を含めたチェック / バランス機能を作り込み、確実に達成できるようにしています。 2019 年には個別の報酬分析を実施し、職種、職位、国を考慮した (基本給、賞与、株式を含めた) 性別と人種ごとの支払いの同等性を検討しました。この分析で、米国内および世界各地で、女性に支払われている賃金の額が男性と同等であること、米国ではマイノリティへの支払額も非マイノリティと変わりがないことが判明しました。詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Workplace セクション (英語) の compensation (英語) をお読みください。
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	無差別の基準については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Workplace セクション (英語) の Diversity and inclusion (英語) と、この GRI インデックスの 雇用に関するマネジメント手法の開示項目 、そして Living our values (価値と共に生きる) – TI の Ambitions (大きな目標)、Values (価値)、Code of Conduct (行動規範) や TI の Equal Opportunity Employment Policy (英語) をお読みください。 TI は雇用への取り組みを確実に行之い、従業員は才能にふさわしい働きをしながら多様性イニシアティブへの参加を慎重に評価しています。また、報告された懸念や苦情の数を監視し、同僚に対する TI のプログラムや戦略を評価して、少数の組織からもフィードバックを求め、調整が必要とされる箇所を特定しています。

目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

非差別

指標	項目	開示内容
406-1	差別事例の件数と実施した是正措置	内部レビューと対策のために差別の申し立てを記録していますが、この種の情報は極秘情報であると考えているため、現在、公式の報告は行っていません。差別に関するすべての申し立てについて解決できるよう取り組み、適切な改善策を実施しています。
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の human rights (英語) をお読みください。
410-1	人権の方針や手順について研修を受けたセキュリティ担当者	TI の組織であるワールドワイド・プロテクトティブ・サービスには、安全で互いを尊重できる職場環境を全世界で保持するための標準的な手順があります。これには、エシックス、コンプライアンス、人権などの内容を含む対象のトレーニングを、セキュリティ要員全員に実施することが含まれています。

人権とセキュリティ

人権評価

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の human rights (英語) をお読みください。 取締役会の監査委員会は、人権や労働者の権利に関する取り組みを監視しています。TI のエシックス・ディレクターは、人権に関する問題の最新情報を、年に一度委員会のメンバーに提供しています。取締役会の最中に重大な違反が見つかった場合は、最高法令順守責任者またはエシックス・オフィスが監査委員会委員長に迅速に通知を行います。また、TI の世界各地の全製造拠点で、人権を重視した第三者の自己評価アンケートの実施を必須としています。世界各地の全製造拠点で実施する年次の自己評価アンケートに加え、人権に対するリスクについて選択された拠点で監査を実施しています。内部監査は TI の社員によって、外部監査は独立した第三者監査人によって実施されます。第三者監査人による当社施設の監査では、人権に関して優先される結果は見つかりませんでした。 TI は独自の事業内容に対する表明と行動規範、RBA といった組織のメンバーシップを、人権問題を管理する際の基準点として活用しています。 TI には、多様性と非差別、職場の安全、児童労働、強制労働、人身売買、労働時間と最低賃金、データ・プライバシーに対処するポリシーがあります。また、サプライ・チェーン、環境、安全、健康、プライバシーなど、特定の領域に対する行動を定めたポリシーも別途用意しています。 TI には、従業員、サプライヤ、請負業者の権利を守るための業務運用手順が複数あります。これには、労働規定、研修、意識向上活動、結社の自由、インシデント報告ツールが含まれています。
412-1	人権レビューや影響評価に関する業務	TI は、RBA が検証した監査プロセスの一部として、人権に関する 2 つの工場での操業の監査を成功させました。RBA の自己評価ツールを使用する世界中の製造拠点すべてを評価しました。

目次
CEO (最高経営責任者) からの挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

指標	項目	開示内容
412-2	人権の方針や手順についての従業員トレーニング	TI の拠点では、従業員による人権への認識の確立を必須とし、それらを管理するためのリスクや実施するプロセスについて特定しています。TI の基準や関連する労働法に違反する従業員は許容されず、解雇も含めた是正措置が取られることになります。拠点の管理と人事を担当する従業員は、適切な行いを監視し、誘導します。 TI では、人権、エシックス、コンプライアンスに関するトレーニング・モジュールを実施し、ワールドワイドのマネージャ、セキュリティ担当者および従業員 (操業中の国の中でもリスクの高い国が含まれる) をサポートしています。このトレーニングによって、他者を尊重できる、人道的で差別のない職場をつくり、維持することができるようになります。トレーニング・プログラムでは、異文化に対する認識、いじめ、セキュリティと人権に対するリスクといったトピックが扱われています。 すべての従業員は、TI の価値とエシックスに関するトレーニングとガイダンスを受けます。特に、これらは職場における誠実さと敬意に関係するからです。2019 年に、TI は行動規範に関するトレーニングを実施しました。これは人権と懸念事項の報告方法を扱うもので、世界各国の全従業員を対象とした必須トレーニングでした。

地域コミュニティ

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Giving and volunteering セクション をお読みください。コーポレート・シティズンシップについて担当する TI の VP は、当社の教育、慈善活動、ボランティア活動に関するプログラムの監視を行っています。取締役会のガバナンスと株主向け広報委員会に向けて、年に一度最新情報が提供されています。TI 財団は独自の非営利団体として活動し、四半期ごとに会合を開いていますが、毎年第一四半期に教育関連の寄付に対する見直しを行っています。 TI のコミュニティ、慈善活動、ボランティア活動に対するお問い合わせや懸念をお持ちのステークホルダーの皆様は、 citizenshipfeedback@list.ti.com から電子メールでご連絡いただくことも、TI エシックス・オフィスに匿名でご連絡いただくことも可能です。教育関連の寄付に関する詳細をご希望の企業様は、 giving@ti.com までご連絡ください。TI のプログラムやテクノロジーに関する詳細は、 ti.com/stem や education.ti.com でご確認ください。 当社では、コミュニティへの投資プログラム、ボランティア活動への参加についての有効性を追跡しています。従業員や非営利団体からのフィードバックも歓迎しています。こうしたフィードバックは、影響や支出についての評価や、必要に応じて実施される調整に役立てられています。マッチング・ギフト・プログラムへのサポートでは、オンライン管理システムを利用して従業員の金銭的な寄付やボランティア活動を追跡しています。 米国では、United Way (ユナイテッド・ウェイ) やいくつかのサービス・プロバイダと連携し、1960 年初期からボランティア・プログラムを実施しています。米国外においても、TI の従業員がさまざまな目的をもって組織の支援を行っています。例としては、中国の Hope School や India Science and Technology Quiz が挙げられます。
413-1	地域コミュニティとの関係、影響評価、コミュニティ開発プログラムを実施した事業の数	TI は、コミュニティへの影響に関する正式な評価を実施していません。TI の拠点は既存の工業地帯に立地しており、少ない人口に対して悪影響を及ぼすことがないためです。TI は、すべての拠点で環境に及ぼす影響とリスクを評価しています。TI の各拠点では、コミュニティのリーダーと関わり、地元のニーズを見つけ、企業活動、TI 財団、従業員の寄付に加え、ボランティア派遣を通じてコミュニティを支援する活動を行っています (詳細については、2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Giving and volunteering セクション (英語) をお読みください)。 TI のコミュニティ、慈善活動、ボランティア活動に対するお問い合わせや懸念をお持ちのステークホルダーの皆様は、 citizenshipfeedback@list.ti.com から電子メールでご連絡いただくことも、TI エシックス・オフィスに匿名でご連絡いただくことも可能です。
413-2	地域コミュニティに著しいマイナスの影響 (現実のもの、潜在的なもの) を及ぼす業務	2020 年 1 月、TI は今後 3 ～ 5 年でノース・テキサスにある 150 mm ウェハーの生産拠点を 2 箇所閉鎖することを発表しました。いずれも設立 50 年を超える施設で、約 500 人の従業員を抱えています。人員配置をすぐに変更する予定はありませんが、労働者の大半はダラス地区の別の製造拠点へ異動する予定です。新しい職が見つからなかった従業員については、解雇手当の支払と転職支援を予定しています。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

サプライヤの社会評価

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	サプライヤの社会評価については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の Supply chain management (英語)、および TI の Anti-human trafficking statement (英語) をお読みください。
414-1	社会的基準をもとに選定した新規サプライヤの比率	TI は、スクリーニングの対象となっている新規サプライヤの比率を追跡するプロセスを実施していません。ただし、不可欠とみなされた新規サプライヤや、TI の工場にオンサイトのサービスを提供する新規サプライヤすべてに対してスクリーニングを実施しています。
414-2	サプライチェーンにおける顕著なマイナスの社会的影響と講じた措置	サプライ・チェーンの社会的な影響について TI がどのように管理を行っているかの詳細については、TI の Anti-human trafficking statement (英語) をお読みください。2019 年に、TI は 179 社のサプライヤと 300 箇所の工場を評価しましたが、著しいマイナスの社会的影響や懸念事項は見つかりませんでした。その結果、どのサプライヤとの取引関係も打ち切りませんでした。

パブリック・ポリシー

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の Public policy (英語) をお読みください。Worldwide Government Relations (世界の行政機関との信頼構築) 担当副社長は、行政機関との信頼構築に関する書面を四半期ごとに提供し、TI のリーダーシップ・チームと取締役会に進捗を報告しているほか、取締役会のガバナンスと株主向け広報委員会に対して公式のプレゼンテーションを年ごとに実施しています。 TI の political activities and contributions (政治活動および献金に関する報告書) は、米国の活動のみを反映しています。従業員とその他のステークホルダーによるお問い合わせは、Worldwide Government Relations (世界の行政機関との信頼構築) 担当副社長または TI エシックス・オフィスまでご連絡ください。
415-1	政治活動と貢献	TI の political activities and contributions (政治活動および献金に関する報告書) は、米国の活動のみを反映しています。米国以外のどの国でも TI は政治献金を行っていません。

マーケティングと商標

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法の詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Sustainability セクション (英語) の Responsible manufacturing (英語) をお読みください。TI の製品を監督する責任者の詳細は、以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none">TI 取締役会の監査委員会：内部統制、コンプライアンス、パフォーマンスに関する監督を行います。CFO：製品開発、製造、販売に対する資本配分を TI の戦略に合わせて調整します。各ビジネス・ラインの SVP：新しいデザインと現在の製品が顧客や規制の要件を満たしているかを確認します。
417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要件	顧客にも操業する国にも、出荷される材料の種類に基づいて、物質制限やその他の要件を確実に満たすためのさまざまなラベル要件があります。たとえば、半導体製品の世界的な規制物質情報を統合するため、梱包ラベルに IPC-Association Connecting Electronics Industries と Joint Electronic Device Engineering Council J-STD-609 双方からの協力があることを表示し、中国の追跡矢印シンボルも一緒に記載します。適時の製品の配達を確実にしながら、変化を続ける規制や輸出入に関する法律に準拠することは、TI が継続して行っている方針です。 デフォルトでは、TI は自社の標準ラベルを使用しています。また、必要があれば顧客の要件に見合うカスタム・ラベルを作成します。TI の製品による潜在的な環境および社会的影響については、 Eco-Info ページ (英語) と product content tool (英語) で情報を提供しています。また、製品に関する資料にも該当する安全情報を記載しています。 TI の制限化学物質と原材料 (RCM、Restricted Chemicals and Materials) プログラムでは、TI が適切な情報を提供して制限化学物質と原材料の要件を遵守しているかどうかを年に一度以上評価するために、原材料のサプライヤと外部製造拠点を必要とします。ラベルを評価し、TI の Web サイト上で統合された回路部品が既知の規制や業界の要件に準拠していることを示しています。

目次
CEO (最高経営責任者) からのご挨拶
TI の概要
TI のコミットメントと報告の概要
持続可能性 (サステナビリティ)
責任ある事業慣行
職場環境
寄付とボランティア活動
グローバル・レポーティング・イニシアティブ・インデックス

顧客プライバシー

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	<p>TI のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、Responsible business practices セクション (英語) の Information protection (英語) をお読みください。TI の最高情報責任者は、情報の保護について監督します。TI には、問題が評価され、対処されるためのガバナンス構造とコンプライアンス構造があります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 主な部門の上級リーダーとサポート企業は現在のサイバーセキュリティの脅威について確認し、セキュリティ対策への優先順位付けをサポートし、組織内の意識向上を支援します。• TI の秘密情報保護委員会は、秘密情報や営業上の秘密を適切に分類し、保護することを保証します。• 組織を越えた代表者で構成されるプライバシー委員会は、TI 従業員、お客様、ビジネス・パートナーの各個人を識別できる情報の適切な保護を確実に行えるよう支援を行っています。 <p>従業員が潜在的な脅威を特定したり、IT セキュリティに関する質問や懸念が生じたりした場合に、それをサポートするための内部チャネルがあります。顧客やサプライヤも、必要時には自社のアカウント・マネージャなどのチャネルを通じて直接問い合わせることができます。</p> <p>必要とされる保護が確実に機能するよう、社内の統制について定期的に見直し、テストを行っています。具体的には、外部侵入テスト、社内の脆弱性に関する評価、拠点やビジネス・レベルでの監査を実施しています。また、工業標準に対する慣行を評価し、外部の専門家による入念な検査も行っています。不備が特定された場合は対処を実施します。</p>
418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して実証された不服申立	内部レビューと対策用に事例を記録していますが、プライバシーの侵害に関する不服申立は極秘情報であると考えているため、現在報告は行っていません。

社会経済関連法令順守

指標	項目	開示内容
103-1 ～ 103-3	マネジメント手法の開示項目	TI のマネジメント手法に関する詳細については、TI の 2019 コーポレート・シティズンシップ・レポートより、 Responsible business practices セクション (英語) の Ethics (英語) をお読みください。
419-1	社会および経済分野での関係法令への違反	2019 年、TI は、社会、経済の分野での重大な罰金および非金銭的制裁を受けませんでした。

*TI により作成
**GRI は 2018 年に、水と排水、および労働安全衛生に関する標準を更新しました。その結果、新規または改定データの報告が必要になりました。